

# 府中市エコ・レポート

(平成 18 年度報告)

～ 府中市職員による地球温暖化防止に向けた取組 ～

第 2 次府中市職員工コ・アクションプラン  
ISO14001 環境マネジメントシステム

平成 20 年 3 月

府 中 市

# 目次

ページ

はじめに	1
編集方針・報告書の対象範囲	2
府中市役所の概要	3
世界共通の課題 ～地球温暖化対策	4
府中市の環境に対する考え	5
環境方針の実現に向けた行動	6
環境目的・目標と実績	8
「地球環境にやさしい生活」私たち職員はここに宣言します。	12
環境に貢献する施策の推進	16
公共工事に伴う環境負荷の低減	20
環境マネジメントシステム	21
環境監査の結果	23
職員の声	24

# はじめに

最近の研究によると、気候変動や食糧生産、生態系の破壊など地球温暖化の影響が確実に現れていることがわかってきました。

2008 年は、先進国全体で温室効果ガス総排出量の削減目標を定めた「京都議定書」の約束期間（2008 年～2012 年）が始まる年に当たります。京都議定書の目標の達成に向けて、さらに 2012 年以降の中長期的な温暖化対策の道筋を模索するため、世界各国が集まって議論が活発化してきました。

府中市においては、市民生活や事業活動におけるエネルギー・燃料の消費・使用、廃棄物の排出・焼却などを通じて、地球温暖化の原因となる CO<sub>2</sub> を排出しています。地球温暖化は、対岸の火事ではありません、私たちの生活が原因となっていることを改めて認識しなければなりません。

それは、府中市役所も同じだと思っています。行政サービスの提供や庁舎での事務活動や事業活動を通じて、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）を排出しているからです。

また同時に、行政の役割として環境施策を積極的に展開し、市民、事業者と一体となって地球温暖化防止をはじめとした環境負荷低減活動を広げていく役割もあります。

このようなことから、府中市の職員は、自らの事務事業に伴う環境負荷を低減するため、環境マネジメントシステムの国際規格 ISO14001 を取得するとともに、地球温暖化防止の取組を積極的に実践してまいりました。

府中市エコ・レポートは、府中市職員による取組結果を広く市民等に公表するため、平成 14 年度から発行を重ねてまいりました。

平成 19 年度版につきましては、府中市職員の姿勢、職場での工夫や苦勞を、できるだけわかりやすく紹介するよう心がけて作成いたしました。

是非、本レポートをお読みいただき、一層のご支援と忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

平成 20 年 3 月

## 編集方針

府中市では、平成14年度にはじめて府中市エコ・レポートを発行し、環境負荷低減行動について報告をしてきました。その後、平成17年に「第2次府中市職員エコ・アクションプラン」を策定し、平成18年度～平成22年度までの5か年の取組をスタートいたしました。

そこで、本レポートでは、これまでのレポートを刷新し、職員たちの声を紹介したり、“わかりやすさ”や“読みやすさ”の工夫をしたりするなど、みなさんに読んでいただけるような紙面づくりを心がけました。

## 報告書の対象範囲

### ■対象期間：

平成18年度（平成18年4月1日～平成19年3月31日まで。ただし、一部のデータについては、平成19年4月以降の活動も含んでいます。）

### ■データの集計範囲

府中市内にある市の施設として市役所本庁舎・第2庁舎のほか出先機関等を含めています。

なお、ISO14001に係る報告内容については、ISO14001の認証取得範囲である、本庁舎、第2庁舎（都市整備部水道課を除く）及び市立中央図書館を対象としています。

（対象施設については、3ページをご参照ください。）

### ■発行時期

平成20年3月

### ■府中市エコ・レポート（Web版）について

府中市ホームページのトップページの「知る、しらべる」の「各課からのお知らせ」をクリックし、環境安全部環境保全課を選択していただくと、府中市エコ・レポート（PDFファイル）をご覧いただけます。

<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>

# 府中市役所の概要

(平成20年2月現在)

## ■ 組 織

部	課
総務部	企画課、秘書課、広報課、総務管理課、職員課、情報システム課
財務部	財政課、市民税課、資産税課、納税課、契約課、管財課、用地課
生活文化部	総合窓口課、保険年金課、住宅勤労課、文化コミュニティ課、市民活動支援課、経済観光課（農業委員会事務局）
福祉保健部	地域福祉推進課、生活援護課、高齢者支援課、障害者福祉課、健康推進課
子ども家庭部	子育て支援課、保育課、児童青少年課
環境安全部	防災課、環境保全課、地域安全対策課、ごみ減量推進課、下水道課
水と緑事業本部	公園緑地課
都市整備部	管理課、計画課、土木課、建築課、建築指導課、水道課
地区整備推進本部	府中駅南口周辺整備担当、けやき並木周辺整備担当、南武線新駅周辺整備担当
	出納課
学校教育部	総務課、学務保健課、指導室
生涯学習部	生涯学習課、文化財担当、体育課、図書館、美術館
	選挙管理委員会事務局
	監査事務局
議会事務局	庶務課、議事課

## ■ 施 設

市役所本庁舎<sup>※1</sup>、府中駅北第2庁舎<sup>※2</sup>のほか、次の出先機関があります。

市政情報センター	子ども家庭支援センター	生涯学習センター
府中の森市民聖苑	保育所15か所	市民球場
文化センター11か所	学童クラブ22か所	市民陸上競技場
女性センター	リサイクルプラザ	グラウンド管理所
国際交流サロン(第2庁舎)	寿町作業員詰所	総合体育館
観光情報センター	現業事務所	地域体育館7か所
工業技術情報センター	第一学校給食センター	中央図書館 <sup>※3</sup>
	(第2庁舎) 第二学校給食センター	地区図書館12か所
保健センター	学校給食洗浄センター	府中市美術館
保健センター分館	教育センター	

### ※1 ※2 ※3

ISO14001の認証取得範囲は、本庁舎、府中駅北第2庁舎(都市整備部水道課を除く)及び市立中央図書館です。

# 世界共通の課題 ～地球温暖化対策

近年、気候変動や食糧生産、生態系の破壊などのさまざまな影響をもたらす地球温暖化が深刻化しています。

最新の研究によれば、人為的な活動により、地球全体の平均気温は、過去100年間（1906～2005年）で0.74℃上昇したことが明らかとなりました。21世紀末（2090年から2099年）の平均気温は、1980年から1999年までに比べ、環境の保全と経済の発展が地球規模で両立する社会においては約1.8℃上昇、また、化石エネルギー源を重視しつつ高い経済成長を実現する社会では約4.0℃上昇すると予測されています。（資料：気候変動に関する政府間パネル[IPCC]第4次評価報告書）

地球温暖化対策の究極の目的は、「温室効果ガスの大気中濃度を自然の生態系や人類に悪影響を及ぼさない水準で安定化させること。」

地球の平均気温の上昇を2℃以下に抑えるためには、「2050年の世界全体の温室効果ガス排出量を1990年レベルの50%以下に削減する必要がある」と考えられています。

## 地球温暖化による影響が現れている



# ■ 府中市の環境に対する考え

府中市は、地球温暖化をはじめとする地球環境問題への対応のため、自らが行う事務事業に伴う環境への負荷を低減するために行動しています。そのために、行動の基本として「府中市環境方針」を策定しています。

## ● 府中市環境方針

### ＜基本理念＞

私たち人類は、これまで自らの生活を豊かにするために活動を拡大し続けてきました。その結果、地球の資源を消費し、排気ガスや廃棄物など、環境に対して大きな負荷を与えてきました。

このまま環境への負荷を減らすことなく活動を続ければ、地球の環境は破壊され、生命の生存すら危ぶまれる状態となることは想像に難くありません。環境を守ることは、私たちに与えられた使命であると言えます。

地球環境問題は多くの複雑な問題を抱えています。いくつかの対策を実施したことで簡単に結果が出て解決されるというものではありません。問題の解決のためには、行政や事業者、市民がそれぞれの立場で、できることから地道な努力を積み重ね、大量生産、大量消費、大量廃棄に裏付けられた社会経済活動や生活様式を見直し、社会全体を環境への負荷が少ない持続的発展が可能なものに変えて行くことが必要です。

府中市は、これまでも施策の中で環境にやさしいまちの創出を進めてきました。また、職員自らも環境負荷が少ない事務事業の実施を目指して、庁舎や各施設で省資源、省エネルギー、ごみ減量、リサイクル、緑化などに努めてきました。しかし、最近の国際的な地球温暖化への取組や国内の環境に関する法律の制定など、新たな環境保全への対応が進展するなかで、府中市職員は、市が事業者でありかつ消費者であることをここでもう一度認識し直し、自ら環境負荷低減のための行動をこれまで以上に推進することにより、先導的な役割を担うことが環境問題解決のためにきわめて重要であると考えます。

今、私たち府中市職員は、できることから、自主的、積極的、継続的に環境負荷低減のための活動を進めます。

### ＜基本方針＞

府中市は、自らが行う事務事業が環境に及ぼす影響を継続的に改善していくため、全職員が一体となって、環境保全活動に取り組みます。

- 1 「府中市職員エコ・アクションプラン」を推進するなかで、特に次の項目については優先して取り組み、事務事業に伴う温室効果ガスの排出を始めとする環境負荷の低減に努めます。
  - (1) 電気、燃料、ガス等の使用量削減による省エネルギーの推進
  - (2) 紙、水道等の使用量削減による省資源の推進
  - (3) グリーン購入の推進
- 2 府中市環境基本計画に基づき、府中市環境行動指針に示す環境保全の取組を積極的に推進します。
- 3 公共工事の実施に当たっては、計画の段階から環境への影響に配慮し、環境負荷低減に努めます。
- 4 環境目的及び目標を設定し定期的な見直しを行い、環境負荷低減施策の継続的改善を進めます。
- 5 環境関連法令等を遵守し、環境汚染の予防に努めます。

平成16年12月1日

府中市長 野口忠直

# ■ 環境方針の実現に向けた行動

府中市では、府中市職員エコ・アクションプランを中心とした環境マネジメントシステムに基づいた環境負荷低減対策を、より積極的に推進するため、国際標準化機構（ISO）※<sup>1</sup>が定めた環境管理に関する国際規格 ISO14001※<sup>2</sup>を平成17年2月に認証更新し、環境負荷の低減に努めています。

なお、府中市環境マネジメントシステムは、ISO14001の対象範囲のほか、対象範囲以外でエコ・アクションプランのみが適用になる取組も含めた、府中市全体での取組を対象範囲としています。



## ※1 国際標準化機構（ISO）

ISOは、「国際標準化機構（International Organization for Standardization）」の呼称です。スイスのジュネーブに本部を置く非政府組織（NGO）で、工業製品やサービスなどの国際的な規格の制定や標準化を目的として設立された国際機関です。

## ※2 国際規格 ISO14001

ISOが定めた環境に配慮するための仕組み（環境マネジメントシステム）の規格です。PDCAサイクル（計画立案→実施・運用→点検・評価→見直し）を回すことで活動の進行管理を行い、継続的な改善を進めます。ISO14001を認証取得したということは、環境に配慮した仕組みが国際規格に適合し、運用・維持されていることの証明になります。日本では、JIS Q 14001として発効されています。



## ■実践行動のための計画・仕組み

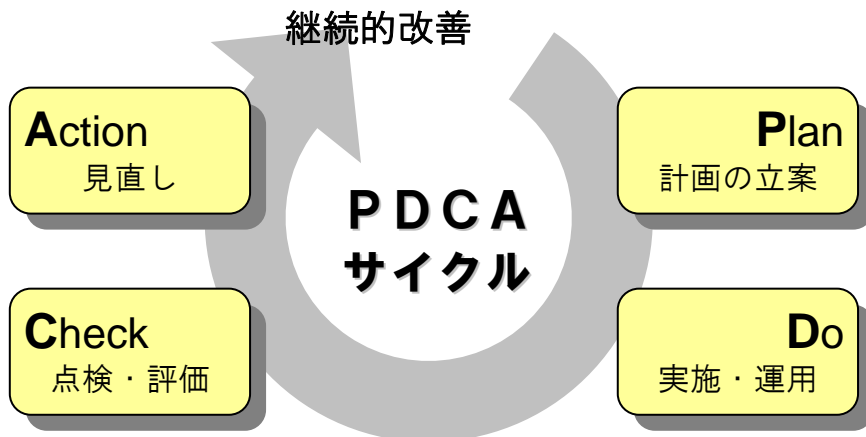
府中市職員エコ・アクションプランと ISO14001 に適合した取組は、計画を立て (Plan)、計画に基づいた取組を実施・運用し (Do)、その結果を点検・評価し (Check)、さらに取組結果をもとに計画を見直す (Act) という、PDCA サイクルによって、継続的な改善を図ります。

### ●府中市職員エコ・アクションプラン

目的	府中市の職員が、事務事業の実施に伴う環境への負荷を低減するための行動を自ら率先して実行することにより、地球温暖化対策を始めとする地球環境保全施策の推進を図る。
位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化対策の推進に関する法律第 21 条の「地方公共団体の事務及び事業に関する実行計画等」</li> <li>国の率先実行計画に定める「地方公共団体における環境負荷低減のための率先的な取組」</li> <li>府中市環境基本条例第 12 条「環境管理及び環境監査」の実施</li> </ul>
計画期間	平成 18 年度～平成 22 年度 (5 年間) 基準年度：平成 16 年度
対象範囲	対象施設：府中市内の市立学校を除く市の施設 対象者：全職員
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務事業の実施に伴う環境負荷低減のための行動</li> </ul>

### ●ISO14001 に適合した取組

目的	府中市の職員が、事務事業の実施に伴う環境への負荷を、自ら低減するための計画。
対象範囲	対象施設：市役所本庁舎、府中駅北第 2 庁舎（都市整備部水道課を除く）及び府中市立中央図書館 対象者：対象範囲に勤務する職員（正規職員及び臨時職員）並びに常駐する委託業者
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>府中市職員エコ・アクションプランの取組</li> <li>公共工事に伴う環境負荷の低減</li> <li>環境に貢献する施策の推進</li> </ul>



# 環境目的・目標と実績

## 温室効果ガス排出量に関する環境目的・目標

府中市職員エコ・アクションプランでは、地球温暖化防止への貢献を目的とし、平成22年度の温室効果ガス排出量を、平成16年度比で5%以上削減する目標を定めています。

この目標の達成に向けて、省エネルギー・省資源、グリーン購入といった取組を推進し、平成18年度の温室効果ガス排出量は、基準年度値（10,350 CO<sub>2</sub>換算 t）よりも4.1%削減（9,921 CO<sub>2</sub>換算 t）となりました。

### ● 温室効果ガス排出量に関する環境目的・目標の達成状況

環境目的	環境目標 (平成16年度比)		基準年度値 (平成16年度)	目標値 (平成22年度)	平成18年度 実績値	評価
地球温暖化防止への貢献	温室効果ガス 排出量	5%以上削減	10,350 CO <sub>2</sub> 換算 t	9,833 CO <sub>2</sub> 換算 t	9,921 CO <sub>2</sub> 換算 t	(^o^)

#### 【評価凡例】

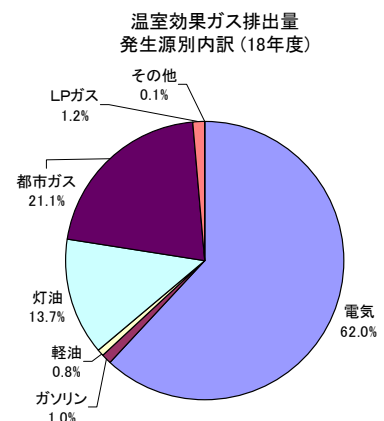
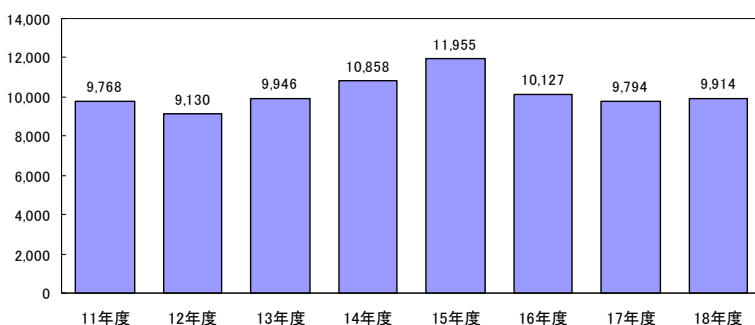
- (^o^) : 22年度目標レベルをすでに達成している
- (-\_-) : 22年度目標に向けて取り組んでいる
- (> <) : 基準値よりも環境負荷が増大している

### ● 温室効果ガス排出量の推移

単位：CO<sub>2</sub>換算 t

温室効果ガス	平成16年度 (基準年度値)	平成17年度	平成18年度 (実績値)	府中市における 主な発生源
二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	10,340.57	9,794.18	9,913.74	物の燃焼、電気の使用
メタン (CH <sub>4</sub> )	0.39	0.22	0.23	車の走行、ごみの燃焼
一酸化二窒素 (N <sub>2</sub> O)	6.74	4.80	4.91	車の走行
ハイドロフルオロカーボン (HFC)	2.77	2.59	2.55	カーエアコンの使用
温室効果ガス	10,350.47	9,801.79	9,921.43	—
基準年度からの増減率	0.0%	-5.3%	-4.1%	—

温室効果ガス排出量の推移



## ■環境負荷低減行動に関する環境目的・目標

府中市職員エコ・アクションプランに基づき、事務事業に伴う電気使用量や各種燃料の低減（省エネルギー）、紙・水道・文房具等の削減（省資源）、庁有車の走行距離の削減、環境にやさしい車の使用（グリーン購入）といった環境負荷低減行動を実施しています。

### ●環境負荷低減行動に関する環境目的・目標の達成状況

環境目的	環境目標	(平成16年度比)	基準年度値 (平成16年度)	目標値 (平成22年度)	平成18年度 実績値	評価
省エネルギーの推進	電気使用量の削減	5%以上削減	17,700MWh	16,815MWh	18,154MWh	(> <)
	燃料使用量の削減					
	ガソリン	5%以上削減	49,872L	47,378L	44,294L	(^o^)
	軽油	5%以上削減	31,051L	29,498L	29,468L	(^o^)
	灯油	5%以上削減	586,509L	557,183L	547,389L	(^o^)
	都市ガス	5%以上削減	918,290m <sup>3</sup>	872,376m <sup>3</sup>	948,174 m <sup>3</sup>	(> <)
	LPガス	5%以上削減	46,496kg	44,171kg	40,416kg	(^o^)
省資源の推進	紙使用量の削減	5%以上削減	75,658kg	71,875kg	68,937kg	(^o^)
	水道使用量の削減	5%以上削減	307,780m <sup>3</sup>	292,391m <sup>3</sup>	297,417m <sup>3</sup>	(-_-)
	文房具等使用量の削減	5%以上削減	18,854千円	17,911千円	13,530千円	(^o^)
省エネルギー・省資源・公害防止	車の走行距離の削減	5%以上削減	543.3千km	516.1千km	533.3千km	(-_-)
グリーン購入の推進	環境にやさしい車の使用	構成比全体の40%以上	21.8%	40.0%	32.8%	(^o^)

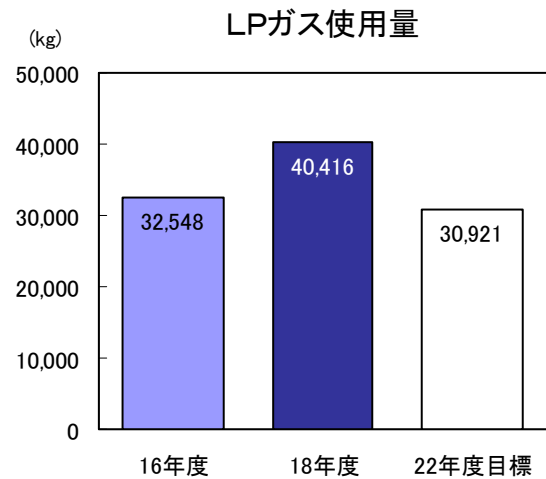
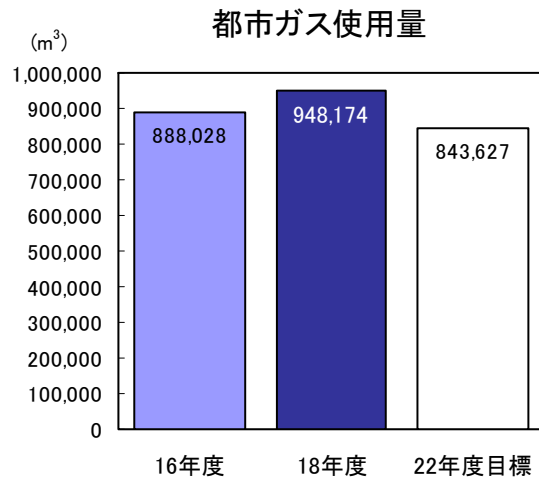
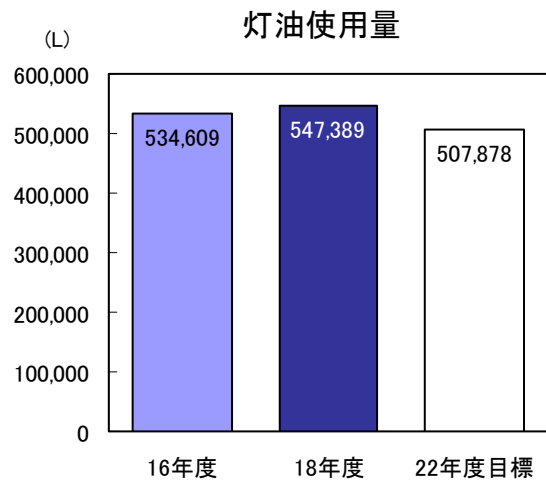
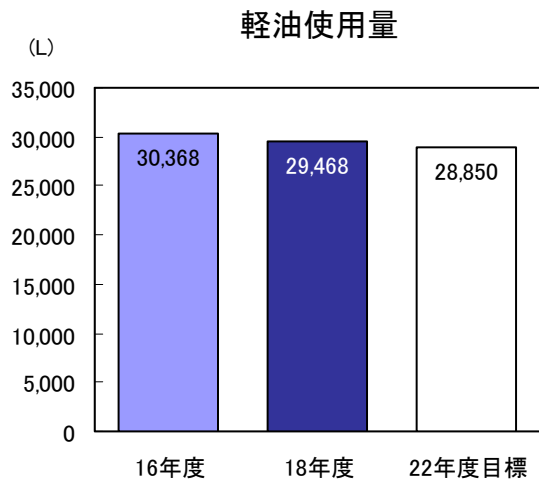
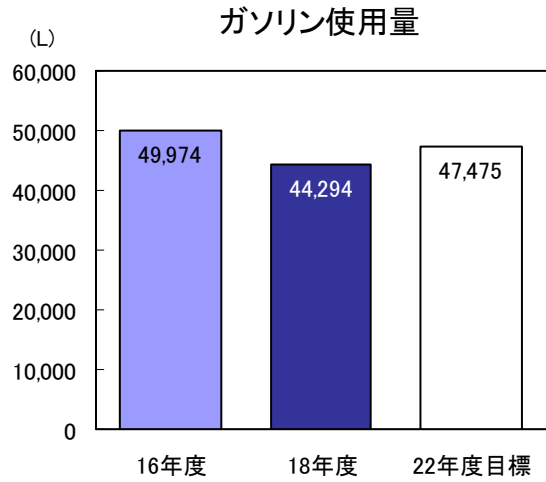
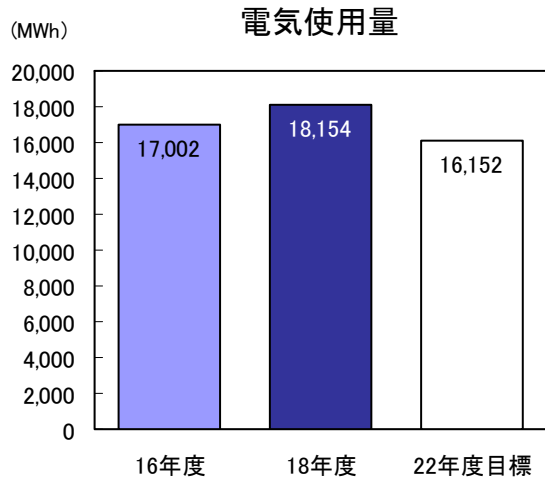
#### 【評価凡例】

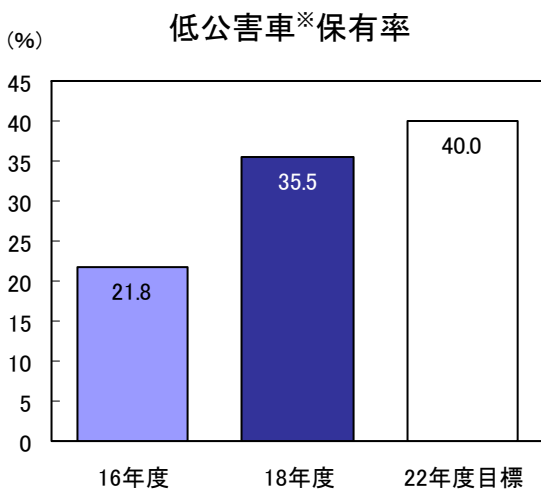
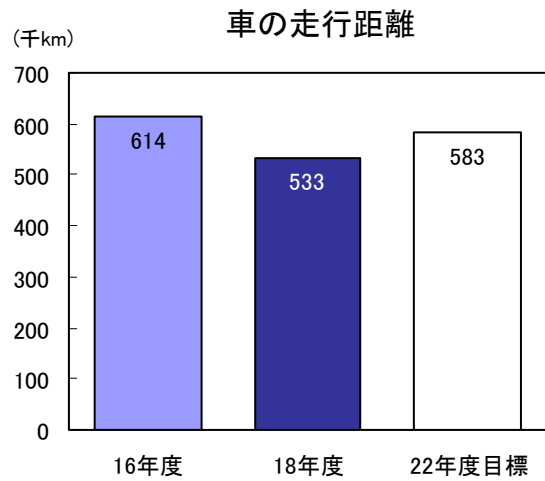
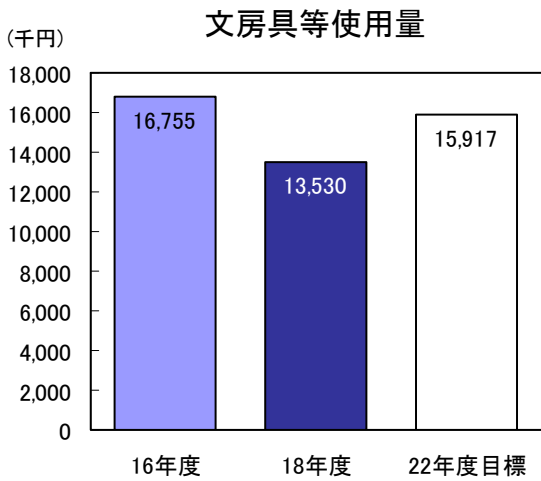
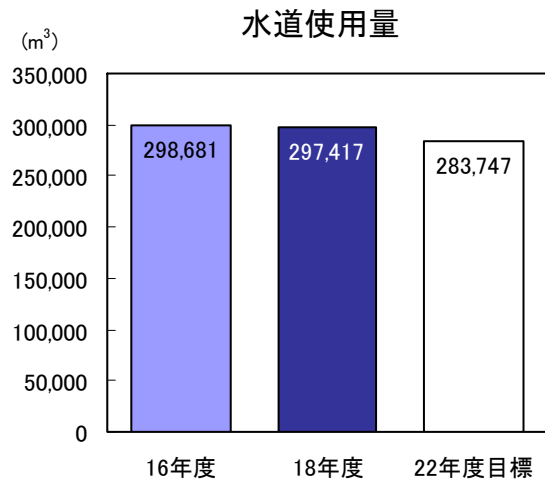
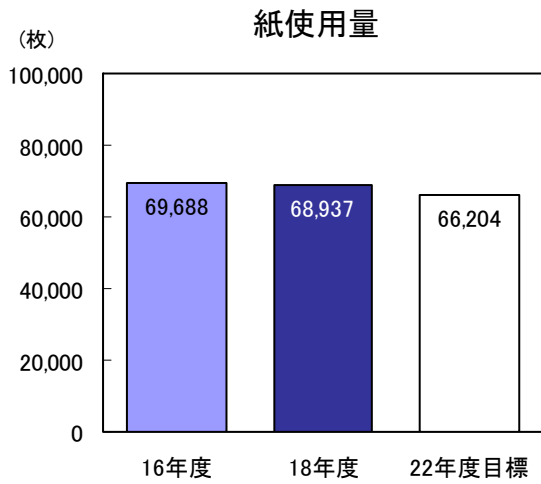
(^o^): 22年度目標レベルをすでに達成している

(-\_-): 22年度目標に向けて取り組んでいる

(> <): 基準値よりも環境負荷が増大している

## ■環境負荷量の推移と目標値





※低公害車  
 府中市では、環境にやさしい車として、八都県市指定公害車（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、横浜市、さいたま市、千葉市及び川崎市で定めた低公害車）や、グリーン購入ネットワーク（GPN）による指定車などを導入しています。



# 「地球環境にやさしい生活」 私たち職員はここに宣言します。

## 府中市職員環境宣言

私たち職員は、地球温暖化防止を始めとする地球環境の保全に寄与できるように、職場から家庭に至るまで、職員一人ひとりが自主的、積極的に取り組みます。

職員一同は、この宣言を心にとめて、事務事業の実施に伴う環境への負荷を低減するための行動（環境負荷低減行動）を、自ら率先して実行していきます。

### 行動に当たっての基本的視点

- ① 事務事業における無駄をなくすことにより環境負荷を低減します。
- ② できるところから自主的、継続的に進めます。
- ③ 環境負荷低減行動が習慣となることを目指します。

## ■ 環境負荷低減行動

府中市職員エコ・アクションプランに基づき、全職員が事務事業の実施に伴う環境負荷低減のための次のような行動を実践しています。

また、職員に対しては、家庭に帰って、日常生活のなかでも自主的、積極的に取り組むように務めるよう、協力を呼びかけています。

- 1 レジ袋は受け取りません。
- 2 昼休み及び就業前後の消灯。残業時の不必要な照明の消灯。
- 3 OA機器の未使用時の電源を切る。機械の省エネルギー設定。
- 4 毎週水曜日はノーカーデーの実施及び水曜日以外の車もできる限り乗らない。
- 5 車のアイドリングを止める。
- 6 車を使用する際には、エコドライブを心がける。
- 7 片面使用済紙・両面コピーの使用・紙の使用量削減。
- 8 必要最低限の枚数しかプリントアウトしない。
- 9 使用済み封筒を再利用する。
- 10 ごみ減量やりサイクルのルールを徹底する。
- 11 階数の差が3階まではエレベータには乗らない。
- 12 下りのエレベータには乗らない。
- 13 トイレの便座シートやウォシュレットの温度設定は色目盛りの下端を最大とし、夏はさらに低めにする。
- 14 トイレのウォシュレットの電源は、土日等使用しない時は切る。
- 15 給湯器の湯水を流しながら使用しない。
- 16 環境にやさしい商品を購入する。
- 17 物品購入に当たっては必要以上に購入しない。
- 18 印刷コピーは必要なだけにする。
- 19 コピー機の未使用時はリセットボタンを押す。
- 20 帰りの際はコピー機のスイッチを切る。
- 21 割り箸等は使わない。
- 22 シュレッダーの未使用時は電源を切る。
- 23 会議室の冷暖房温度設定を適正にする。
- 24 夏の軽装等、快適に過ごせる服装を心がける。
- 25 会議室の冷暖房や照明は会議開始の10分前まではつけない。
- 26 ブラインドやカーテン等の利用により効率的な照明・空調を図る。
- 27 各自の取組

## ■環境負荷低減行動の実施状況（19年度の重点取組の結果から）

年度ごとに重点取組を設定し、全職員に対する周知・徹底を図っています。

### ●レジ袋は受け取りません。

#### 買い物は、いつでもどこでも、マイバッグ

レジ袋は1枚当たり約5gで、成分は炭素が約80%を占めています。これが燃やされると、相当な量の二酸化炭素が発生します。

#### ■市民マイバッグ持参運動推進中

廃棄物の発生抑制や減量を図り、環境にやさしいライフスタイルの推進をするため、市民マイバッグ持参運動を実施するものです。

マイバッグ運動は、市民、事業者及び市職員による府中市民マイバッグ持参運動実行委員会が主体となって運動を推進しています。より多くの市民のソフトパワーを生かすために実行委員会の付属組織として設置された「府中市民マイバッグクラブ」と連携し、効率的かつ効果的に運動を推進しています。

#### ■マイバッグデーの制定

毎月5日を「マイバッグデー」とし、商店街やスーパーマーケット等において、マイバッグ持参の呼びかけや持参率調査等を行う市民マイバッグ持参キャンペーンを実施しています。

### ●昼休み及び就業前後の消灯。残業時の不必要な照明の消灯。

#### スイッチ一つで二酸化炭素27kg

府中市役所本庁舎の蛍光灯は、事務室全体で約2,400本あります。

昼休みに、各職場で7割の消灯をしたとすると、昼休みだけで68kwの電力量が節約できます。これは二酸化炭素26kg、電気料金は1,564円/時となります。年間では、二酸化炭素6.2t、電気料金37.5万円もの節約です。

### ●毎週水曜日はノーカーデーの実施及び水曜日以外の車もできる限り乗らない。

#### 府中市役所の二酸化炭素排出量の11%

大気中の二酸化炭素の濃度が水曜日に最も高まるという結果を踏まえ、「毎週水曜日はノーカーデー」の実施をしています。大気汚染と温暖化防止に役立ちます。

毎週水曜日は車に乗らないようにし、他の曜日でもできる限り車に乗らないように心がけています。



## ●片面使用済紙・両面コピーの使用・紙の使用量削減。

### 資源節約

紙は大切な資源です。また、資源の節約はごみ減量の第一歩。府中市職員は、紙の使用量削減に取り組んでいます。

再生紙の使用、使用済み封筒の再利用、裏紙の利用、適正枚数の印刷などを進めるほか、ごみの減量やリサイクルのルールを徹底しています。

### ■1万トンごみ減量大作戦

府中市では、1万トンごみ減量大作戦を展開しています。これは、市民、事業者、行政が協力し、ともにごみを減らすための活動をしていこうという作戦です。5年間で家庭ごみ及び事業ごみを延べ1万トン減らすのが、目的です。

1日1人120g（卵約2個分）のごみを毎日減らせれば、1年間で1万トンのごみが減らせると言われています。

## ●コピー機の未使用時はリセットボタンを押す。

### コピーが終わったらリセットボタン

庁舎内のコピー機の使用状況を調べた所、1時間に平均約5回（7分15秒相当）リセットボタンを押せる機会がありました。

この場合リセットボタンを押して、画面が消えた時とそうでない時とでは、電気使用量で1時間当たり25whの差があります。

府中市が保有する全コピー機約100台で一時間に7分ずつリセットすると、一日（8時間）で約290wh、一年では560kwhとなります。これにより二酸化炭素は約200kg排出を抑制できます。

### ■各課で独自に取り組んでいます

各職場では、前述の重点取組に加え、自主的に取り組む項目を定め、課独自の取組を実施しています。

#### 各課独自の取組の例

- ・ 来客時に使用する食器類を洗う際の洗剤の使用量を減らす。
- ・ FAX送付時の送り状の省略
- ・ 庁内連絡時など可能な限り封筒を再利用する。
- ・ 市役所から2キロ以内の現場調査等は自転車を使用する。
- ・ 職場で飲み物を飲む場合は、ペットボトル・缶のものはできるだけ購入せず、自宅からお茶等を入れたポットを持参する。
- ・ 当課で開催する各種催しにおいてマイバッグ啓発のキャンペーンを行う。
- ・ 事務室の整理整頓を心がける。

## ■ 環境に貢献する施策の推進

所属名	No.	目的	目標 基準年度の数値等
管財課	1	冷暖房の温度設定に配慮し、燃料使用量を削減する。	平成 16 年度 (95, 539 ㉿) 比 5% 減 90, 762 ㉿
市民活動支援課	2	自然とのふれあい	自然とのふれあい
	3	自然とのふれあい	自然とのふれあい
経済観光課	4	堆肥を配布し、市内農地を良好な状態に改良し、維持する。	配布量 128, 300 kg
環境保全課	5	環境負荷低減活動の推進	温室効果ガスの 5% 以上の削減
	6	環境負荷低減活動及び環境保全活動の推進	環境保全活動等の継続的实施
	7	環境負荷低減活動及び環境保全活動の推進	環境マネジメントシステムを維持・継続する。
	8	酸性雨の発生原因を科学的に解明し、市民意識の啓発に努める。	酸性雨の発生原因を科学的に解明し、市民意識の啓発に努める。
	9	市民の美化意識の高揚を図るとともに、地域活動の充実と連帯感を育むため、市民による環境美化を推進する。	市民の美化意識の高揚を図るとともに、地域活動の充実と連帯感を育むため、市民による環境美化を推進する。
	10	地下水汚染、大気汚染を防止する。	処理廃棄物の監視
ごみ減量推進課	11	ごみとして排出した資源物の積極的な再資源化を推進する。	平成 18 年度まで、再生台数を維持する。
	12	ごみとして排出した資源物の積極的な再資源化を推進する。	平成 18 年度まで、再生台数を維持する。
	13	ごみとして排出した資源物の積極的な再資源化を推進する。	平成 18 年度までに 1. 0% 増加する。
	14	ごみとして排出した資源物の積極的な再資源化を推進する。	平成 17 年度まで、回収量を維持する。
	15	ごみとして排出した資源物の積極的な再資源化を推進する。	平成 18 年度まで、回収量を維持する。

ISO14001 に基づく環境マネジメントシステムでは、府中市環境保全行動指針に示されている環境保全のために実施する施策や、市の事業に伴う環境配慮を実施する取組を推進しています。

【評価凡例】○：80%以上達成、△：50%以上達成、×：達成度 50%未満

平成 18 年度の目標値	結 果	評価
平成 16 年度(95,539 ㉿)比 1%減 94,584 ㉿	90,355 ㉿	○
八千穂高原を市民が訪問、見学し、自然を観察するとともに、農産物の収穫を体験することで自然の大切さを理解し学習する。	8/8、佐久穂町における「親子とうもろこし収穫体験」を実施し、42 名が参加した。	○
佐久穂町の名所を市民が訪問し、散策をしながら自然を観察し、自然の大切さを理解し学習する。	10/24、「八千穂高原自然の旅」を実施し、42 名が参加した。	○
堆肥の配布 平成 18 年度年間目標 128,300 kg	175,000 kg/年	○
温室効果ガスの 1%以上の削減	各課取組結果を集計したが、時期が遅くなってしまった。	△
研修・環境監査の実施	報告書公表の時期は、例年より早く公表しようとしたが、結局例年どおりとなってしまった。	△
ISO14001 を維持・継続する。	1 月 11 日・12 日に定期審査を受審し、認証・継続した。	○
・市民による酸性雨調査を年 1 回実施 ・一年を通じ、大学と共同で酸性雨についての研究を行う	・市民による酸性雨調査 有志により年間実施 ・大学研究 通年実施	○
市民による環境美化の推進 多摩川清掃：5,000 人 市民清掃：13,000 人	市民による環境美化の推進 多摩川清掃：4,403 人 市民清掃：10,000 人	△
処理廃棄物の監視	・地下水調査時に出る実験廃液については、マニフェストの提出等、処理方法について確認しました。 ・大気調査時に排出されるガスについては、回収して回収後の処理方法を確認しました。	○
平成 15 年度実績に基づき、再生台数を維持する。 平成 15 年度実績 再生台数 587 台 目標 再生台数 587 台	再生台数 459 台	△
平成 15 年度実績に基づき、再生台数を維持する。 平成 15 年度実績 再生台数 773 台 目標 再生台数 773 台	再生台数 545 台	△
回収量を、平成 15 年度を基準に 1.0%増加する。 平成 15 年度実績 ペット 462.1 トン 廃油 6.3 トン 目標 ペット 475.9 トン 廃油 6.4 トン	回収量 ペット 578 トン 油 6.4 ㉿	○
平成 15 年度実績に基づき、回収量を維持する。 平成 15 年度実績 446.2 トン 目標 446.2 トン	回収量 466.6 トン	○
集団回収による資源物の再生利用を維持するため、平成 15 年度実績に基づき、回収量を維持する。 平成 15 年度実績 6,408.9 トン 目標 6,408.9 トン	回収量 5,391.2 トン	△

所属名	No.	目 的	目 標 基準年度の数値等
ごみ減量推進課	16	不用品の積極的な再利用を推進する。	平成 17 年度まで、受託受付件数を維持する。
	17	廃棄物の処理量を平成 16 年度実績の 3.1%減を維持する。	廃棄物の処理量を平成 16 年度実績の 3.1%減を維持する。
	18	汲み取り世帯数を平成 12 年度比で 20%減らす。	汲み取り世帯数を平成 12 年度比で 20%減らす。
	19	廃棄物の適正(分別)処理を推進し、再利用率を 20.9%とする。	廃棄物の適正(分別)処理を推進し、再利用率を 20.9%とする。
公園緑地課	20	名木を含めた保存樹林を 2,050 本保全する。	名木を含めた保存樹林を 2,050 本保全する。
	21	都市緑化の推進により環境保全を図る。	平成 11 年度比で生垣総延長 900mの増設を推進する。
管理課	22	道路排水用のポンプ室を維持することにより、道路冠水を防ぎ周辺の環境を維持する。	ポンプ室の点検を強化して、冠水がないように努める。
	23	放置された不要車両の早期発見・撤去等の処理を迅速に行う。	通常パトロールを実施時に注意深く行う。
	24	道路補修工事には周辺の環境に配慮して施工する。	低公害機種の使用率を 100%にする。
	25	道路橋りょう及び付属施設の維持管理には周辺の環境に配慮して施工する。	低公害機種の使用率を 100%にする。
	26	道路の側溝及び雨水枡の清掃と処理には周辺に配慮して施工する。	低公害機種の使用率を 100%にする。
	27	せん定枝のチップ化によるリサイクル	チップ率を 100%にする
	28	街路樹の生育を阻害する害虫を駆除し歩行者や沿道住民への被害防止・緑害保護を図り、周辺の環境に配慮する。	道路パトロールを強化し害虫の駆除に努める。
土木課	29	地下水の枯渇防止	新設・改修時に雨水浸透を検討
	30	地下水の枯渇防止	道路新設・改修時に雨水浸透を検討
	31	都市緑化の推進	既存樹木の活用と地域にあった樹木の活用を推進
建築課	32	公共施設で緑化対象となる施設には 100%緑化し、都市緑化の推進を図る。	緑化対象とした施設は 100%実行する。
	33	公共施設で雨水浸透対象となる施設には 100%設置し、地下水の涵養に努めます。	新築・改修設計時に対象となる施設は浸透舗装、浸透枡設置を 100%実施する。
図書館	34	灯油の管理	灯油の管理
	35	暖房用ボイラー灯油の使用による大気汚染の防止	単位時間当たりの使用量を抑制する。平成 12 年度実績(13,500 ㍓)に対し、4%減(12,960 ㍓)とする。

【評価凡例】 ○：80%以上達成、△：50%以上達成、×：達成度50%未満

平成18年度の目標値	結 果	評価
平成15年度実績に基づき、受託受付件数を維持する。 平成15年度実績 108,100件 目標 108,100件	受託受付件数 118,713件	○
廃棄物の処理量を平成16年度実績の3.1%減を維持する。	平成18年度実績 67,096トﾝ 廃棄物処理量 0.5%減	△
汲み取り世帯数を平成12年度比で20%減らす。	汲み取り世帯数 (H13.4.1現在)137世帯 (H19.4.1現在)69世帯 世帯数49%減	○
廃棄物の適正(分別)処理を推進し、再利用率を20.9%とする。	収集総量 77,137トﾝ 資源化総量 17,441トﾝ 再利用率 22.6%	○
保存樹木の2,050本保全 (16年度末保存樹木2,163本)	保存樹林 新規0本・撤去14本・累計2,119本	○
新設優良生垣の延長を180mにする。	新設生垣 個人 40.00m 中高層 117.33m 開発行為 138.51m 計 295.84m	○
ポンプ室の点検を強化して、冠水がないように努める。	100%	○
通常パトロールを実施時に注意深く行う。	放置車両3台撤去	○
低公害機種の使用率を100%にする。	低公害機種の使用率を100%にしている。	○
低公害機種の使用率を100%にする。	低公害機種の使用率を100%にしている。	○
低公害機種の使用率を100%にする。	環境配慮指針に基づき施工した。	○
チップ率を100%にする。	年度目標であるチップ率100%を目指し順調に進めた。	△
道路パトロールを強化し害虫の駆除に努める。	歩行者や沿道住民への被害防止・緑害防止・緑害保護を図りながら害虫駆除に努めている。	○
新設・改修時に雨水浸透を検討	舗装面積1,582㎡	○
道路新設・改修時に雨水浸透を検討	雨水浸透柵の設置	○
既存樹木の活用と地域にあった樹木の活用を推進	低木2,792株 高木73本	○
緑化対象とした施設は100%実行する。	工事实績は、合計2件 緑化面積91.90㎡・低木435株・ タマリユウ4.9㎡(60株/㎡)	○
新築・改修設計時に対象となる施設は浸透舗装、浸透柵設置を100%実施する。	工事实績は、合計5件 雨水貯留層200㎡・浸透柵16基・トレンチ管 82.0m・浸透舗装1,462.36㎡	○
灯油の管理	灯油地下タンク貯蔵所の点検を定期的に行い、保管状況を確認した。	○
単位時間当たりの使用量を抑制する。平成16年度実績(13,500㍑)に対し、2%減(13,230㍑)とする。	室温の点検回数を増やし、室温調整をまめに行い、結果として使用量を抑えることができた。(12,000㍑)	○

# 公共工事に伴う環境負荷の低減

ISO14001 に基づく環境マネジメントシステムでは、市が実施する発注金額 500 万円以上の公共工事について、計画の段階から取り組むべき指針として「府中市公共工事に係る環境配慮指針」を定めています。

平成 18 年度は、環境安全部下水道課、水と緑事業本部公園緑地課、都市整備部土木課・建築課及び学校教育部総務課が実施した 142 件の該当工事において、この指針に基づく環境配慮を実施しました。

## ●府中市公共工事に係る環境配慮指針の概要

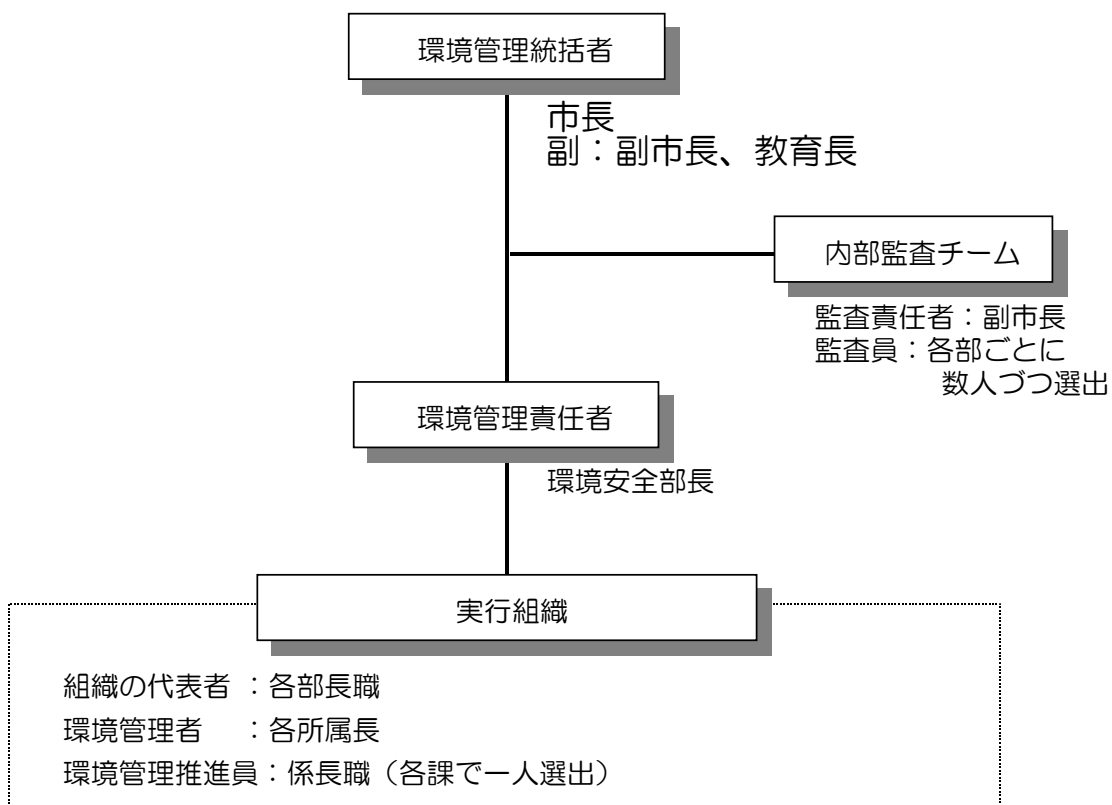
目的	目標		手順	
府中市の発注する公共工事の環境配慮を推進する。	重機等建設機械の低公害型機械の使用率	100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕様書に低公害型機械の使用を記入する。</li> <li>工事中に仕様書の内容が実施されているかを確認する。</li> </ul>	
	リサイクル目標	アスファルト塊	100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕様書にリサイクルの推進を記入する。</li> <li>東京都建設リサイクル推進行動計画等の手法を採用して、工事を実施する。</li> </ul>
		コンクリート塊	100%	
		建設泥土	60%	
		建設混合廃棄物	60%	
		建設発生木材	100%	
建設発生残土の有効利用等	90%	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効利用</li> <li>現場での埋め戻し</li> </ul>		

# ■ 環境マネジメントシステム

## ■ 推進体制と役割、責任

府中市職員エコ・アクションプランの効果的な実施・運用のために、府中市環境マネジメントシステムを準用し、管理及び内部監査のための推進体制と役割・責任を定め、各職員に周知徹底を図ります。

### ● 推進体制



## ■ 環境管理推進会議の開催

環境マネジメントシステムの実行部門の推進体制を確立し、職場での取組を強化推進していくため、環境推進員（各課から一人ずつ選任）により構成される、環境管理推進員会議を開催しています。

## ■環境研修の実施状況

全職員一丸となった取組を推進するため、役職に応じた、研修を実施しています。

### ●環境研修実施状況

研修種類	対象者	内容・目的	講師	回数	参加者数
管理職研修	部課長職相当以上の職員	環境マネジメントシステムの重要性の理解、幹部職員としての能力・自覚の向上。	外部	2	60
環境管理推進員研修	環境管理推進員	環境リーダーとしての能力・自覚の向上。	事務局	5	52
一般職員研修	管理職及び環境管理推進員を除くすべての職員	環境に対する自覚を高め、環境方針、環境負荷低減行動等を理解する。	外部	2	52
新任職員研修	19年度採用職員	同上	事務局	1	50
職場内研修	所属職員	日々、職場の業務を通じて理解を深める。	所属長	79 (延べ)	1,291 (延べ)
特定業務研修	特定業務従事者	環境に負荷を与えるような特定業務に係る専門知識・技術の習得。	所属長	3	4
環境監査員研修	環境監査員候補者	環境監査に必要な専門知識・技能の習得。	外部	2	24

## ■環境コミュニケーションの状況

### 他機関への依頼等の実績

事務事業の実施にあたり、委託業者や指定管理者などに委託発注を行う都度、所属から環境負荷低減に対する協力を依頼しています。

### HP、広報による情報提供

府中市ホームページでは、環境安全課からのお知らせのページに、府中市エコ・レポートを、PDFファイルによりダウンロードできるようにしています。

<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>

### ●他機関への依頼等の実施状況

所属	依頼先数
情報システム課	3
管財課	4
健康推進課	2
保育課	18
環境保全課	5
ごみ減量推進課	6
公園緑地課	2
管理課	3
土木課	10
建築課	72
地区整備推進本部	3
文化財担当	4
図書館	3
美術館	6
合計	141



# ■ 環境監査の結果

## ■ 内部環境監査

環境監査は、環境マネジメントシステム、府中市職員エコ・アクションプランによる計画が、適切に実施・維持されているかどうかを、職員同士、チェックし合うものです。府中市役所では、24人の環境監査員を認定しています。

平成19年10月に、5日間にわたり、延106人の監査員によって監査を実施しました。

今回の監査では、文書管理が徹底していなかった、職場での研修が実施されていなかったといった点について、監査員から職場に対し指導・助言を行いました。

## ■ 外部審査（ISO14001 定期審査）

ISO14001 の対象施設では、審査登録機関（財団法人日本品質保証機構）による定期審査を受審しました。審査による指摘事項は、次のとおりです。

### ● 外部審査結果

評価区分	意味合い	件数
改善指摘事項	指摘されたことは必ず改善しなければならない事項	0件
改善の機会	指摘事項ではありませんが、改善されたほうが良いもの	6件

### 【「改善の機会」の内訳】

- ① 目的・目標の見直し及び定期内部監査の実施時期について検討の余地あり。
- ② 内部監査での指摘に対する是正措置に当たって、真の原因究明が必要。
- ③ ごみ排出量削減に係る目標が達成していない。目標に対する実績の評価、目標設定の妥当性について検討の余地あり。
- ④ 有益な環境側面の整理方法について再検討の余地あり。
- ⑤ 緑化については、結果から得られる効果を指標に設定し検証することが適切。
- ⑥ 教育訓練について、効果や有効性を把握できるような工夫の余地あり。

## 職員の声

さて、職員は、どのようなことを感じながら、取り組んでいたのでしょうか？

環境研修の時間において、職員同士でインタビューを実施し、府中市でのこれまでの取組について話し合いました。

文房具などのグリーン購入はいまや当たり前。家庭に帰ってからも、環境に配慮した商品を選ぶようになっています。

市民等に対して、府中市の取組姿勢を伝えることができたと思います。

府中市の事務事業の実施に当たり、委託先にも、環境への配慮をお願いするようになりました。

レジ袋を受け取らないで、マイバッグをもっていく取組は、職員はもちろん、マイバッグキャンペーンとして、広く市民等にも協力を呼びかけることができました。

**取り組んできたことで、良かったこと**

環境に対する職員の意識が、かわりました。

隣近所の方と、ごみの分別状況のチェックを一緒に行うなど、協力するようになりました。

家庭でも、レジ袋ノーマルの取組を実践しています。家族で、環境やリサイクルなどの話題もあがるようになりました。

夏場は、クールビズ（軽装）をするようになったので、快適に仕事をすることができるようになりました。

庁内で、節水や消灯、ごみの減量といった取組を実践することで、譲り合いや思いやりの心が生まれてきたようだ。

他の自治体との会議へ出張に行ったときのこと。名刺交換の際に、自分の名刺に ISO14001 取得と表示されていたので、自慢することができました。

職場では、職員がもちまわりで環境に関する研修の講師を務めるようにしています。私自身、他の職員に説明するなかで、自身の環境への取組に対する理解を深めることができました。

府中市での取組を通じて逆に悪くなってしまったことや、問題・課題に対しては、次のような声がありました。

- ・ 分別や消灯、紙の節約などに取り組むときには、手間がかかる。
- ・ 日々の努力が、なかなか数字で現れにくいので、わかりづらい。
- ・ 職員の取組について、まだまだ市民等に伝えることができていない。
- ・ 庁舎のなかで寒暖の差があるので、夏28℃、冬20℃の温度設定は、不快に感じる場合がある。
- ・ 昼休みに、庁舎内に市民の利用者がいるにもかかわらず消灯してしまい、ご不便をかけたり、暗い印象を与えてしまったりした。
- ・ だんだんと取組がマンネリ化してきたようだ。
- ・ 環境への取組やISO14001に係る職員の事務量が多い。

### 環境管理責任者より

環境研修での職員からの指摘を踏まえ、府中市での環境負荷低減行動、ISO14001に基づく取組は、事務量の増大をできるだけ抑制し、快適性を損なうことのないよう、より一層、効率性と妥当性に配慮しながら進めてまいります。

## **府中市エコ・レポート**（平成 18 年度報告）

発 行 日／平成 2 0 年 3 月

編集・発行／環境安全部環境保全課

〒183-8703 東京都府中市宮西町 2 丁目 24 番地

電話 (042) 364-4111 (代表)

(042) 335-4191 (直通)

FAX (042) 361-0078

ホームページ <http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>

# 府中市エコ・レポート

(平成19年度報告)

～ 府中市職員による地球温暖化防止に向けた取組 ～

第2次府中市職員工コ・アクションプラン  
ISO14001 環境マネジメントシステム

平成21年3月

府 中 市

# 目次

ページ

はじめに	1
編集方針・報告書の対象範囲	2
府中市役所の概要	3
世界共通の課題 ～地球温暖化対策	4
府中市の環境に対する考え	5
環境方針の実現に向けた行動	6
環境目的・目標と実績	8
「地球環境にやさしい生活」私たち職員はここに宣言します。	12
公共工事に伴う環境負荷の低減	14
環境マネジメントシステム	15
環境監査の結果	17
職員の声	18

# はじめに

最近の研究によると、気候変動や食糧生産、生態系の破壊など地球温暖化の影響が確実に現れていることがわかってきました。

2009 年は、先進国全体で温室効果ガス総排出量の削減目標を定めた「京都議定書」の約束期間（2008 年～2012 年）が始まり 1 年が経過しました。京都議定書の目標の達成に向けて、さらに 2012 年以降の中長期的な温暖化対策の道筋を模索するため、世界各国が集まって議論が活発化してきました。

府中市においては、市民生活や事業活動におけるエネルギー・燃料の消費・使用、廃棄物の排出・焼却などを通じて、地球温暖化の原因となる CO<sub>2</sub> を排出しています。地球温暖化は、対岸の火事ではありません、私たちの生活が原因となっていることを改めて認識しなければなりません。

それは、府中市役所も同じだと思っています。行政サービスの提供や庁舎での事務活動や事業活動を通じて、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）を排出しているからです。

また同時に、行政の役割として環境施策を積極的に展開し、市民、事業者と一体となって地球温暖化防止をはじめとした環境負荷低減活動を広げていく役割もあります。

このようなことから、府中市の職員は、自らの事務事業に伴う環境負荷を低減するため、環境マネジメントシステムの国際規格 ISO14001 を取得するとともに、地球温暖化防止の取組を積極的に実践してまいりました。

府中市エコ・レポートは、府中市職員による取組結果を広く市民等に公表するため、平成 14 年度から発行を重ねてまいりました。

府中市エコ・レポート（平成 19 年度報告）につきましては、府中市職員の姿勢、職場での工夫や苦勞を、できるだけわかりやすく紹介するよう心がけて作成いたしました。

是非、本レポートをお読みいただき、一層のご支援と忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

平成 21 年 3 月

## 編集方針

府中市では、平成14年度にはじめて府中市エコ・レポートを発行し、環境負荷低減行動について報告をしてきました。その後、平成17年に「第2次府中市職員エコ・アクションプラン」を策定し、平成18年度～平成22年度までの5か年の取組をスタートいたしました。

そこで、本レポートでは、これまでのレポートを刷新し、職員たちの声を紹介したり、“わかりやすさ”や“読みやすさ”の工夫をしたりするなど、みなさんに読んでいただけるような紙面づくりを心がけました。

## 報告書の対象範囲

### ■対象期間：

平成19年度（平成19年4月1日～平成20年3月31日まで。ただし、一部のデータについては、平成20年4月以降の活動も含んでいます。）

### ■データの集計範囲

府中市内にある市の施設として市役所本庁舎・第2庁舎のほか出先機関等を含めています。

なお、ISO14001に係る報告内容については、ISO14001の認証取得範囲である、本庁舎、第2庁舎（環境安全部上下水道課水道担当を除く）及び市立中央図書館を対象としています。

（対象施設については、3ページをご参照ください。）

### ■発行時期

平成21年3月

### ■府中市エコ・レポート（Web版）について

府中市ホームページのトップページの「府中で暮らす」をクリックし、「生活環境」の「環境」を選択していただくと、府中市エコ・レポート（PDFファイル）をご覧いただけます。

<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>



## 府中市役所の概要

(平成21年3月現在)

### ■ 組 織

部	課
政策総務部	政策課、財政課、秘書課、広報課、総務管理課、職員課
税務管財部	市民税課、資産税課、納税課、契約課、管財課、情報システム課、用地課
市民生活部	総合窓口課、保険年金課、住宅勤労課、市民活動支援課、経済観光課（農業委員会事務局）
文化スポーツ部	文化振興課、生涯学習スポーツ課、図書館、美術館
福祉保健部	地域福祉推進課、生活援護課、高齢者支援課、障害者福祉課、健康推進課
子ども家庭部	子育て支援課、保育課、児童青少年課
環境安全部	防災課、環境政策課、地域安全対策課、上下水道課
水と緑事業本部	公園緑地課
ごみ改革推進本部	ごみ減量推進課
都市整備部	管理課、計画課、土木課、建築課、建築指導課
地区整備推進本部	府中駅南口周辺整備担当、けやき並木周辺整備担当、西府駅周辺整備担当
	出納課
教育部	総務課、学務保健課、指導室
	選挙管理委員会事務局
	監査事務局
議会事務局	庶務課、議事課

### ■ 施 設

市役所本庁舎※1、府中駅北第2庁舎※2のほか、次の出先機関があります。

市政情報センター	子ども家庭支援センター	生涯学習センター
府中の森市民聖苑	保育所15か所	市民球場
文化センター11か所	学童クラブ22か所	市民陸上競技場
女性センター	リサイクルプラザ	グラウンド管理所
国際交流サロン(第2庁舎)	寿町作業員詰所	総合体育館
観光情報センター	現業事務所	地域体育館7か所
工業技術情報センター	第一学校給食センター	中央図書館※3
	(第2庁舎) 第二学校給食センター	地区図書館12か所
保健センター	学校給食洗浄センター	府中市美術館
保健センター分館	教育センター	

#### ※1 ※2 ※3

ISO14001の認証取得範囲は、本庁舎、府中駅北第2庁舎(環境安全部上下水道課水道担当を除く)

及び市立中央図書館です。

なお、中央図書館は、平成19年12月に市民会館との複合施設「ルミエール府中」となり、ISO14001の認証取得範囲から外れております。

# 世界共通の課題 ～地球温暖化対策

近年、気候変動や食糧生産、生態系の破壊などのさまざまな影響をもたらす地球温暖化が深刻化しています。

最新の研究によれば、人為的な活動により、地球全体の平均気温は、過去100年間（1906～2005年）で0.74℃上昇したことが明らかとなりました。21世紀末（2090年から2099年）の平均気温は、1980年から1999年までに比べ、環境の保全と経済の発展が地球規模で両立する社会においては約1.8℃上昇、また、化石エネルギー源を重視しつつ高い経済成長を実現する社会では約4.0℃上昇すると予測されています。（資料：気候変動に関する政府間パネル[IPCC]第4次評価報告書）

地球温暖化対策の究極の目的は、「温室効果ガスの大気中濃度を自然の生態系や人類に悪影響を及ぼさない水準で安定化させること。」

地球の平均気温の上昇を2℃以下に抑えるためには、「2050年の世界全体の温室効果ガス排出量を1990年レベルの50%以下に削減する必要がある」と考えられています。

## 地球温暖化による影響が現れている



# ■ 府中市の環境に対する考え

府中市は、地球温暖化をはじめとする地球環境問題への対応のため、自らが行う事務事業に伴う環境への負荷を低減するために行動しています。そのため、行動の基本として「府中市環境方針」を策定しています。

## ● 府中市環境方針

### ＜基本理念＞

私たち人類は、これまで自らの生活を豊かにするために活動を拡大し続けてきました。その結果、地球の資源を消費し、排気ガスや廃棄物など、環境に対して大きな負荷を与えてきました。

このまま環境への負荷を減らすことなく活動を続ければ、地球の環境は破壊され、生命の生存すら危ぶまれる状態となることは想像に難くありません。環境を守ることは、私たちに与えられた使命であると言えます。

地球環境問題は多くの複雑な問題を抱えています。いくつかの対策を実施したことで簡単に結果が出て解決されるというものではありません。問題の解決のためには、行政や事業者、市民がそれぞれの立場で、できるところから地道な努力を積み重ね、大量生産、大量消費、大量廃棄に裏付けられた社会経済活動や生活様式を見直し、社会全体を環境への負荷が少ない持続的発展が可能なものに変えて行くことが必要です。

府中市は、これまでも施策の中で環境にやさしいまちの創出を進めてきました。また、職員自らも環境負荷が少ない事務事業の実施を目指して、庁舎や各施設で省資源、省エネルギー、ごみ減量、リサイクル、緑化などに努めてきました。しかし、最近の国際的な地球温暖化への取組や国内の環境に関する法律の制定など、新たな環境保全への対応が進展するなかで、府中市職員は、市が事業者でありかつ消費者であることをここでもう一度認識し直し、自ら環境負荷低減のための行動をこれまで以上に推進することにより、先導的な役割を担うことが環境問題解決のためにきわめて重要であると考えます。

今、私たち府中市職員は、できるところから、自主的、積極的、継続的に環境負荷低減のための活動を進めます。

### ＜基本方針＞

府中市は、自らが行う事務事業が環境に及ぼす影響を継続的に改善していくため、全職員が一体となって、環境保全活動に取り組みます。

- 1 「府中市職員エコ・アクションプラン」を推進するなかで、特に次の項目については優先して取り組み、事務事業に伴う温室効果ガスの排出を始めとする環境負荷の低減に努めます。
  - (1) 電気、燃料、ガス等の使用量削減による省エネルギーの推進
  - (2) 紙、水道等の使用量削減による省資源の推進
  - (3) グリーン購入の推進
- 2 府中市環境基本計画に基づき、府中市環境行動指針に示す環境保全の取組を積極的に推進します。
- 3 公共工事の実施に当たっては、計画の段階から環境への影響に配慮し、環境負荷低減に努めます。
- 4 環境目的及び目標を設定し定期的な見直しを行い、環境負荷低減施策の継続的改善を進めます。
- 5 環境関連法令等を遵守し、環境汚染の予防に努めます。

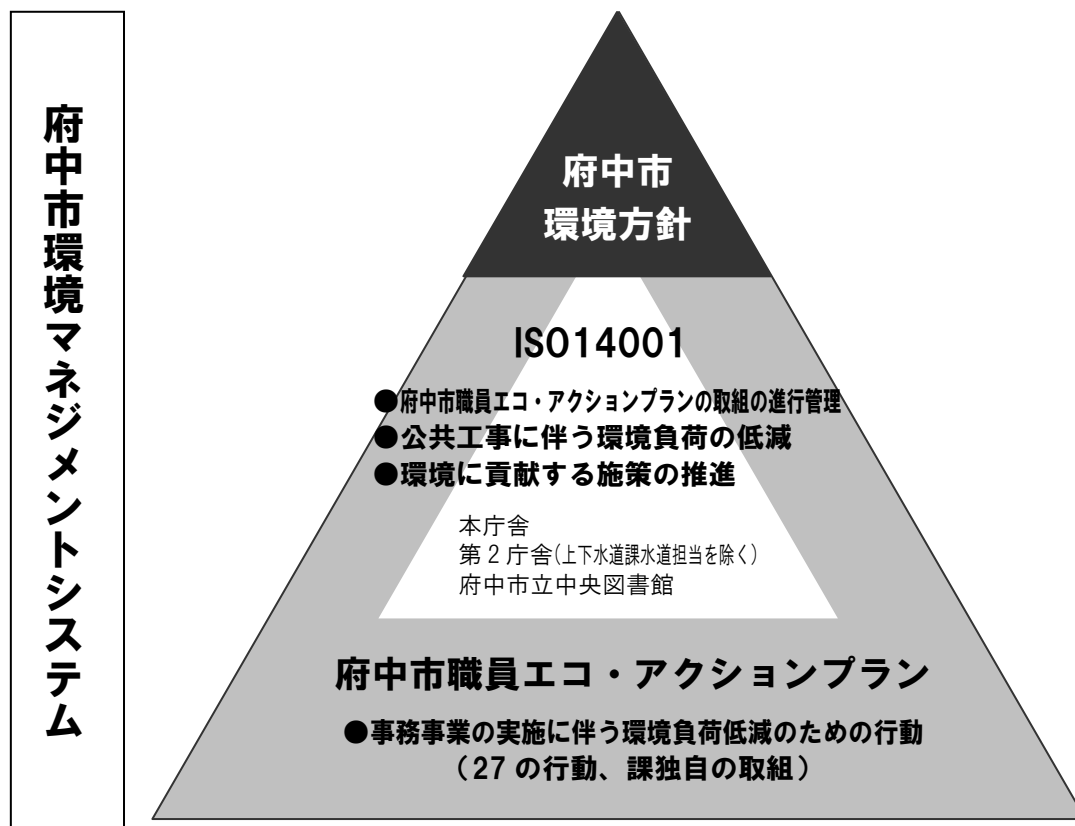
平成16年12月1日

府中市長 野口忠直

# ■ 環境方針の実現に向けた行動

府中市では、府中市職員エコ・アクションプランを中心とした環境マネジメントシステムに基づいた環境負荷低減対策を、より積極的に推進するため、国際標準化機構（ISO）※<sup>1</sup>が定めた環境管理に関する国際規格 ISO14001※<sup>2</sup>を平成20年2月に認証更新し、環境負荷の低減に努めています。

なお、府中市環境マネジメントシステムは、ISO14001の対象範囲のほか、対象範囲以外でエコ・アクションプランのみが適用になる取組も含めた、府中市全体での取組を対象範囲としています。



## ※1 国際標準化機構（ISO）

ISOは、「国際標準化機構（International Organization for Standardization）」の呼称です。スイスのジュネーブに本部を置く非政府組織（NGO）で、工業製品やサービスなどの国際的な規格の制定や標準化を目的として設立された国際機関です。

## ※2 国際規格 ISO14001

ISOが定めた環境に配慮するための仕組みを定めたシステムの規格です。PDCAサイクル（計画立案→実施・運用→点検・評価→見直し）を回すことで活動の進行管理を行い、継続的な改善を進めます。ISO14001を認証取得したということは、環境に配慮した仕組みが国際規格に適合し、運用・維持されていることの証明になります。日本では、JIS Q 14001として発効されています。

## ■実践行動のための計画・仕組み

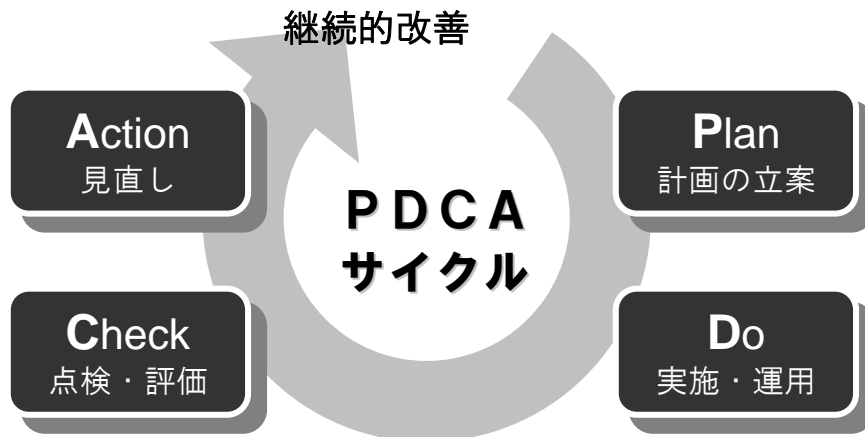
府中市職員エコ・アクションプランと ISO14001 に適合した取組は、計画を立て（Plan）、計画に基づいた取組を実施・運用し（Do）、その結果を点検・評価し（Check）、さらに取組結果をもとに計画を見直す（Act）という、PDCA サイクルによって、継続的な改善を図ります。

### ●府中市職員エコ・アクションプラン

目的	府中市の職員が、事務事業の実施に伴う環境への負荷を低減するための行動を自ら率先して実行することにより、地球温暖化対策を始めとする地球環境保全施策の推進を図る。
位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化対策の推進に関する法律第 21 条の「地方公共団体の事務及び事業に関する実行計画等」</li> <li>国の率先実行計画に定める「地方公共団体における環境負荷低減のための率先的な取組」</li> <li>府中市環境基本条例第 12 条「環境管理及び環境監査」の実施</li> </ul>
計画期間	平成 18 年度～平成 22 年度（5 年間） 基準年度：平成 16 年度
対象範囲	対象施設：府中市内の市立学校を除く市の施設 対象者：全職員
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務事業の実施に伴う環境負荷低減のための行動</li> </ul>

### ●ISO14001 に適合した取組

目的	府中市の職員が、事務事業の実施に伴う環境への負荷を、自ら低減するための計画。
対象範囲	対象施設：市役所本庁舎、府中駅北第 2 庁舎（環境安全部上下水道課水道担当を除く）及び府中市立中央図書館 対象者：対象範囲に勤務する職員（正規職員及び臨時職員）並びに常駐する委託業者
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>府中市職員エコ・アクションプランの取組</li> <li>公共工事に伴う環境負荷の低減</li> <li>環境に貢献する施策の推進</li> </ul>



# ■ 環境目的・目標と実績

## ■ 温室効果ガス排出量に関する環境目的・目標

府中市職員エコ・アクションプランでは、地球温暖化防止への貢献を目的とし、平成22年度の温室効果ガス排出量を、基準年度（平成16年度）比で5%以上削減する目標を定めています。

この目標の達成に向けて、省エネルギー・省資源、グリーン購入といった取組を推進しましたが、平成19年度の温室効果ガス排出量は、基準年度値10,350 CO<sub>2</sub>換算tから14.8%増加し、11,877 CO<sub>2</sub>換算tとなりました。

この結果は、一部施設における燃料使用量の増加や電気の二酸化炭素排出係数の変化などが原因であると考えられます。

※基準年度の電気の二酸化炭素排出係数を使用し、平成19年12月に移転した中央図書館の下半期の光熱水費を除いて、計算すると8,812 CO<sub>2</sub>換算tとなります。

### ● 温室効果ガス排出量に関する環境目的・目標の達成状況

環境目的	環境目標 (平成16年度比)		基準年度値 (平成16年度)	目標値 (平成22年度)	平成19年度 実績値	評価
地球温暖化防止への貢献	温室効果ガス 排出量	5%以上 削減	10,350 CO <sub>2</sub> 換算t	9,833 CO <sub>2</sub> 換算t	11,877 CO <sub>2</sub> 換算t	(> <)

#### 【評価凡例】

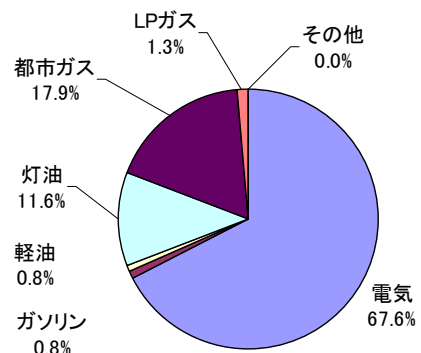
- (^o^): 22年度目標レベルをすでに達成している
- (-\_-): 22年度目標に向けて取り組んでいる
- (> <): 基準値よりも環境負荷が増大している

### ● 温室効果ガス排出量の推移

単位：CO<sub>2</sub>換算t

温室効果ガス	平成16年度 (基準年度値)	平成17年度	平成19年度 (実績値)	府中市における 主な発生源
二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	10,340.57	9,794.18	11,869.66	物の燃焼、電気の使用
メタン (CH <sub>4</sub> )	0.39	0.22	0.22	車の走行、ごみの燃焼
一酸化二窒素 (N <sub>2</sub> O)	6.74	4.80	5.00	車の走行
ハイドロフルオロカーボン (HFC)	2.77	2.59	2.54	カーエアコンの使用
温室効果ガス	10,350.47	9,801.79	11,877.43	—
基準年度からの増減率	0.0%	-5.3%	14.8%	—

温室効果ガス排出量発生源別内訳(19年度)



## ■環境負荷低減行動に関する環境目的・目標

府中市職員エコ・アクションプランに基づき、電気使用量や各種燃料の削減低減【省エネルギー】、紙・水道・文房具等の削減【省資源】、庁有車の走行距離の削減、環境にやさしい車の使用【グリーン購入】といった環境負荷低減行動について環境目的・目標を設定し、取り組んでいます。

次の表では、各環境目標について、平成19年度実績値が、平成22年度における目標値に向けて、取組が進んできたかどうかを3段階で評価しました。

### 【評価凡例】

(^o^)：22年度目標レベルをすでに達成している

(-\_-)：22年度目標に向けて取り組んでいる

(> <)：基準値よりも環境負荷が増大している

特に、電気使用量、軽油、都市ガス及びLPガスの削減については、(> <)マークであり、“基準値よりも環境負荷が増大している”という評価結果となりました。

日常的な施設・設備の稼動において、省エネルギーの推進を徹底、工夫をしていく必要があるといえます。

### ●環境負荷低減行動に関する環境目的・目標の達成状況

環境目的	環境目標	(平成16年度比)	基準年度値 (平成16年度)	目標値 (平成22年度)	平成19年度 実績値	評価
省エネルギーの推進	電気使用量の削減	5%以上削減	17,700MWh	16,815MWh	18,882MWh	(> <)
	燃料使用量の削減					
	ガソリン	5%以上削減	49,872L	47,378L	43,397L	(^o^)
	軽油	5%以上削減	31,051L	29,498L	35,811L	(> <)
	灯油	5%以上削減	586,509L	557,183L	551,099L	(^o^)
	都市ガス	5%以上削減	918,290m <sup>3</sup>	872,376m <sup>3</sup>	960,869 m <sup>3</sup>	(> <)
	LPガス	5%以上削減	46,496kg	44,171kg	51,516kg	(> <)
省資源の推進	紙使用量の削減	5%以上削減	75,658kg	71,875kg	66,928kg	(^o^)
	水道使用量の削減	5%以上削減	307,780m <sup>3</sup>	292,391m <sup>3</sup>	262,215m <sup>3</sup>	(^o^)
	文房具等使用量の削減	5%以上削減	18,854千円	17,911千円	10,443千円	(^o^)
省エネルギー・省資源・公害防止	車の走行距離の削減	5%以上削減	543.3千km	516.1千km	524.2千km	(-_-)
グリーン購入の推進	環境にやさしい車の使用	構成比全体の40%以上	21.8%	40.0%	35.4%	(^o^)



# 「地球環境にやさしい生活」 私たち職員はここに宣言します。

## 府中市職員環境宣言

私たち職員は、地球温暖化防止を始めとする地球環境の保全に寄与できるように、職場から家庭に至るまで、職員一人ひとりが自主的、積極的に取り組みます。

職員一同は、この宣言を心にとめて、事務事業の実施に伴う環境への負荷を低減するための行動（環境負荷低減行動）を、自ら率先して実行していきます。

### 行動に当たっての基本的視点

- ① 事務事業における無駄をなくすことにより環境負荷を低減します。
- ② できるところから自主的、継続的に進めます。
- ③ 環境負荷低減行動が習慣となることを目指します。



## ■ 環境負荷低減行動

府中市職員エコ・アクションプランに基づき、全職員が事務事業の実施に伴う環境負荷低減のための次のような行動を実践しています。

また、職員に対しては、家庭に帰って、日常生活のなかでも自主的、積極的に取り組むように務めるよう、協力を呼びかけています。

- 1 レジ袋は受け取りません。
- 2 昼休み及び就業前後の消灯。残業時の不必要な照明の消灯。
- 3 OA機器の未使用時の電源を切る。機械の省エネルギー設定。
- 4 毎週水曜日はノーカーデーの実施及び水曜日以外の車もできる限り乗らない。
- 5 車のアイドリングを止める。
- 6 車を使用する際には、エコドライブを心がける。
- 7 片面使用済紙・両面コピーの使用・紙の使用量削減。
- 8 必要最低限の枚数しかプリントアウトしない。
- 9 使用済み封筒を再利用する。
- 10 ごみ減量やリサイクルのルールを徹底する。
- 11 階数の差が3階まではエレベータには乗らない。
- 12 下りのエレベータには乗らない。
- 13 トイレの便座シートやウォシュレットの温度設定は色目盛りの下端を最大とし、夏はさらに低めにする。
- 14 トイレのウォシュレットの電源は、土日等使用しない時は切る。
- 15 給湯器の湯水を流しながら使用しない。
- 16 環境にやさしい商品を購入する。
- 17 物品購入に当たっては必要以上に購入しない。
- 18 印刷コピーは必要なだけにする。
- 19 コピー機の未使用時はリセットボタンを押す。
- 20 帰りの際はコピー機のスイッチを切る。
- 21 割り箸等は使わない。
- 22 シュレッダーの未使用時は電源を切る。
- 23 会議室の冷暖房温度設定を適正にする。
- 24 夏の軽装等、快適に過ごせる服装を心がける。
- 25 会議室の冷暖房や照明は会議開始の10分前まではつけない。
- 26 ブラインドやカーテン等の利用により効率的な照明・空調を図る。
- 27 各自の取組

## ■環境負荷低減行動の実施状況（19年度の重点取組の結果から）

年度ごとに重点取組を設定し、全職員に対する周知・徹底を図っています。

### ●レジ袋は受け取りません。

#### 買い物は、いつでもどこでも、マイバッグ

レジ袋は1枚当たり約5gで、成分は炭素が約80%を占めています。これが燃やされると、相当な量の二酸化炭素が発生します。

#### ■市民マイバッグ持参運動推進中

廃棄物の発生抑制や減量を図り、環境にやさしいライフスタイルの推進をするため、市民マイバッグ持参運動を実施するものです。

マイバッグ運動は、市民、事業者及び市職員による府中市民マイバッグ持参運動実行委員会が主体となって運動を推進しています。より多くの市民のソフトパワーを生かすために実行委員会の付属組織として設置された「府中市民マイバッグクラブ」と連携し、効率的かつ効果的に運動を推進しています。

#### ■マイバッグデーの制定

毎月5日を「マイバッグデー」とし、商店街やスーパーマーケット等において、マイバッグ持参の呼びかけや持参率調査等を行う市民マイバッグ持参キャンペーンを実施しています。

### ●昼休み及び就業前後の消灯。残業時の不必要な照明の消灯。

#### スイッチ一つで二酸化炭素27kg

府中市役所本庁舎の蛍光灯は、事務室全体で約2,400本あります。

昼休みに、各職場で7割の消灯をしたとすると、昼休みだけで68kwの電力量が節約できます。これは二酸化炭素26kg、電気料金は1,564円/時となります。年間では、二酸化炭素6.2t、電気料金37.5万円もの節約です。

### ●毎週水曜日はノーカーデーの実施及び水曜日以外の車もできる限り乗らない。

#### 府中市役所の二酸化炭素排出量の11%

大気中の二酸化炭素の濃度が水曜日に最も高まるという結果を踏まえ、「毎週水曜日はノーカーデー」の実施をしています。大気汚染と温暖化防止に役立ちます。

毎週水曜日は車に乗らないようにし、他の曜日でもできる限り車に乗らないように心がけています。

● 片面使用済紙・両面コピーの使用・紙の使用量削減。

● ごみ減量やリサイクルのルールを徹底する。

### 資源節約

紙は大切な資源です。また、資源の節約はごみ減量の第一歩。府中市職員は、紙の使用量削減に取り組んでいます。

再生紙の使用、使用済み封筒の再利用、裏紙の利用、適正枚数の印刷などを進めるほか、ごみの減量やリサイクルのルールを徹底しています。

たとえリサイクルしているからと言っても、大量使用することは環境負荷を増大させます。

府中市はすでに、再生紙の使用、使用済み封筒の再利用、裏紙の利用、適正枚数の印刷などを進めています。今後もこれらの取組を続けます。

#### ■ 1万トンごみ減量大作戦

府中市では、1万トンごみ減量大作戦を展開しています。これは、市民、事業者、行政が協力し、ともにごみを減らすための活動をしていこうという作戦です。5年間で家庭ごみ及び事業ごみを延べ1万トン減らすのが、目的です。

1日1人120g（卵約2個分）のごみを毎日減らせば、1年間で1万トンのごみが減らせると言われています。

#### ■ 各課で独自に取り組んでいます

各職場では、前述の重点取組に加え、自主的に取り組む項目を定め、課独自の取組を実施しています。

##### 【各課独自の取組の例】

- ・ 来客時に使用する食器類を洗う際の洗剤の使用量を減らす。
- ・ FAX送付時の送り状の省略
- ・ 庁内連絡時など可能な限り封筒を再利用する。
- ・ 市役所から2キロ以内の現場調査等は自転車を使用する。
- ・ 職場で飲み物を飲む場合は、ペットボトル・缶のものはできるだけ購入せず、自宅からお茶等を入れたポットを持参する。
- ・ 当課で開催する各種催しにおいてマイバッグ啓発のキャンペーンを行う。
- ・ 事務室の整理整頓を心がける。

# 公共工事に伴う環境負荷の低減

ISO14001 に基づく環境マネジメントシステムでは、市が実施する発注金額 500 万円以上の公共工事について、計画の段階から取り組むべき指針として「府中市公共工事に係る環境配慮指針」を定めています。

平成 19 年度は、環境安全部下水道課、水と緑事業本部公園緑地課、都市整備部土木課・建築課及び学校教育部総務課が実施した 53 件の該当工事において、この指針に基づく環境配慮を実施しました。

## ●府中市公共工事に係る環境配慮指針の概要

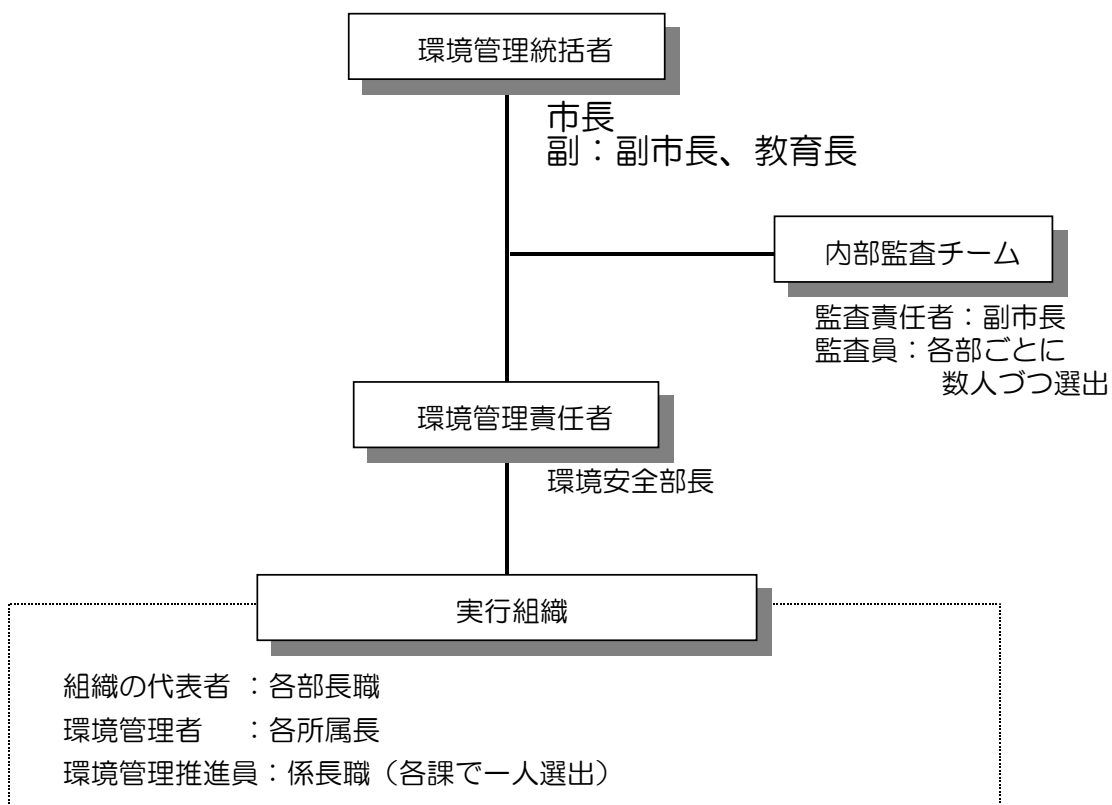
目的	目標		手順	
府中市の発注する公共工事の環境配慮を推進する。	重機等建設機械の低公害型機械の使用率	100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕様書に低公害型機械の使用を記入する。</li> <li>工事中に仕様書の内容が実施されているかを確認する。</li> </ul>	
	リサイクル目標	アスファルト塊	100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕様書にリサイクルの推進を記入する。</li> <li>東京都建設リサイクル推進行動計画等の手法を採用して、工事を実施する。</li> </ul>
		コンクリート塊	100%	
		建設泥土	60%	
		建設混合廃棄物	60%	
		建設発生木材	100%	
建設発生残土の有効利用等	90%	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効利用</li> <li>現場での埋め戻し</li> </ul>		

# ■ 環境マネジメントシステム

## ■ 推進体制と役割、責任

府中市職員エコ・アクションプランの効果的な実施・運用のために、府中市環境マネジメントシステムを準用し、管理及び内部監査のための推進体制と役割・責任を定め、各職員に周知徹底を図っています。

### ● 推進体制



## ■ 環境管理推進会議の開催

環境マネジメントシステムの実行部門の推進体制を確立し、職場での取組を強化推進していくため、環境推進員（各課から一人ずつ選任）により構成される、環境管理推進員会議を開催しています。

## ■環境研修の実施状況

全職員一丸となった取組を推進するため、役職に応じた、研修を実施しています。

### ●環境研修実施状況

研修種類	対象者	内容・目的	講師	回数	参加者数
管理職研修	部課長職相当以上の職員	環境マネジメントシステムの重要性の理解、幹部職員としての能力・自覚の向上。	外部	2	68
環境管理推進員研修	環境管理推進員	環境リーダーとしての能力・自覚の向上。	事務局	3	51
一般職員研修	管理職及び環境管理推進員を除くすべての職員	環境に対する自覚を高め、環境方針、環境負荷低減行動等を理解する。	外部	2	46
新任職員研修	19年度採用職員	同上	事務局	1	60
職場内研修	所属職員	日々、職場の業務を通じて理解を深める。	所属長	85 (延べ)	1,218 (延べ)
特定業務研修	特定業務従事者	環境に負荷を与えるような特定業務に係る専門知識・技術の習得。	所属長	3	4
環境監査員研修	環境監査員候補者	環境監査に必要な専門知識・技能の習得。	外部	2	24

## ■環境コミュニケーションの状況

### 他機関への依頼等の実績

事務事業の実施にあたり、委託業者や指定管理者などに委託発注を行う都度、所属から環境負荷低減に対する協力を依頼しています。

### HP等による情報提供

府中市ホームページでは、「府中で暮らす>生活環境>環境」のページに、府中市エコ・レポートを、PDFファイルによりダウンロードできるようにしています。

<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>

### ●他機関への依頼等の実施状況

所属	依頼先数
情報システム課	4
管財課	4
住宅勤労課	27
健康推進課	2
保育課	18
環境保全課	5
下水道課	2
公園緑地課	2
ごみ減量推進課	5
管理課	3
土木課	10
建築課	37
地区整備推進本部	2
文化財担当	4
図書館	6
美術館	6
合計	137

※平成19年度報告のため、所属は平成19年度の名称になっております。

# ■ 環境監査の結果

## ■ 平成 19 年度内部環境監査

環境監査は、環境マネジメントシステム、府中市職員エコ・アクションプランによる計画が、適切に実施・維持されているかどうかを、職員同士、チェックし合うものです。府中市役所では、毎年度、環境監査員を養成する研修を実施し、平成 19 年度に 24 人の環境監査員を認定しています。

平成 19 年 10 月に、5 日間にわたり、延 106 人の監査員によって監査を実施しました。

今回の監査では、文書管理が徹底していなかった、職場での研修が実施されていなかったといった点について、監査員から職場に対し指導・助言を行いました。

## ■ 外部審査（ISO14001 更新審査）

ISO14001 の対象施設では、審査登録機関（財団法人日本品質保証機構）による更新審査を受審しました。審査による指摘事項は、次のとおりです。

### ● 外部審査結果

評価区分	意味合い	件数
改善指摘事項	指摘されたことは必ず改善しなければならない事項	1 件
ストロングポイント	実施状況等で特筆すべき秀逸な事項	1 件
改善の機会	指摘事項ではありませんが、改善されたほうが良いもの	15 件

### 【「改善の機会」の内訳】

- ① 目的・目標の見直し及び定期内部監査の実施時期について検討の余地あり。
- ② 内部監査での指摘に対する是正措置に当たって、真の原因究明が必要。
- ③ ごみ排出量削減に係る目標が達成していない。目標に対する実績の評価、目標設定の妥当性について検討の余地あり。
- ④ 有益な環境側面の整理方法について再検討の余地あり。
- ⑤ 緑化については、結果から得られる効果を指標に設定し検証することが適切。
- ⑥ 教育訓練について、効果や有効性を把握できるような工夫の余地あり。

## ■ 職員の声

さて、職員は、どのようなことを感じながら、取り組んでいたのでしょうか？

環境研修の時間において、職員同士でインタビューを実施し、府中市でのこれまでの取組について話し合いました。

取り組んできて良かったこととして、次のような声がありました。

- ・ 職員の環境に対する意識が上がった。
- ・ ISO を取得したことで市役所のイメージが良くなってきている。
- ・ 職員の取組が、家庭にも広がるようになった。
- ・ 市の環境に対する姿勢が明確になった。
- ・ 課内でも環境について話し合う時間が増えた。
- ・ 同一の目標を達成しようとすることで組織力が向上した

一方、逆に悪くなってしまったことや、問題・課題に対して、次のような声がありました。

- ・ ごみを捨てるのに、手間がかかる。
- ・ ノーカーデーや庁内の温度設定などにより、事務の効率が悪くなる。
- ・ 職員の取組を市民に伝える力が不十分である。
- ・ 用語は、理解しづらいカタカナ言葉が多い。
- ・ 取組をやり尽くした感じがあり、今度さらにどう行動すべきかわからない。
- ・ 個人差が多いように感じる。
- ・ 環境への取組や ISO14001 に係る職員の事務量が多いわりに効果が見えにくい。

### 環境管理責任者より

職員エコアクションプランに基づく環境負荷低減行動を開始してから 年、ISO14001 認証を取得してから 年が経ち、緊張感がややもすれば緩んできたように感じられます。

当初の目的、目標を再度よく認識し、環境への配慮を忘れずに事務の効率化に取り組み必要があります。



## **府中市エコ・レポート**（平成 19 年度報告）

発 行 日／平成 2 1 年 3 月

編集・発行／環境安全部環境政策課

〒183-8703 東京都府中市宮西町 2 丁目 24 番地

電話 (042) 364-4111 (代表)

(042) 335-4196 (直通)

FAX (042) 361-0078

ホームページ <http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>

# 府中市エコ・レポート

(平成20年度報告)

～ 府中市職員による地球温暖化防止に向けた取組 ～

第2次府中市職員工コ・アクションプラン  
ISO14001 環境マネジメントシステム

平成22年3月

府 中 市

# 目次

ページ

はじめに	-----	1
編集方針・報告書の対象範囲	-----	2
府中市役所の概要	-----	3
世界共通の課題 ～地球温暖化対策	-----	4
府中市の環境に対する考え	-----	5
環境方針の実現に向けた行動	-----	6
環境目的・目標と実績	-----	8
「地球環境にやさしい生活」私たち職員はここに宣言します。	-----	12
公共工事に伴う環境負荷の低減	-----	14
環境マネジメントシステム	-----	15
環境監査の結果	-----	17
職員の声	-----	18

# はじめに

最近の研究によると、気候変動や食糧生産、生態系の破壊など地球温暖化の影響が確実に現れていることがわかってきました。

2010 年は、先進国全体で温室効果ガス総排出量の削減目標を定めた「京都議定書」の約束期間（2008 年～2012 年）が始まり 2 年が経過しました。京都議定書の目標の達成に向けて、さらに 2012 年以降の中長期的な温暖化対策の道筋を模索するため、世界各国が集まって議論が活発化してきました。

府中市においては、市民生活や事業活動におけるエネルギー・燃料の消費・使用、廃棄物の排出・焼却などを通じて、地球温暖化の原因となる CO<sub>2</sub> を排出しています。地球温暖化は、対岸の火事ではありません、私たちの生活が原因となっていることを改めて認識しなければなりません。

それは、府中市役所も同じだと思っています。行政サービスの提供や庁舎での事務活動や事業活動を通じて、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）を排出しているからです。

また同時に、行政の役割として環境施策を積極的に展開し、市民、事業者と一体となって地球温暖化防止をはじめとした環境負荷低減活動を広げていく役割もあります。

このようなことから、府中市の職員は、自らの事務事業に伴う環境負荷を低減するため、環境マネジメントシステムの国際規格 ISO14001 を取得するとともに、地球温暖化防止の取組を積極的に実践してまいりました。

府中市エコ・レポートは、府中市職員による取組結果を広く市民等に公表するため、平成 14 年度から発行を重ねてまいりました。

府中市エコ・レポート（平成 20 年度報告）につきましては、府中市職員の姿勢、職場での工夫や苦勞を、できるだけわかりやすく紹介するよう心がけて作成いたしました。

是非、本レポートをお読みいただき、一層のご支援と忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

平成 22 年 3 月

## 編集方針

府中市では、平成14年度にはじめて府中市エコ・レポートを発行し、環境負荷低減行動について報告をしてきました。その後、平成17年に「第2次府中市職員エコ・アクションプラン」を策定し、平成18年度～平成22年度までの5か年の取組をスタートいたしました。

そこで、本レポートでは、これまでのレポートを刷新し、職員たちの声を紹介したり、“わかりやすさ”や“読みやすさ”の工夫をしたりするなど、みなさんに読んでいただけるような紙面づくりを心がけました。

## 報告書の対象範囲

### ■対象期間：

平成20年度（平成20年4月1日～平成21年3月31日まで。ただし、一部のデータについては、平成22年4月以降の活動も含んでいます。）

### ■データの集計範囲

府中市内にある市の施設として市役所本庁舎・第2庁舎のほか出先機関等を含めています。

なお、ISO14001に係る報告内容については、ISO14001の認証取得範囲である、本庁舎、第2庁舎を対象としています。

（対象施設については、3ページをご参照ください。）

### ■発行時期

平成22年3月

### ■府中市エコ・レポート（Web版）について

府中市ホームページのトップページの「府中で暮らす」をクリックし、「生活環境」の「環境」を選択していただくと、府中市エコ・レポート（PDFファイル）をご覧いただけます。

<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>

# 府中市役所の概要

(平成22年3月現在)

## ■ 組 織

部	課
政策総務部	政策課、財政課、秘書課、広報課、総務管理課、職員課
税務管財部	市民税課、資産税課、納税課、契約課、管財課、情報システム課、用地課
市民生活部	総合窓口課、保険年金課、住宅勤労課、市民活動支援課、経済観光課（農業委員会事務局）
文化スポーツ部	文化振興課、生涯学習スポーツ課、図書館、美術館
福祉保健部	地域福祉推進課、生活援護課、高齢者支援課、障害者福祉課、健康推進課
子ども家庭部	子育て支援課、保育課、児童青少年課
環境安全部	防災課、環境政策課、地域安全対策課、下水道課
水と緑事業本部	公園緑地課
ごみ改革推進本部	ごみ減量推進課
都市整備部	管理課、計画課、土木課、建築課、建築指導課
地区整備推進本部	府中駅南口周辺整備担当、けやき並木周辺整備担当、西府駅周辺整備担当
	出納課
教育部	総務課、学務保健課、指導室
	選挙管理委員会事務局
	監査事務局
議会事務局	庶務課、議事課

## ■ 施 設

市役所本庁舎※1、府中駅北第2庁舎※2のほか、次の出先機関があります。

市政情報センター	子ども家庭支援センター	生涯学習センター
府中の森市民聖苑	保育所15か所	市民球場
文化センター11か所	学童クラブ22か所	市民陸上競技場
女性センター	リサイクルプラザ	グラウンド管理所
国際交流サロン(第2庁舎)	寿町作業員詰所	総合体育館
観光情報センター	現業事務所	地域体育館7か所
工業技術情報センター	第一学校給食センター	中央図書館※3
	(第2庁舎) 第二学校給食センター	地区図書館12か所
保健センター	学校給食洗浄センター	府中市美術館
保健センター分館	教育センター	

### ※1 ※2 ※3

ISO14001の認証取得範囲は、本庁舎、府中駅北第2庁舎です。

なお、中央図書館は、平成19年12月に市民会館との複合施設「ルミエール府中」となり、ISO14001の認証取得範囲から外れております。

# 世界共通の課題 ～地球温暖化対策

近年、気候変動や食糧生産、生態系の破壊などのさまざまな影響をもたらす地球温暖化が深刻化しています。

最新の研究によれば、人為的な活動により、地球全体の平均気温は、過去100年間（1906～2005年）で0.74℃上昇したことが明らかとなりました。21世紀末（2090年から2099年）の平均気温は、1980年から1999年までに比べ、環境の保全と経済の発展が地球規模で両立する社会においては約1.8℃上昇、また、化石エネルギー源を重視しつつ高い経済成長を実現する社会では約4.0℃上昇すると予測されています。（資料：気候変動に関する政府間パネル[IPCC]第4次評価報告書）

地球温暖化対策の究極の目的は、「温室効果ガスの大気中濃度を自然の生態系や人類に悪影響を及ぼさない水準で安定化させること。

地球の平均気温の上昇を2℃以下に抑えるためには、「2050年の世界全体の温室効果ガス排出量を1990年レベルの50%以下に削減する必要がある」と考えられています。

## 地球温暖化による影響が現れている



# ■ 府中市の環境に対する考え

府中市は、地球温暖化をはじめとする地球環境問題への対応のため、自らが  
行う事務事業に伴う環境への負荷を低減するために行動しています。そのため  
に、行動の基本として「府中市環境方針」を策定しています。

## ● 府中市環境方針

### <基本理念>

私たち人類は、これまで自らの生活を豊かにするために活動を拡大し続けてきました。その結果、地球の資源を消費し、排気ガスや廃棄物など、環境に対して大きな負荷を与えてきました。

このまま環境への負荷を減らすことなく活動を続ければ、地球の環境は破壊され、生命の生存すら危ぶまれる状態となることは想像に難くありません。環境を守ることは、私たちに与えられた使命であると言えます。

地球環境問題は多くの複雑な問題を抱えています。いくつかの対策を実施したことで簡単に結果が出て解決されるというものではありません。問題の解決のためには、行政や事業者、市民がそれぞれの立場で、できることから地道な努力を積み重ね、大量生産、大量消費、大量廃棄に裏付けられた社会経済活動や生活様式を見直し、社会全体を環境への負荷が少ない持続的発展が可能なものに変えて行くことが必要です。

府中市は、これまでも施策の中で環境にやさしいまちの創出を進めてきました。また、職員自らも環境負荷が少ない事務事業の実施を目指して、庁舎や各施設で省資源、省エネルギー、ごみ減量、リサイクル、緑化などに努めてきました。しかし、最近の国際的な地球温暖化への取組や国内の環境に関する法律の制定など、新たな環境保全への対応が進展するなかで、府中市職員は、市が事業者でありかつ消費者であることをここでもう一度認識し直し、自ら環境負荷低減のための行動をこれまで以上に推進することにより、先導的な役割を担うことが環境問題解決のためにきわめて重要であると考えます。

今、私たち府中市職員は、できることから、自主的、積極的、継続的に環境負荷低減のための活動を進めます。

### <基本方針>

府中市は、自らが行う事務事業が環境に及ぼす影響を継続的に改善していくため、全職員が一体となって、環境保全活動に取り組みます。

- 1 「府中市職員エコ・アクションプラン」を推進するなかで、特に次の項目については優先して取り組み、事務事業に伴う温室効果ガスの排出を始めとする環境負荷の低減に努めます。
  - (1) 電気、燃料、ガス等の使用量削減による省エネルギーの推進
  - (2) 紙、水道等の使用量削減による省資源の推進
  - (3) グリーン購入の推進
- 2 府中市環境基本計画に基づき、府中市環境行動指針に示す環境保全の取組を積極的に推進します。
- 3 公共工事の実施に当たっては、計画の段階から環境への影響に配慮し、環境負荷低減に努めます。
- 4 環境目的及び目標を設定し定期的な見直しを行い、環境負荷低減施策の継続的改善を進めます。
- 5 環境関連法令等を遵守し、環境汚染の予防に努めます。

平成16年12月1日

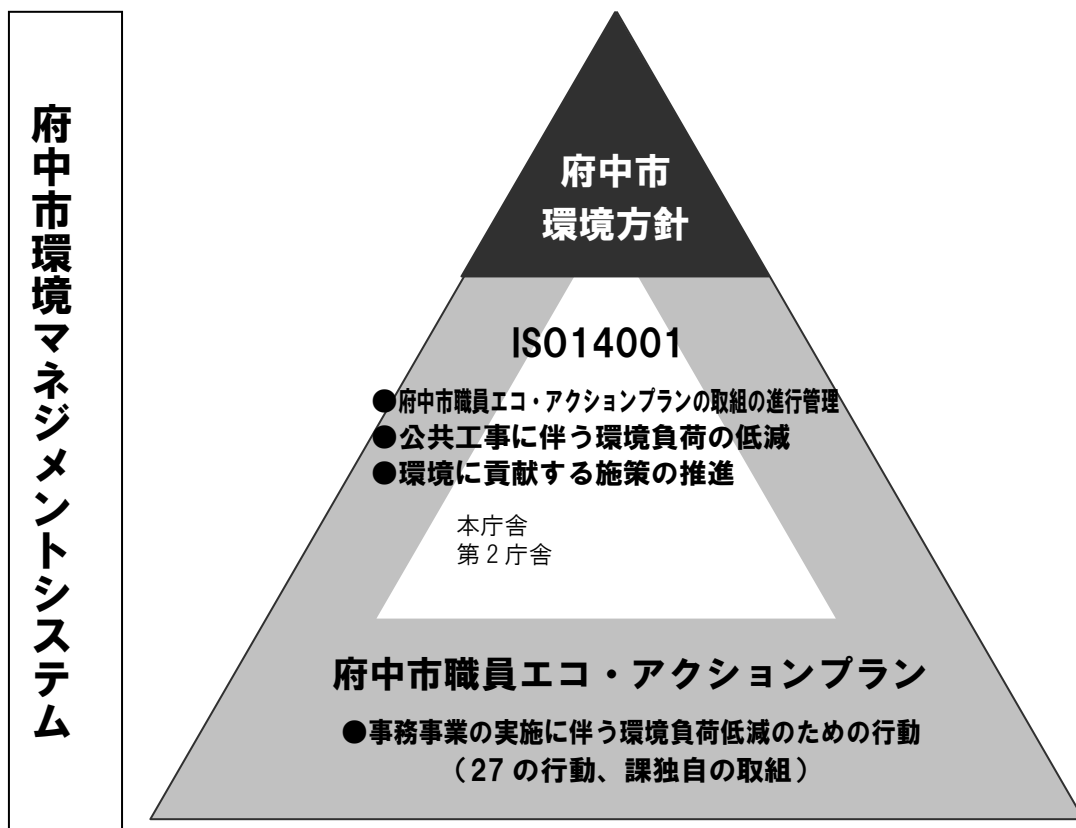
府中市長 野口 忠直



# ■ 環境方針の実現に向けた行動

府中市では、府中市職員エコ・アクションプランを中心とした環境マネジメントシステムに基づいた環境負荷低減対策を、より積極的に推進するため、国際標準化機構（ISO）※<sup>1</sup>が定めた環境管理に関する国際規格ISO14001※<sup>2</sup>を平成20年2月に認証更新し、環境負荷の低減に努めています。

なお、府中市環境マネジメントシステムは、ISO14001の対象範囲のほか、対象範囲以外でエコ・アクションプランのみが適用になる取組も含めた、府中市全体での取組を対象範囲としています。



## ※1 国際標準化機構（ISO）

ISOは、「国際標準化機構（International Organization for Standardization）」の呼称です。スイスのジュネーブに本部を置く非政府組織（NGO）で、工業製品やサービスなどの国際的な規格の制定や標準化を目的として設立された国際機関です。

## ※2 国際規格 ISO14001

ISOが定めた環境に配慮するための仕組みを定めたシステムの規格です。PDCAサイクル（計画立案→実施・運用→点検・評価→見直し）を回すことで活動の進行管理を行い、継続的な改善を進めます。ISO14001を認証取得したということは、環境に配慮した仕組みが国際規格に適合し、運用・維持されていることの証明になります。日本では、JIS Q 14001として発効されています。

## ■実践行動のための計画・仕組み

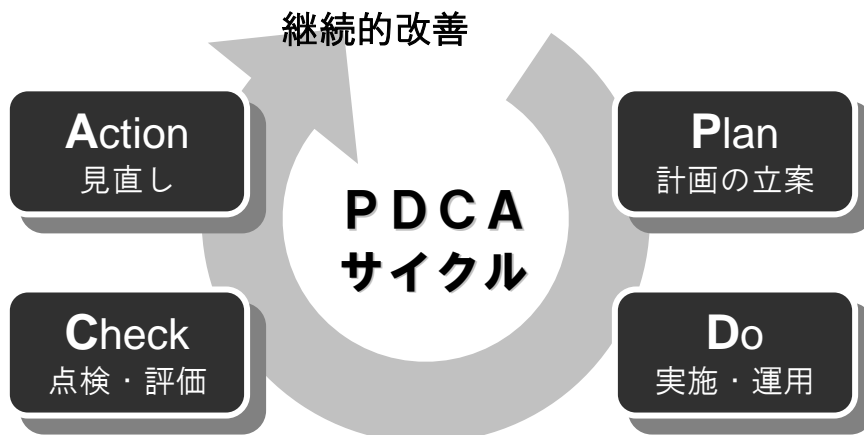
府中市職員エコ・アクションプランと ISO14001 に適合した取組は、計画を立て（Plan）、計画に基づいた取組を実施・運用し（Do）、その結果を点検・評価し（Check）、さらに取組結果をもとに計画を見直す（Act）という、PDCA サイクルによって、継続的な改善を図ります。

### ●府中市職員エコ・アクションプラン

目的	府中市の職員が、事務事業の実施に伴う環境への負荷を低減するための行動を自ら率先して実行することにより、地球温暖化対策を始めとする地球環境保全施策の推進を図る。
位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化対策の推進に関する法律第 21 条の「地方公共団体の事務及び事業に関する実行計画等」</li> <li>国の率先実行計画に定める「地方公共団体における環境負荷低減のための率先的な取組」</li> <li>府中市環境基本条例第 12 条「環境管理及び環境監査」の実施</li> </ul>
計画期間	平成 18 年度～平成 22 年度（5 年間） 基準年度：平成 16 年度
対象範囲	対象施設：府中市内の市立学校を除く市の施設 対象者：全職員
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務事業の実施に伴う環境負荷低減のための行動</li> </ul>

### ●ISO14001 に適合した取組

目的	府中市の職員が、事務事業の実施に伴う環境への負荷を、自ら低減するための計画。
対象範囲	対象施設：市役所本庁舎、府中駅北第 2 庁舎 対象者：対象範囲に勤務する職員（正規職員及び臨時職員）並びに常駐する委託業者
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>府中市職員エコ・アクションプランの取組</li> <li>公共工事に伴う環境負荷の低減</li> <li>環境に貢献する施策の推進</li> </ul>



# ■ 環境目的・目標と実績

## ■ 温室効果ガス排出量に関する環境目的・目標

府中市職員エコ・アクションプランでは、地球温暖化防止への貢献を目的とし、平成22年度の温室効果ガス排出量を、基準年度（平成16年度）比で5%以上削減する目標を定めています。

この目標の達成に向けて、省エネルギー・省資源、グリーン購入といった取組を推進しましたが、平成20年度の温室効果ガス排出量は、基準年度値10,350 CO<sub>2</sub>換算tから5.6%増加し、10,926 CO<sub>2</sub>換算tとなりました。

この結果は、一部施設における燃料使用量の増加や電気の二酸化炭素排出係数の変化などが原因であると考えられます。

※基準年度の電気の二酸化炭素排出係数を使用し、平成19年12月に移転した中央図書館の下半期の光熱水費を除いて、計算すると8,812 CO<sub>2</sub>換算tとなります。

### ● 温室効果ガス排出量に関する環境目的・目標の達成状況

環境目的	環境目標 (平成16年度比)		基準年度値 (平成16年度)	目標値 (平成22年度)	平成20年度 実績値	評価
地球温暖化防止への貢献	温室効果ガス排出量	5%以上削減	10,350 CO <sub>2</sub> 換算t	9,833 CO <sub>2</sub> 換算t	10,926 CO <sub>2</sub> 換算t	(> <)

#### 【評価凡例】

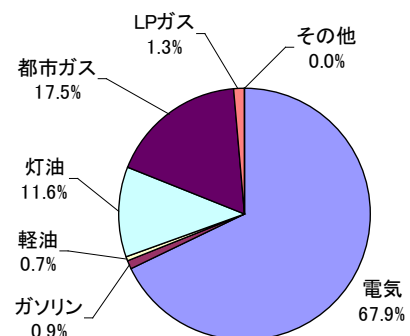
- (^o^): 22年度目標レベルをすでに達成している
- (-\_-): 22年度目標に向けて取り組んでいる
- (> <): 基準値よりも環境負荷が増大している

### ● 温室効果ガス排出量の推移

単位：CO<sub>2</sub>換算t

温室効果ガス	平成16年度 (基準年度値)	平成17年度	平成20年度 (実績値)	府中市における 主な発生源
二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	10,340.57	9,794.18	10,919.37	物の燃焼、電気の使用
メタン (CH <sub>4</sub> )	0.39	0.22	0.18	車の走行、ごみの燃焼
一酸化二窒素 (N <sub>2</sub> O)	6.74	4.80	4.26	車の走行
ハイドロフルオロカーボン (HFC)	2.77	2.59	1.52	カーエアコンの使用
温室効果ガス	10,350.47	9,801.79	10,926.33	—
基準年度からの増減率	0.0%	-5.3%	5.6%	—

温室効果ガス排出量発生源別内訳(20年度)



## ■環境負荷低減行動に関する環境目的・目標

府中市職員エコ・アクションプランに基づき、電気使用量や各種燃料の削減低減【省エネルギー】、紙・水道・文房具等の削減【省資源】、庁有車の走行距離の削減、環境にやさしい車の使用【グリーン購入】といった環境負荷低減行動について環境目的・目標を設定し、取り組んでいます。

次の表では、各環境目標について、平成20年度実績値が、平成22年度における目標値に向けて、取組が進んできたかどうかを3段階で評価しました。

### 【評価凡例】

(^o^): 22年度目標レベルをすでに達成している

(-\_-): 22年度目標に向けて取り組んでいる

(> <): 基準値よりも環境負荷が増大している

特に、電気使用量については、(> <) マークであり、“基準値よりも環境負荷が増大している”という評価結果となりました。

日常的な施設・設備の稼動において、省エネルギーの推進を徹底、工夫をしていく必要があるといえます。

### ●環境負荷低減行動に関する環境目的・目標の達成状況

環境目的	環境目標	(平成16年度比)	基準年度値 (平成16年度)	目標値 (平成22年度)	平成20年度 実績値	評価
省エネルギーの推進	電気使用量の削減	5%以上削減	17,700MWh	16,815MWh	17,744MWh	(> <)
	燃料使用量の削減					
	ガソリン	5%以上削減	49,872L	47,378L	43,988L	(^o^)
	軽油	5%以上削減	31,051L	29,498L	22,547L	(^o^)
	灯油	5%以上削減	586,509L	557,183L	510,980L	(^o^)
	都市ガス LPガス	5%以上削減	918,290m <sup>3</sup> 46,496kg	872,376m <sup>3</sup> 44,171kg	866,765 m <sup>3</sup> 45,529kg	(-_-)
省資源の推進	紙使用量の削減	5%以上削減	75,658kg	71,875kg	72,032kg	(-_-)
	水道使用量の削減	5%以上削減	307,780m <sup>3</sup>	292,391m <sup>3</sup>	289,890m <sup>3</sup>	(^o^)
	文房具等使用量の削減	5%以上削減	18,854千円	17,911千円	9,963千円	(^o^)
省エネルギー・省資源・公害防止	車の走行距離の削減	5%以上削減	543.3千km	516.1千km	518.5千km	(-_-)
グリーン購入の推進	環境にやさしい車の使用	構成比全体の40%以上	21.8%	40.0%	38.2%	(-_-)



# 「地球環境にやさしい生活」 私たち職員はここに宣言します。

## 府中市職員環境宣言

私たち職員は、地球温暖化防止を始めとする地球環境の保全に寄与できるように、職場から家庭に至るまで、職員一人ひとりが自主的、積極的に取り組みます。

職員一同は、この宣言を心にとめて、事務事業の実施に伴う環境への負荷を低減するための行動（環境負荷低減行動）を、自ら率先して実行していきます。

### 行動に当たっての基本的視点

- ① 事務事業における無駄をなくすことにより環境負荷を低減します。
- ② できるところから自主的、継続的に進めます。
- ③ 環境負荷低減行動が習慣となることを目指します。

## ■ 環境負荷低減行動

府中市職員エコ・アクションプランに基づき、全職員が事務事業の実施に伴う環境負荷低減のための次のような行動を実践しています。

また、職員に対しては、家庭に帰って、日常生活のなかでも自主的、積極的に取り組むように務めるよう、協力を呼びかけています。

- 1 レジ袋は受け取りません。
- 2 昼休み及び就業前後の消灯。残業時の不必要な照明の消灯。
- 3 OA機器の未使用時の電源を切る。機械の省エネルギー設定。
- 4 毎週水曜日はノーカーデーの実施及び水曜日以外の車もできる限り乗らない。
- 5 車のアイドリングを止める。
- 6 車を使用する際には、エコドライブを心がける。
- 7 片面使用済紙・両面コピーの使用・紙の使用量削減。
- 8 必要最低限の枚数しかプリントアウトしない。
- 9 使用済み封筒を再利用する。
- 10 ごみ減量やリサイクルのルールを徹底する。
- 11 階数の差が3階まではエレベータには乗らない。
- 12 下りのエレベータには乗らない。
- 13 トイレの便座シートやウォシュレットの温度設定は色目盛りの下端を最大とし、夏はさらに低めにする。
- 14 トイレのウォシュレットの電源は、土日等使用しない時は切る。
- 15 給湯器の湯水を流しながら使用しない。
- 16 環境にやさしい商品を購入する。
- 17 物品購入に当たっては必要以上に購入しない。
- 18 印刷コピーは必要なだけにする。
- 19 コピー機の未使用時はリセットボタンを押す。
- 20 帰りの際はコピー機のスイッチを切る。
- 21 割り箸等は使わない。
- 22 シュレッダーの未使用時は電源を切る。
- 23 会議室の冷暖房温度設定を適正にする。
- 24 夏の軽装等、快適に過ごせる服装を心がける。
- 25 会議室の冷暖房や照明は会議開始の10分前まではつけない。
- 26 ブラインドやカーテン等の利用により効率的な照明・空調を図る。
- 27 各自の取組

## ■環境負荷低減行動の実施状況（20年度の重点取組の結果から）

年度ごとに重点取組を設定し、全職員に対する周知・徹底を図っています。

### ●レジ袋は受け取りません。

#### 買い物は、いつでもどこでも、マイバッグ

レジ袋は1枚当たり約5gで、成分は炭素が約80%を占めています。これが燃やされると、相当な量の二酸化炭素が発生します。

#### ■市民マイバッグ持参運動推進中

廃棄物の発生抑制や減量を図り、環境にやさしいライフスタイルの推進をするため、市民マイバッグ持参運動を実施するものです。

マイバッグ運動は、市民、事業者及び市職員による府中市民マイバッグ持参運動実行委員会が主体となって運動を推進しています。より多くの市民のソフトパワーを生かすために実行委員会の付属組織として設置された「府中市民マイバッグクラブ」と連携し、効率的かつ効果的に運動を推進しています。

#### ■マイバッグデーの制定

毎月5日を「マイバッグデー」とし、商店街やスーパーマーケット等において、マイバッグ持参の呼びかけや持参率調査等を行う市民マイバッグ持参キャンペーンを実施しています。

### ●昼休み及び就業前後の消灯。残業時の不必要な照明の消灯。

#### スイッチ一つで二酸化炭素27kg

府中市役所本庁舎の蛍光灯は、事務室全体で約2,400本あります。

昼休みに、各職場で7割の消灯をしたとすると、昼休みだけで68kwの電力量が節約できます。これは二酸化炭素26kg、電気料金は1,564円/時となります。年間では、二酸化炭素6.2t、電気料金37.5万円もの節約です。

### ●毎週水曜日はノーカーデーの実施及び水曜日以外の車もできる限り乗らない。

#### 府中市役所の二酸化炭素排出量の11%

大気中の二酸化炭素の濃度が水曜日に最も高まるという結果を踏まえ、「毎週水曜日はノーカーデー」の実施をしています。大気汚染と温暖化防止に役立ちます。

毎週水曜日は車に乗らないようにし、他の曜日でもできる限り車に乗らないように心がけています。

● 片面使用済紙・両面コピーの使用・紙の使用量削減。

● ごみ減量やリサイクルのルールを徹底する。

### 資源節約

紙は大切な資源です。また、資源の節約はごみ減量の第一歩。府中市職員は、紙の使用量削減に取り組んでいます。

再生紙の使用、使用済み封筒の再利用、裏紙の利用、適正枚数の印刷などを進めるほか、ごみの減量やリサイクルのルールを徹底しています。

たとえリサイクルしているからと言っても、大量使用することは環境負荷を増大させます。

府中市はすでに、再生紙の使用、使用済み封筒の再利用、裏紙の利用、適正枚数の印刷などを進めています。今後もこれらの取組を続けます。

#### ■ 1万トンごみ減量大作戦

府中市では、1万トンごみ減量大作戦を展開しています。これは、市民、事業者、行政が協力し、ともにごみを減らすための活動をしていこうという作戦です。5年間で家庭ごみ及び事業ごみを延べ1万トン減らすのが、目的です。

1日1人120g（卵約2個分）のごみを毎日減らせば、1年間で1万トンのごみが減らせると言われています。

#### ■ 各課で独自に取り組んでいます

各職場では、前述の重点取組に加え、自主的に取り組む項目を定め、課独自の取組を実施しています。

##### 【各課独自の取組の例】

- ・ 来客時に使用する食器類を洗う際の洗剤の使用量を減らす。
- ・ FAX送付時の送り状の省略
- ・ 庁内連絡時など可能な限り封筒を再利用する。
- ・ 市役所から2キロ以内の現場調査等は自転車を使用する。
- ・ 職場で飲み物を飲む場合は、ペットボトル・缶のものはできるだけ購入せず、自宅からお茶等を入れたポットを持参する。
- ・ 当課で開催する各種催しにおいてマイバッグ啓発のキャンペーンを行う。
- ・ 事務室の整理整頓を心がける。



# 公共工事に伴う環境負荷の低減

ISO14001 に基づく環境マネジメントシステムでは、市が実施する発注金額 500 万円以上の公共工事について、計画の段階から取り組むべき指針として「府中市公共工事に係る環境配慮指針」を定めています。

平成 20 年度は、環境安全部環境政策課・下水道課、水と緑事業本部公園緑地課、都市整備部土木課・建築課及び教育部総務課が実施した 1 件の該当工事において、この指針に基づく環境配慮を実施しました。

## ●府中市公共工事に係る環境配慮指針の概要

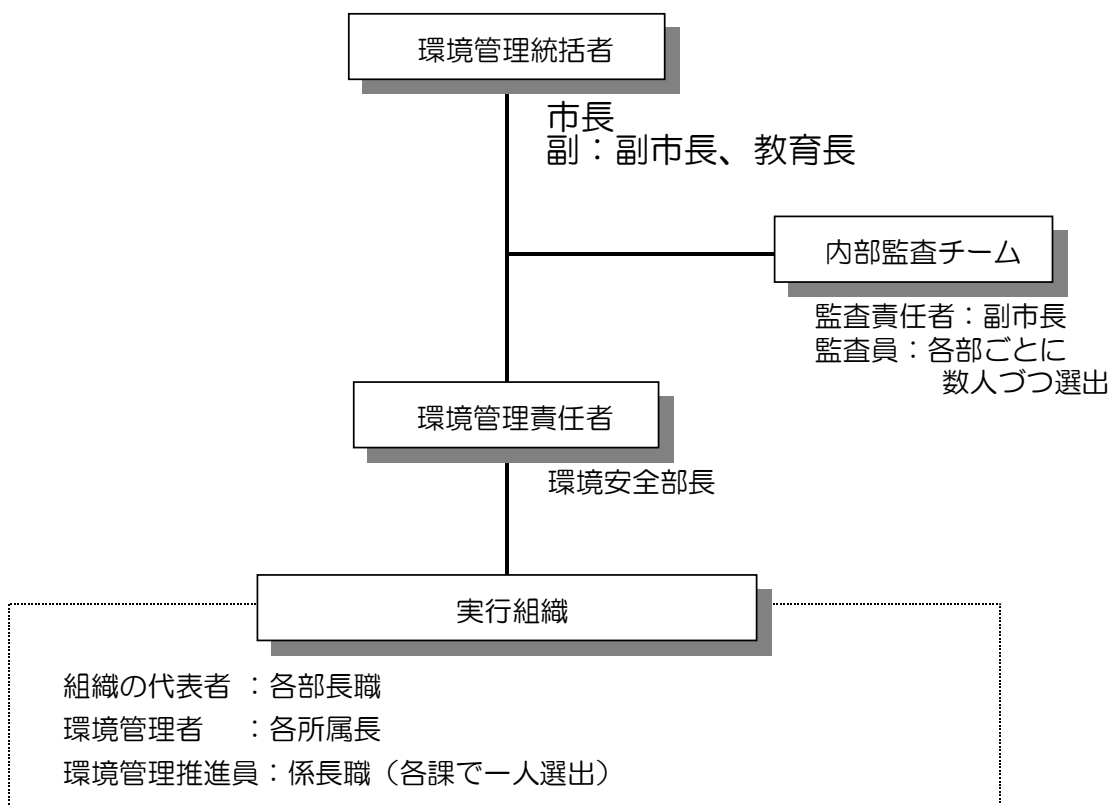
目的	目標		手順	
府中市の発注する公共工事の環境配慮を推進する。	重機等建設機械の低公害型機械の使用率		100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕様書に低公害型機械の使用を記入する。</li> <li>工事中に仕様書の内容が実施されているかを確認する。</li> </ul>
	リサイクル目標	アスファルト塊	100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕様書にリサイクルの推進を記入する。</li> <li>東京都建設リサイクル推進行動計画等の手法を採用して、工事を実施する。</li> </ul>
		コンクリート塊	100%	
		建設泥土	60%	
		建設混合廃棄物	60%	
		建設発生木材	100%	
建設発生残土の有効利用等		90%	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効利用</li> <li>現場での埋め戻し</li> </ul>	

# ■ 環境マネジメントシステム

## ■ 推進体制と役割、責任

府中市職員エコ・アクションプランの効果的な実施・運用のために、府中市環境マネジメントシステムを準用し、管理及び内部監査のための推進体制と役割・責任を定め、各職員に周知徹底を図っています。

### ● 推進体制



## ■ 環境管理推進会議の開催

環境マネジメントシステムの実行部門の推進体制を確立し、職場での取組を強化推進していくため、環境推進員（各課から一人ずつ選任）により構成される、環境管理推進員会議を開催しています。

## ■環境研修の実施状況

全職員一丸となった取組を推進するため、役職に応じた、研修を実施しています。

### ●環境研修実施状況

研修種類	対象者	内容・目的	講師	回数	参加者数
管理職研修	部課長職相当以上の職員	環境マネジメントシステムの重要性の理解、幹部職員としての能力・自覚の向上。	外部	2	68
環境管理推進員研修	環境管理推進員	環境リーダーとしての能力・自覚の向上。	事務局	3	51
一般職員研修	管理職及び環境管理推進員を除くすべての職員	環境に対する自覚を高め、環境方針、環境負荷低減行動等を理解する。	外部	2	114
新任職員研修	20年度採用職員	同上	事務局	1	50
職場内研修	所属職員	日々、職場の業務を通じて理解を深める。	所属長	77 (延べ)	1,334 (延べ)
特定業務研修	特定業務従事者	環境に負荷を与えるような特定業務に係る専門知識・技術の習得。	外部	1	19
環境監査員研修	環境監査員候補者	環境監査に必要な専門知識・技能の習得。	外部	3	25

## ■環境コミュニケーションの状況

### 他機関への依頼等の実績

事務事業の実施にあたり、委託業者や指定管理者などに委託発注を行う都度、所属から環境負荷低減に対する協力を依頼しています。

### HP等による情報提供

府中市ホームページでは、「府中で暮らす＞生活環境＞環境」のページに、府中市エコ・レポートを、PDFファイルによりダウンロードできるようにしています。

<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>

# ■ 環境監査の結果

## ■ 平成20年度内部環境監査

環境監査は、環境マネジメントシステム、府中市職員エコ・アクションプランによる計画が、適切に実施・維持されているかどうかを、職員同士、チェックし合うものです。府中市役所では、毎年度、環境監査員を養成する研修を実施し、平成20年度に25人の環境監査員を認定しています。

平成20年10月に、5日間にわたり、延104人の監査員によって監査を実施しました。

今回の監査では、文書管理が徹底していなかった、職場での研修が実施されていなかったといった点について、監査員から職場に対し指導・助言を行いました。

## ■ 外部審査（ISO14001 更新審査）

ISO14001 の対象施設では、審査登録機関（財団法人日本品質保証機構）による更新審査を受審しました。審査による指摘事項は、次のとおりです。

### ● 外部審査結果

評価区分	意味合い	件数
改善指摘事項	指摘されたことは必ず改善しなければならない事項	1件
ストロングポイント	実施状況等で特筆すべき秀逸な事項	0件
改善の機会	指摘事項ではありませんが、改善されたほうが良いもの	11件

### 【「改善の機会」の内訳】

- ① 目的・目標の見直し及び定期内部監査の実施時期について検討の余地あり。
- ② 内部監査での指摘に対する是正措置に当たって、真の原因究明が必要。
- ③ ごみ排出量削減に係る目標が達成していない。目標に対する実績の評価、目標設定の妥当性について検討の余地あり。
- ④ 有益な環境側面の整理方法について再検討の余地あり。
- ⑤ 緑化については、結果から得られる効果を指標に設定し検証することが適切。
- ⑥ 教育訓練について、効果や有効性を把握できるような工夫の余地あり。

## ■ 職員の声

さて、職員は、どのようなことを感じながら、取り組んでいたのでしょうか？

環境研修の時間において、職員同士でインタビューを実施し、府中市でのこれまでの取組について話し合いました。

取り組んできて良かったこととして、次のような声がありました。

- ・ 職員の環境に対する意識が上がった。
- ・ ISO を取得したことで市役所のイメージが良くなってきている。
- ・ 職員の取組が、家庭にも広がるようになった。
- ・ 市の環境に対する姿勢が明確になった。
- ・ 課内でも環境について話し合う時間が増えた。
- ・ 同一の目標を達成しようとすることで組織力が向上した

一方、逆に悪くなってしまったことや、問題・課題に対して、次のような声がありました。

- ・ ごみを捨てるのに、手間がかかる。
- ・ ノーカーデーや庁内の温度設定などにより、事務の効率が悪くなる。
- ・ 職員の取組を市民に伝える力が不十分である。
- ・ 用語は、理解しづらいカタカナ言葉が多い。
- ・ 取組をやり尽くした感じがあり、今度さらにどう行動すべきかわからない。
- ・ 個人差が多いように感じる。
- ・ 環境への取組や ISO14001 に係る職員の事務量が多いわりに効果が見えにくい。

### 環境管理責任者より

職員エコアクションプランに基づく環境負荷低減行動を開始してから9年、ISO14001 認証を取得してから8年が経ち、緊張感がやや緩んできたように感じられます。

当初の目的、目標を再度よく認識し、環境への配慮を忘れずに事務の効率化に取り組み必要があります。

## **府中市エコ・レポート（平成20年度報告）**

---

発行日／平成22年3月

編集・発行／環境安全部環境政策課

〒183-8703 東京都府中市宮西町2丁目24番地

電話（042）364-4111（代表）

（042）335-4196（直通）

FAX（042）361-0078

ホームページ <http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>

# 府中市エコ・レポート

(平成21年度報告)

～ 府中市職員による地球温暖化防止に向けた取組 ～

第2次府中市職員工コ・アクションプラン

ISO14001 環境マネジメントシステム

平成23年3月

府 中 市

# 目次

ページ

はじめに	1
編集方針・報告書の対象範囲	2
府中市役所の概要	3
世界共通の課題 ～地球温暖化対策	4
府中市の環境に対する考え	5
環境方針の実現に向けた行動	6
環境目的・目標と実績	8
「地球環境にやさしい生活」私たち職員はここに宣言します。	10
公共工事に伴う環境負荷の低減	14
環境マネジメントシステム	15
環境監査の結果	17
職員の声	18



# はじめに

最近の研究によると、気候変動や食糧生産、生態系の破壊など地球温暖化の影響が確実に現れていることがわかってきました。

2010 年は、先進国全体で温室効果ガス総排出量の削減目標を定めた「京都議定書」の約束期間（2008 年～2012 年）が始まり 3 年が経過しました。京都議定書の目標の達成に向けて、さらに 2012 年以降の中長期的な温暖化対策の道筋を模索するため、世界各国が集まって議論が活発化してきました。

府中市においては、市民生活や事業活動におけるエネルギー・燃料の消費・使用、廃棄物の排出・焼却などを通じて、地球温暖化の原因となる CO<sub>2</sub> を排出しています。地球温暖化は、対岸の火事ではありません、私たちの生活が原因となっていることを改めて認識しなければなりません。

それは、府中市役所も同じだと思っています。行政サービスの提供や庁舎での事務活動や事業活動を通じて、二酸化炭素 CO<sub>2</sub> を排出しているからです。

また同時に、行政の役割として環境施策を積極的に展開し、市民、事業者と一体となって環境負荷低減活動を広げていく役割もあります。

このようなことから、府中市の職員は、自らの事務事業に伴う環境負荷を低減するため、環境マネジメントシステムの国際規格 ISO14001 を取得するとともに、地球温暖化防止の取組を積極的に実践してまいりました。

府中市エコ・レポートは、府中市職員による取組結果を広く市民等に公表するため、平成 14 年度から発行を重ねてまいりました。

府中市エコ・レポート（平成 21 年度報告）につきましては、府中市職員の姿勢、職場での工夫や苦勞を、できるだけわかりやすく紹介するよう心がけて作成いたしました。

是非、本レポートをお読みいただき、一層のご支援と忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

平成 23 年 3 月

## 編集方針

府中市では、平成 14 年度にはじめて府中市エコ・レポートを発行し、環境負荷低減行動について報告をしてきました。その後、平成 17 年に「第 2 次府中市職員エコ・アクションプラン」を策定し、平成 18 年度～平成 22 年度までの 5 か年の取組をスタートいたしました。

そこで、本レポートでは、これまでのレポートを刷新し、職員たちの声を紹介したり、“わかりやすさ”や“読みやすさ”の工夫をしたりするなど、みなさんに読んでいただけるような紙面づくりを心がけました。

## 報告書の対象範囲

### ■対象期間：

平成 21 年度（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日まで。ただし、一部のデータについては、平成 23 年 4 月以降の活動も含んでいます。）

### ■データの集計範囲

府中市内にある市の施設として市役所本庁舎・第 2 庁舎のほか出先機関等を含めています。

なお、ISO14001 に係る報告内容については、ISO14001 の認証取得範囲である、本庁舎、第 2 庁舎を対象としています。

（対象施設については、3 ページをご参照ください。）

### ■発行時期

平成 23 年 3 月

### ■府中市エコ・レポート（Web 版）について

府中市ホームページのトップページの「府中で暮らす」をクリックし、「生活環境」の「環境」を選択していただくと、府中市エコ・レポート（PDF ファイル）をご覧いただけます。

<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>

# 府中市役所の概要

(平成23年3月現在)

## ■組 織

政策総務部	政策課、財政課、秘書課、広報課、総務管理課、職員課
税務管財部	市民税課、資産税課、納税課、契約課、管財課、情報システム課、用地課
市民生活部	総合窓口課、保険年金課、住宅勤労課、市民活動支援課、経済観光課（農業委員会事務局）
文化スポーツ部	文化振興課、生涯学習スポーツ課、図書館、美術館
福祉保健部	地域福祉推進課、生活援護課、高齢者支援課、障害者福祉課、健康推進課
子ども家庭部	子育て支援課、保育課、児童青少年課
環境安全部	防災課、環境政策課、地域安全対策課、下水道課
水と緑事業本部	公園緑地課
ごみ改革推進本部	ごみ減量推進課
都市整備部	管理課、計画課、土木課、建築課、建築指導課
地区整備推進本部	けやき並木周辺整備担当、府中駅南口周辺整備担当
	出納課
教育部	総務課、学務保健課、指導室
	選挙管理委員会事務局
	監査事務局
議会事務局	庶務課、議事課

## ■施 設

市役所本庁舎※1、府中駅北第2庁舎※2のほか、次の出先機関があります。

市政情報センター	子ども家庭支援センター	教育センター
府中の森市民聖苑	保育所15か所	生涯学習センター
文化センター11か所	学童クラブ22か所	市民球場
女性センター	中央防災センター	市民陸上競技場
国際交流サロン(第2庁舎)	水防・防災ステーション	グラウンド管理所
観光情報センター	リサイクルプラザ	総合体育館
工業技術情報センター	寿町作業員詰所	地域体育館7か所
	(第2庁舎) 現業事務所	中央図書館※3
保健センター	第一学校給食センター	地区図書館12か所
保健センター分館	第二学校給食センター	府中市美術館
	学校給食洗浄センター	

### ※1 ※2 ※3

ISO14001の認証取得範囲は、本庁舎、府中駅北第2庁舎です。

なお、中央図書館は、平成19年12月に市民会館との複合施設「ルミエール府中」となり、ISO14001の認証取得範囲から外れております。

# 世界共通の課題 ～地球温暖化対策

近年、気候変動や食糧生産、生態系の破壊などのさまざまな影響をもたらす地球温暖化が深刻化しています。

最新の研究によれば、人為的な活動により、地球全体の平均気温は、過去100年間（1906～2005年）で0.74℃上昇したことが明らかとなりました。21世紀末（2090年から2099年）の平均気温は、1980年から1999年までに比べ、環境の保全と経済の発展が地球規模で両立する社会においては約1.8℃上昇、また、化石エネルギー源を重視しつつ高い経済成長を実現する社会では約4.0℃上昇すると予測されています。（資料：気候変動に関する政府間パネル[IPCC]第4次評価報告書）

地球温暖化対策の究極の目的は、「温室効果ガスの大気中濃度を自然の生態系や人類に悪影響を及ぼさない水準で安定化させること。」

地球の平均気温の上昇を2℃以下に抑えるためには、「2050年の世界全体の温室効果ガス排出量を1990年レベルの50%以下に削減する必要がある」と考えられています。

## 地球温暖化による影響が現れている



# ■ 府中市の環境に対する考え

府中市は、地球温暖化をはじめとする地球環境問題への対応のため、自らが  
行う事務事業に伴う環境への負荷を低減するために行動しています。そのため  
に、行動の基本として「府中市環境方針」を策定しています。

## ● 府中市環境方針

### ＜基本理念＞

私たち人類は、これまで自らの生活を豊かにするために活動を拡大し続けてきました。その結果、地球の資源を消費し、排気ガスや廃棄物など、環境に対して大きな負荷を与えてきました。

このまま環境への負荷を減らすことなく活動を続ければ、地球の環境は破壊され、生命の生存すら危ぶまれる状態となることは想像に難くありません。環境を守ることは、私たちに与えられた使命であると言えます。

地球環境問題は多くの複雑な問題を抱えています。いくつかの対策を実施したことで簡単に結果が出て解決されるというものではありません。問題の解決のためには、行政や事業者、市民がそれぞれの立場で、できるところから地道な努力を積み重ね、大量生産、大量消費、大量廃棄に裏付けられた社会経済活動や生活様式を見直し、社会全体を環境への負荷が少ない持続的発展が可能なものに変えて行くことが必要です。

府中市は、これまでも施策の中で環境にやさしいまちの創出を進めてきました。また、職員自らも環境負荷が少ない事務事業の実施を目指して、庁舎や各施設で省資源、省エネルギー、ごみ減量、リサイクル、緑化などに努めてきました。しかし、最近の国際的な地球温暖化への取組や国内の環境に関する法律の制定など、新たな環境保全への対応が進展するなかで、府中市職員は、市が事業者でありかつ消費者であることをここでもう一度認識し直し、自ら環境負荷低減のための行動をこれまで以上に推進することにより、先導的な役割を担うことが環境問題解決のためにきわめて重要であると考えます。

今、私たち府中市職員は、できるところから、自主的、積極的、継続的に環境負荷低減のための活動を進めます。

### ＜基本方針＞

府中市は、自らが行う事務事業が環境に及ぼす影響を継続的に改善していくため、全職員が一体となって、環境保全活動に取り組みます。

- 1 「府中市職員エコ・アクションプラン」を推進するなかで、特に次の項目については優先して取り組み、事務事業に伴う温室効果ガスの排出を始めとする環境負荷の低減に努めます。
  - (1) 電気、燃料、ガス等の使用量削減による省エネルギーの推進
  - (2) 紙、水道等の使用量削減による省資源の推進
  - (3) グリーン購入の推進
- 2 府中市環境基本計画に基づき、府中市環境行動指針に示す環境保全の取組を積極的に推進します。
- 3 公共工事の実施に当たっては、計画の段階から環境への影響に配慮し、環境負荷低減に努めます。
- 4 環境目的及び目標を設定し定期的な見直しを行い、環境負荷低減施策の継続的改善を進めます。
- 5 環境関連法令等を遵守し、環境汚染の予防に努めます。

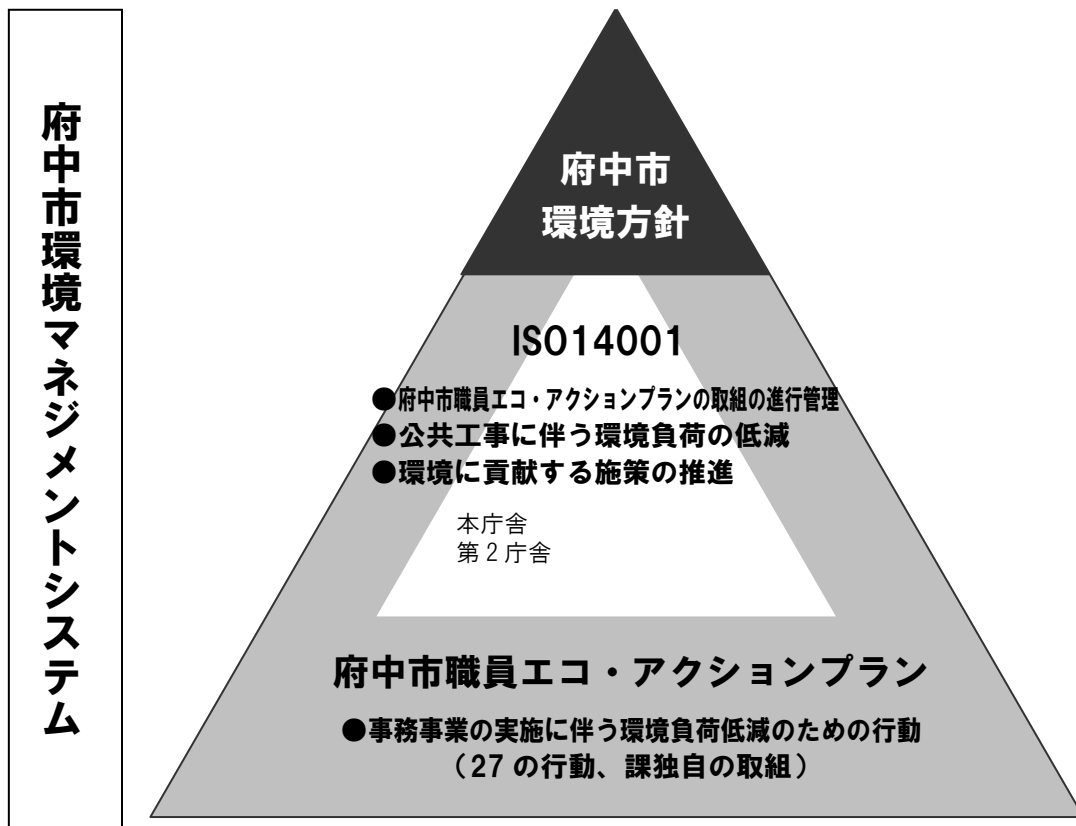
平成16年12月1日

府中市長 野口忠直

# ■ 環境方針の実現に向けた行動

府中市では、府中市職員エコ・アクションプランを中心とした環境マネジメントシステムに基づいた環境負荷低減対策を、より積極的に推進するため、国際標準化機構（ISO）※<sup>1</sup>が定めた環境管理に関する国際規格 ISO14001※<sup>2</sup>を平成23年2月に認証更新し、環境負荷の低減に努めています。

なお、府中市環境マネジメントシステムは、ISO14001の対象範囲のほか、対象範囲以外でエコ・アクションプランのみが適用になる取組も含めた、府中市全体での取組を対象範囲としています。



## ※1 国際標準化機構（ISO）

ISOは、「国際標準化機構（International Organization for Standardization）」の呼称です。スイスのジュネーブに本部を置く非政府組織（NGO）で、工業製品やサービスなどの国際的な規格の制定や標準化を目的として設立された国際機関です。

## ※2 国際規格 ISO14001

ISOが定めた環境に配慮するための仕組みを定めたシステムの規格です。PDCAサイクル（計画立案→実施・運用→点検・評価→見直し）を回すことで活動の進行管理を行い、継続的な改善を進めます。ISO14001を認証取得したということは、環境に配慮した仕組みが国際規格に適合し、運用・維持されていることの証明になります。日本では、JIS Q 14001として発効されています。

## ■実践行動のための計画・仕組み

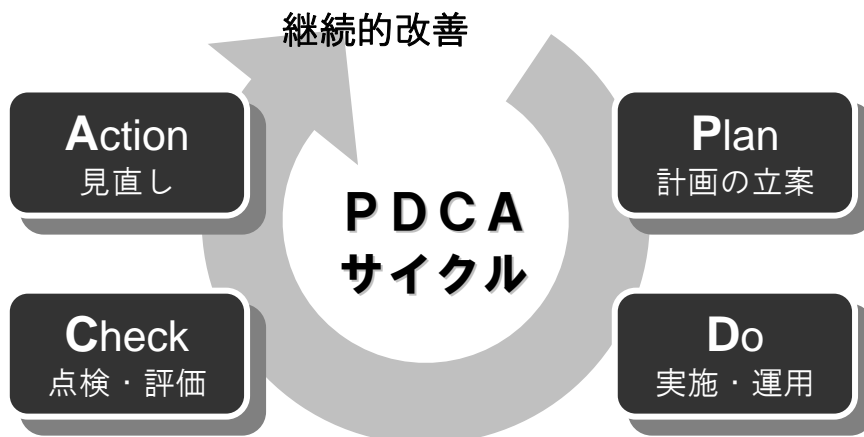
府中市職員エコ・アクションプランと ISO14001 に適合した取組は、計画を立て (Plan)、計画に基づいた取組を実施・運用し (Do)、その結果を点検・評価し (Check)、さらに取組結果をもとに計画を見直す (Act) という、PDCA サイクルによって、継続的な改善を図ります。

### ●(第2次)府中市職員エコ・アクションプラン

目的	府中市の職員が、事務事業の実施に伴う環境への負荷を低減するための行動を自ら率先して実行することにより、地球温暖化対策を始めとする地球環境保全施策の推進を図る。
位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化対策の推進に関する法律第 20 条 3 の「地方公共団体実行計画等」(事務事業)</li> <li>府中市環境基本条例第 12 条「環境管理及び環境監査」の実施</li> </ul>
計画期間	平成 18 年度～平成 22 年度 (5 年間) 基準年度：平成 16 年度
対象範囲	対象施設：府中市内の市立学校を除く市の施設 対象者：全職員
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務事業の実施に伴う環境負荷低減のための行動</li> </ul>

### ●ISO14001 に適合した取組

目的	府中市の職員が、事務事業の実施に伴う環境への負荷を、自ら低減するための計画。
対象範囲	対象施設：市役所本庁舎、府中駅北第 2 庁舎 対象者：対象範囲に勤務する職員 (正規職員及び臨時職員) 並びに常駐する委託業者
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>府中市職員エコ・アクションプランの取組</li> <li>公共工事に伴う環境負荷の低減</li> <li>環境に貢献する施策の推進</li> </ul>



# ■ 環境目的・目標と実績

## ■ 温室効果ガス排出量に関する環境目的・目標

府中市職員エコ・アクションプランでは、地球温暖化防止への貢献を目的とし、平成22年度の温室効果ガス排出量を、基準年度（平成16年度）比で5%以上削減する目標を定めています。

この目標の達成に向けて、省エネルギー・省資源、グリーン購入といった取組を推進しましたが、平成21年度の温室効果ガス排出量は、基準年度値10,350 CO<sub>2</sub>換算 t から8.1%増加し、11,192 CO<sub>2</sub>換算 t となりました。

この結果は、一部施設における燃料や電気の使用量の増加などが原因といえます。また、基準年度（平成16年度）における電気の二酸化炭素排出係数の変化なども原因と考えられます。

### ● 温室効果ガス排出量に関する環境目的・目標の達成状況

環境目的	環境目標 (平成16年度比)		基準年度値 (平成16年度)	目標値 (平成22年度)	平成21年度 実績値	評価
地球温暖化防止への貢献	温室効果ガス排出量	5%以上削減	10,350 CO <sub>2</sub> 換算 t	9,833 CO <sub>2</sub> 換算 t	11,192 CO <sub>2</sub> 換算 t	(> <)

#### 【評価凡例】

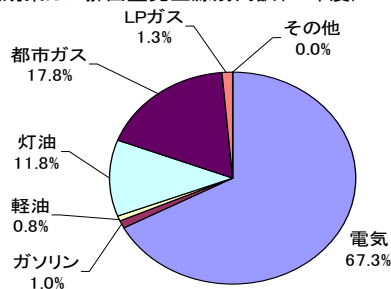
- (^o^): 22年度目標レベルをすでに達成している
- (-\_-): 22年度目標に向けて取り組んでいる
- (> <): 基準値よりも環境負荷が増大している

### ● 温室効果ガス排出量の推移

単位：CO<sub>2</sub>換算 t

温室効果ガス	平成16年度 (基準年度値)	平成17年度	平成21年度 (実績値)	府中市における 主な発生源
二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	10,340.57	9,794.18	11,184.96	物の燃焼、電気の使用
メタン (CH <sub>4</sub> )	0.39	0.22	0.20	車の走行、ごみの燃焼
一酸化二窒素 (N <sub>2</sub> O)	6.74	4.80	4.57	車の走行
ハイドロフルオロカーボン (HFC)	2.77	2.59	2.67	カーエアコンの使用
温室効果ガス	10,350.47	9,801.79	11,192.41	—
基準年度からの増減率	0.0%	-5.3%	8.1%	—

温室効果ガス排出量発生源別内訳(21年度)





## ■環境負荷低減行動に関する環境目的・目標

府中市職員エコ・アクションプランに基づき、電気使用量や各種燃料の削減低減【省エネルギー】、紙・水道・文房具等の削減【省資源】、庁有車の走行距離の削減、環境にやさしい車の使用【グリーン購入】といった環境負荷低減行動について環境目的・目標を設定し、取り組んでいます。

次の表では、各環境目標について、平成 21 年度実績値が、平成 22 年度における目標値に向けて、取組が進んできたかどうかを 3 段階で評価しました。

### 【評価凡例】

(^o^): 22 年度目標レベルをすでに達成している

(-\_-): 22 年度目標に向けて取り組んでいる

(> <): 基準値よりも環境負荷が増大している

特に、電気使用量については、(> <) マークであり、“基準値よりも環境負荷が増大している”という評価結果となりました。

日常的な施設・設備の稼動において、省エネルギーの推進を徹底、工夫をしていく必要があるといえます。

### ●環境負荷低減行動に関する環境目的・目標の達成状況

環境目的	環境目標	(平成 16 年度比)	基準年度値 (平成 16 年度)	目標値 (平成 22 年度)	平成 21 年度 実績値	評価
省エネルギーの推進	電気使用量の削減	5%以上削減	17,700MWh	16,815MWh	18,017MWh	(> <)
	燃料使用量の削減					
	ガソリン	5%以上削減	49,872L	47,378L	45,847L	(^o^)
	軽油	5%以上削減	31,051L	29,498L	34,245L	(> <)
	灯油	5%以上削減	586,509L	557,183L	528,384L	(^o^)
	都市ガス	5%以上削減	918,290m <sup>3</sup>	872,376m <sup>3</sup>	895,138 m <sup>3</sup>	(> <)
	LPガス	5%以上削減	46,496kg	44,171kg	49,160kg	(> <)
省資源の推進	紙使用量の削減	5%以上削減	75,658kg	71,875kg	78,487kg	(> <)
	水道使用量の削減	5%以上削減	307,780m <sup>3</sup>	292,391m <sup>3</sup>	266,654m <sup>3</sup>	(^o^)
	文房具等使用量の削減	5%以上削減	18,854 千円	17,911 千円	14,039 千円	(^o^)
省エネルギー・省資源・公害防止	車の走行距離の削減	5%以上削減	543.3 千 km	516.1 千 km	545.0 千 km	(> <)
グリーン購入の推進	環境にやさしい車の使用	構成比全体の 40%以上	21.8%	40.0%	40.9%	(^o^)



# 「地球環境にやさしい生活」 私たち職員はここに宣言します。

## 府中市職員環境宣言

私たち職員は、地球温暖化防止を始めとする地球環境の保全に寄与できるように、職場から家庭に至るまで、職員一人ひとりが自主的、積極的に取り組みます。

職員一同は、この宣言を心にとめて、事務事業の実施に伴う環境への負荷を低減するための行動（環境負荷低減行動）を、自ら率先して実行していきます。

### 行動に当たっての基本的視点

- ① 事務事業における無駄をなくすことにより環境負荷を低減します。
- ② できるところから自主的、継続的に進めます。
- ③ 環境負荷低減行動が習慣となることを目指します。

## ■ 環境負荷低減行動

府中市職員エコ・アクションプランに基づき、全職員が事務事業の実施に伴う環境負荷低減のための次のような行動を実践しています。

また、職員に対しては、家庭に帰って、日常生活のなかでも自主的、積極的に取り組むように務めるよう、協力を呼びかけています。

- 1 レジ袋は受け取りません。
- 2 昼休み及び就業前後の消灯。残業時の不必要な照明の消灯。
- 3 OA機器の未使用時の電源を切る。機械の省エネルギー設定。
- 4 毎週水曜日はノーカーデーの実施及び水曜日以外の車もできる限り乗らない。
- 5 車のアイドリングを止める。
- 6 車を使用する際には、エコドライブを心がける。
- 7 片面使用済紙・両面コピーの使用・紙の使用量削減。
- 8 必要最低限の枚数しかプリントアウトしない。
- 9 使用済み封筒を再利用する。
- 10 ごみ減量やリサイクルのルールを徹底する。
- 11 階数の差が3階まではエレベータには乗らない。
- 12 下りのエレベータには乗らない。
- 13 トイレの便座シートやウォシュレットの温度設定は色目盛りの下端を最大とし、夏はさらに低めにする。
- 14 トイレのウォシュレットの電源は、土日等使用しない時は切る。
- 15 給湯器の湯水を流しながら使用しない。
- 16 環境にやさしい商品を購入する。
- 17 物品購入に当たっては必要以上に購入しない。
- 18 印刷コピーは必要なだけにする。
- 19 コピー機の未使用時はリセットボタンを押す。
- 20 帰りの際はコピー機のスイッチを切る。
- 21 割り箸等は使わない。
- 22 シュレッダーの未使用時は電源を切る。
- 23 会議室の冷暖房温度設定を適正にする。
- 24 夏の軽装等、快適に過ごせる服装を心がける。
- 25 会議室の冷暖房や照明は会議開始の10分前まではつけない。
- 26 ブラインドやカーテン等の利用により効率的な照明・空調を図る。
- 27 各自の取組

## ■環境負荷低減行動の実施状況

第2次府中市職員エコ・アクションプランの取組を確実に行うため、全職員に対する周知・徹底を図っています。

### ●レジ袋は受け取りません。

#### 買い物は、いつでもどこでも、マイバッグ

レジ袋は1枚当たり約5gで、成分は炭素が約80%を占めています。これが燃やされると、相当な量の二酸化炭素が発生します。

#### ■市民マイバック持参運動推進中

廃棄物の発生抑制や減量を図り、環境にやさしいライフスタイルの推進をするため、市民マイバック持参運動を実施するものです。

マイバック運動は、市民、事業者及び市職員による府中市民マイバック持参運動実行委員会が主体となって運動を推進しています。より多くの市民のソフトパワーを生かすために実行委員会の付属組織として設置された「府中市民マイバッククラブ」と連携し、効率的かつ効果的に運動を推進しています。

#### ■マイバックデーの制定

毎月5日を「マイバックデー」とし、商店街やスーパーマーケット等において、マイバック持参の呼びかけや持参率調査等を行う市民マイバック持参キャンペーンを実施しています。

### ●昼休み及び就業前後の消灯。残業時の不必要な照明の消灯。

#### スイッチ一つで二酸化炭素27kg

府中市役所本庁舎の蛍光灯は、事務室全体で約2,400本あります。これに使用されるエネルギーは1時間で約96kwです。

昼休みにこのうち各職場の70%（壁のスイッチ6個所のうち4個所）を消したとすると、昼休みだけで約67kwの電力量が節約できます。これは二酸化炭素約28kgを削減したことになり、電気料金は1,564円/時となります。1年間（20日×12か月＝240日）で計算。以下同じ。）では二酸化炭素約6.7t、電気料37.5万円になります。

### ●車を使用する際には、エコドライブを心がける。

#### 5分のアイドリングでもガソリン年間約17ℓ

乗用車の場合、アイドリングは1分間で約14mlのガソリンを消費しています。これに伴う二酸化炭素は約32gです。5分のアイドリングを毎日行った場合は、それだけで年間でガソリンを17ℓ消費し、二酸化炭素を39kg排出します。

● 片面使用済紙・両面コピーの使用・紙の使用量削減。

● ごみ減量やリサイクルのルールを徹底する。

### 資源節約

紙は大切な資源です。また、資源の節約はごみ減量の第一歩。府中市職員は、紙の使用量削減に取り組んでいます。

再生紙の使用、使用済み封筒の再利用、裏紙の利用、適正枚数の印刷などを進めるほか、ごみの減量やリサイクルのルールを徹底しています。

たとえリサイクルしているからと言っても、大量使用することは環境負荷を増大させます。

府中市はすでに、再生紙の使用、使用済み封筒の再利用、裏紙の利用、適正枚数の印刷などを進めています。今後もこれらの取組を続けます。

#### ■ 10年間でごみの50%削減を目指します

府中市では、平成16年度から平成20年度までの5年間で、家庭ごみ及び事業ごみの1万トンのごみ減量を行うため、「1万トンごみ減量大作戦を展開しました。

さらに、平成22年2月2日から、家庭ごみの個別収集及び「燃やすごみ」「燃やさないごみ」「容器包装プラスチック」について、指定収集袋による有料化を実施しています。

#### ■ 各課で独自に取り組んでいます

各職場では、前述の重点取組に加え、自主的に取り組む項目を定め、課独自の取組を実施しています。

##### 【各課独自の取組の例】

- ・ 来客時に使用する食器類を洗う際の洗剤の使用量を減らす。
- ・ ごみの分別の徹底(環境管理推進員による月1回のごみ分別パトロールの実施)
- ・ パソコンで文書等を作成する場合、画面上で校正するとともに出力する場合は両面印刷を基本とする。
- ・ FAX 送付時の送り状の省略
- ・ 庁内連絡時など可能な限り封筒を再利用する。
- ・ 市役所から2キロ以内の現場調査等は自転車を使用する。
- ・ 職場で飲み物を飲む場合は、ペットボトル・缶のものはできるだけ購入せず、自宅からお茶等を入れたポットを持参する。
- ・ ホチキスは使用せず、ガチャ玉やクリップを使用する。
- ・ 事務室の整理整頓を心がける。

# 公共工事に伴う環境負荷の低減

ISO14001 に基づく環境マネジメントシステムでは、市が実施する発注金額 500 万円以上の公共工事について、計画の段階から取り組むべき指針として「府中市公共工事に係る環境配慮指針」を定めています。

平成 21 年度は、環境安全部下水道課、水と緑事業本部公園緑地課、都市整備部管理課・土木課・建築課、文化スポーツ部文化振興課が実施した 133 件の該当工事において、この指針に基づく環境配慮を実施しました。

## ●府中市公共工事に係る環境配慮指針の概要

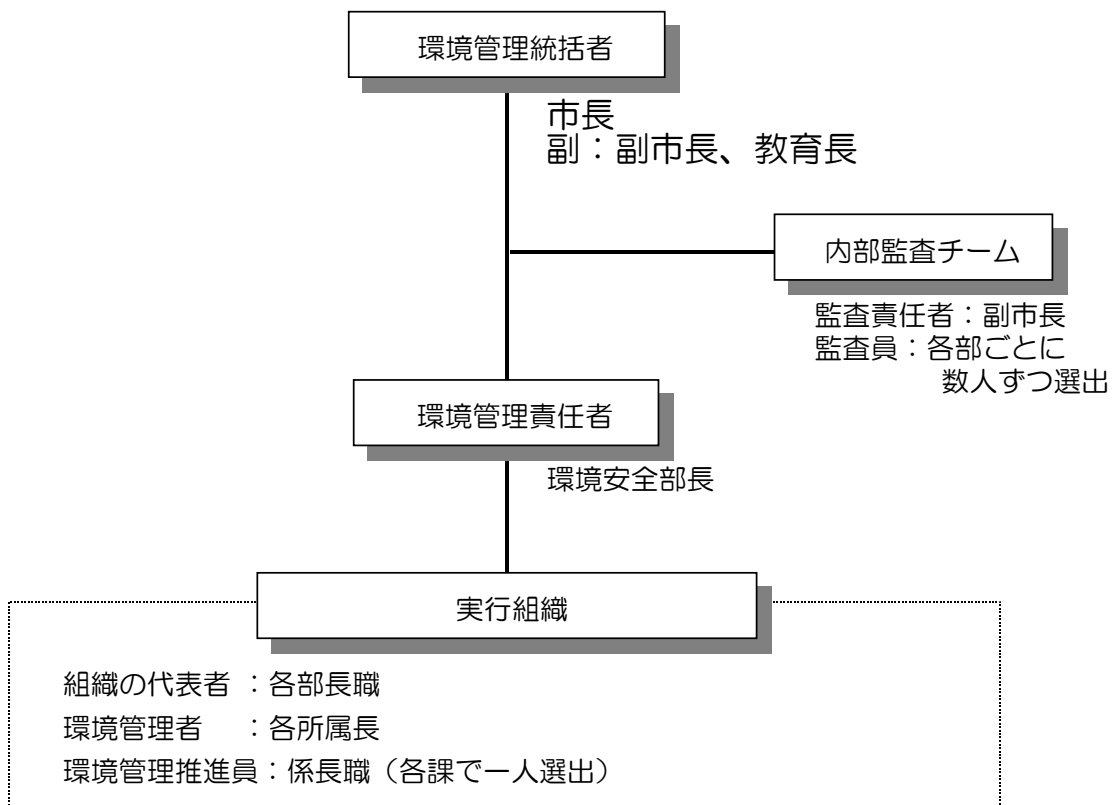
目的	目標		手順	
府中市の発注する公共工事の環境配慮を推進する。	重機等建設機械の低公害型機械の使用率	100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕様書に低公害型機械の使用を記入する。</li> <li>工事中に仕様書の内容が実施されているかを確認する。</li> </ul>	
	リサイクル目標	アスファルト塊	100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕様書にリサイクルの推進を記入する。</li> <li>東京都建設リサイクル推進行動計画等の手法を採用して、工事を実施する。</li> </ul>
		コンクリート塊	100%	
		建設泥土	60%	
		建設混合廃棄物	60%	
		建設発生木材	100%	
建設発生残土の有効利用等	90%	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効利用</li> <li>現場での埋め戻し</li> </ul>		

# ■ 環境マネジメントシステム

## ■ 推進体制と役割、責任

府中市職員エコ・アクションプランの効果的な実施・運用のために、府中市環境マネジメントシステムを準用し、管理及び内部監査のための推進体制と役割・責任を定め、各職員に周知徹底を図っています。

### ● 推進体制



## ■ 環境管理推進会議の開催

環境マネジメントシステムの実行部門の推進体制を確立し、職場での取組を強化推進していくため、環境推進員（各課から一人ずつ選任）により構成される、環境管理推進員会議を開催しています。

## ■環境研修の実施状況

全職員一丸となった取組を推進するため、役職に応じた、研修を実施しています。

### ●環境研修実施状況

研修種類	対象者	内容・目的	講師	回数	参加者数
管理職研修	部課長職相当以上の職員	環境マネジメントシステムの重要性の理解、幹部職員としての能力・自覚の向上。	外部	2	76
環境管理推進員研修	環境管理推進員	環境リーダーとしての能力・自覚の向上。	事務局	2	49
新任職員研修	21年度採用職員	同上	事務局	1	49
職場内研修	所属職員	日々、職場の業務を通じて理解を深める。	所属長	49 (延べ)	794 (延べ)
特定業務研修	特定業務従事者	環境に負荷を与えるような特定業務に係る専門知識・技術の習得。	外部	1	23
環境監査員研修	環境監査員候補者	環境監査に必要な専門知識・技能の習得。	外部	1	24

## ■環境コミュニケーションの状況

### 他機関への依頼等の実績

事務事業の実施にあたり、委託業者や指定管理者などに委託発注を行う都度、所属から環境負荷低減に対する協力を依頼しています。

### HP等による情報提供

府中市ホームページでは、「府中で暮らす＞生活環境＞環境」のページに、府中市エコ・レポートを、PDFファイルによりダウンロードできるようにしています。

<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>



# ■ 環境監査の結果

## ■ 平成21年度内部環境監査

環境監査は、環境マネジメントシステム、府中市職員エコ・アクションプランによる計画が、適切に実施・維持されているかどうかを、職員同士、チェックし合うものです。府中市役所では、毎年度、環境監査員を養成する研修を実施し、平成21年度に24人の環境監査員を認定しています。

平成21年10月に、5日間にわたり、延102人の監査員によって監査を実施しました。

今回の監査では、文書管理が徹底していなかった、職場での研修が実施されていなかったといった点について、監査員から職場に対し指導・助言を行いました。

## ■ 外部審査（ISO14001 更新審査）

ISO14001 の対象施設では、審査登録機関（財団法人日本品質保証機構）による更新審査を受審しました。審査による指摘事項は、次のとおりです。

### ● 外部審査結果

評価区分	意味合い	件数
改善指摘事項	指摘されたことは必ず改善しなければならない事項	2件
ストロングポイント	実施状況等で特筆すべき秀逸な事項	2件
改善の機会	指摘事項ではありませんが、改善されたほうが良いもの	7件

#### 【「改善の機会」の内訳】

- ① 環境に関する情報又は苦情を受けた場合の処理手順の運用について検討の余地あり。
- ② 環境目的・目標のうち、府中市環境行動指針管理票の事業の進捗状況の評価するうえで事業計画を明確にしておく余地があり。
- ③ 市全施設における温室効果ガスの排出量を省エネルギーや東京都環境確保条例の規制基準との整合性を図る観点から、原油換算量の値としても把握することが望ましい。
- ④ 環境目的・達成状況監視測定結果記録報告書を用いて環境目的の達成状況の評価する対象事業について、明確にして運用する余地あり。
- ⑤ 市民会館などの指定管理者制度を採用している外部施設に設置されている環境関連施設の順法評価を行えるよう検討する余地あり。
- ⑥ 不適合是正処置計画は、「是正処置の実施」の記載及び是正処置の実施状況の確認に関するルール（手順）を明確にする余地があり。
- ⑦ 物品の購入契約時にはグリーン対応品と非対応品の識別をして、対応品が増えていくような管理を検討する余地あり。

## ■ 職員の声

さて、職員は、どのようなことを感じながら、取り組んでいたのでしょうか？

環境研修の時間において、職員同士でインタビューを実施し、府中市でのこれまでの取組について話し合いました。

取り組んできて良かったこととして、次のような声がありました。

- ・ 昼休みの消灯などが意識しなくても当たり前に行えるようになってきた。
- ・ 削減の目標値が決まっているので、目標を達成しようというモチベーションがあがる。
- ・ 職員の取組が、家庭にも広がるようになった。(マイバッグの活用など)
- ・ 課内研修の回数が増え、環境に対する意識がより高まった。
- ・ 自転車の利用回数が増えることは、環境に優しいだけでなく健康にも良いと思った。

一方、逆に悪くなってしまったことや、問題・課題に対して、次のような声がありました。

- ・ 府中市職員工コ・アクションプランが作られてから数年が過ぎ、職員の中でも活動がマンネリ化しはじめているような気がする。
- ・ ノーカーデーや庁内の温度設定などにより、事務の効率が悪くなる。
- ・ 職員の取組みを市民に公表してはどうか。
- ・ 昼休みにコンビニなどに行くと職員がレジ袋をもらっている姿を多くみかける。
- ・ 環境への取組や ISO14001 に係る職員の事務量が多いわりに効果が見えにくい。
- ・ 他部署の活動も知りたい。

### 環境管理責任者から

第2次府中市職員工コ・アクションプランの活動期間は平成16年度～平成22年度までの5年間とされており、平成23年度からは第3次府中市職員工コ・アクションがスタートします。

ここでもう一度、当初の目的、目標を再度よく認識し、環境への配慮を忘れずに事務の効率化に取り組みことが必要です。

## **府中市エコ・レポート（平成21年度報告）**

発行日／平成23年3月

編集・発行／環境安全部環境政策課

〒183-8703 東京都府中市宮西町2丁目24番地

電話（042）364-4111（代表）

（042）335-4196（直通）

FAX（042）361-0078

ホームページ <http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>

# 府中市エコ・レポート

(平成22年度報告)

～ 府中市職員による地球温暖化防止に向けた取組 ～

府中市職員エコ・アクションプラン  
ISO14001 環境マネジメントシステム

平成24年3月

府 中 市

# 目次

ページ

はじめに	1
編集方針・報告書の対象範囲	2
府中市役所の概要	3
世界共通の課題 ～地球温暖化対策	4
府中市の環境に対する考え	5
環境方針の実現に向けた行動	6
環境目的・目標と実績	8
「地球環境にやさしい生活」私たち職員はここに宣言します。	10
環境負荷低減行動	11
公共工事に伴う環境負荷の低減	14
環境マネジメントシステム	15
環境監査の結果	17
職員の声	18

# はじめに

最近の研究によると、気候変動や食糧生産、生態系の破壊など地球温暖化の影響が確実に現れていることがわかってきました。

2010 年は、先進国全体で温室効果ガス総排出量の削減目標を定めた「京都議定書」の約束期間（2008 年～2012 年）が始まり 3 年が経過しました。京都議定書の目標の達成に向けて、さらに 2012 年以降の中長期的な温暖化対策の道筋を模索するため、世界各国が集まって議論が活発化してきました。

日本においては、京都議定書以降の 2020 年までの中期目標と 2050 年までの長期目標として、温室効果ガス排出量削減目標を定めています。

府中市においては、市民生活や事業活動におけるエネルギー・燃料の消費・使用、廃棄物の排出・焼却などを通じて、地球温暖化の原因となる CO<sub>2</sub> を排出しています。地球温暖化は、対岸の火事ではありません、私たちの生活が原因となっていることを改めて認識しなければなりません。

それは、府中市役所も同じだと思っています。行政サービスの提供や庁舎での事務活動や事業活動を通じて、二酸化炭素 CO<sub>2</sub> を排出しているからです。

また同時に、行政の役割として環境施策を積極的に展開し、市民、事業者と一体となって環境負荷低減活動を広げていく役割もあります。府中市では平成 23 年 3 月に府中市地球温暖化対策地域推進計画を策定し、市民、事業者、行政が一体となって地球温暖化対策に取り組み、温室効果ガス排出量を平成 32 年度までに平成 2 年度比で 15%削減することを目標としました。

このようなことから、府中市の職員は、自らの事務事業に伴う環境負荷を低減するため、環境マネジメントシステムの国際規格 ISO14001 を取得するとともに、平成 23 年度からは、第 3 次府中市職員エコ・アクションプランに則り、地球温暖化防止の取組を積極的に実践しております。

府中市エコ・レポートは、府中市職員による取組結果を広く市民等に公表するため、平成 14 年度から発行を重ねてまいりました。

府中市エコ・レポート（平成 22 年度報告）につきましては、府中市職員の姿勢、職場での工夫や苦勞を、できるだけわかりやすく紹介するよう心がけて作成いたしました。

是非、本レポートをお読みいただき、一層のご支援と忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

平成 24 年 3 月

## 編集方針

府中市では、平成14年度にはじめて府中市エコ・レポートを発行し、環境負荷低減行動について報告をしてきました。平成18年度から平成22年度までの5か年で第2次府中市職員エコ・アクションプランに基づき取組を推進してきましたので、本レポートでは、第2次府中市職員エコ・アクションプランの取組結果を中心に報告します。

そこで、本レポートでは、職員たちの声を紹介したり、“わかりやすさ”や“読みやすさ”の工夫をしたりするなど、みなさんに読んでいただけるような紙面づくりを心がけました。

## 報告書の対象範囲

### ■対象期間：

平成22年度（平成22年4月1日～平成23年3月31日まで。ただし、一部のデータについては、平成23年4月以降の活動も含んでいます。）

### ■データの集計範囲

府中市内にある市の施設として市役所本庁舎・第2庁舎のほか出先機関等を含めています。

なお、ISO14001に係る報告内容については、ISO14001の認証取得範囲である、本庁舎、第2庁舎、ふるさと府中歴史館を対象としています。

（対象施設については、3ページをご参照ください。）

### ■発行時期

平成24年3月

### ■府中市エコ・レポート（Web版）について

府中市ホームページのトップページの「府中で暮らす」をクリックし、「生活環境」の「環境」を選択していただくと、府中市エコ・レポート（PDFファイル）をご覧いただけます。

<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>

## 府中市役所の概要

(平成 24 年 3 月現在)

### ■ 組 織

部	課
政策総務部	政策課、財政課、秘書課、広報課、総務管理課、職員課
税務管財部	市民税課、資産税課、納税課、契約課、管財課、情報システム課、用地課
市民生活部	総合窓口課、保険年金課、住宅勤労課、市民活動支援課、経済観光課（農業委員会事務局）
文化スポーツ部	文化振興課、ふるさと文化財課、生涯学習スポーツ課、国体推進室、図書館、美術館
福祉保健部	地域福祉推進課、生活援護課、高齢者支援課、障害者福祉課、健康推進課
子ども家庭部	子育て支援課、保育課、児童青少年課
環境安全部	防災課、環境政策課、地域安全対策課、ごみ減量推進課
都市整備部	管理課、計画課、土木課、公園緑地課、下水道課、建築課、建築指導課
地区整備推進本部	けやき並木周辺整備担当、府中駅南口周辺整備担当
	出納課
教育部	総務課、学務保健課、指導室
	選挙管理委員会事務局
	監査事務局
議会事務局	庶務課、議事課

### ■ 施 設

市役所本庁舎※<sup>1</sup>、府中駅北第 2 庁舎※<sup>2</sup>のほか、次の出先機関があります。

市政情報センター	子ども家庭支援センター	教育センター
府中の森市民聖苑	保育所 15 か所	生涯学習センター
文化センター 11 か所	学童クラブ 22 か所	市民球場
女性センター	中央防災センター	市民陸上競技場
国際交流サロン(第 2 庁舎)	水防・防災ステーション	グラウンド管理所
観光情報センター	リサイクルプラザ	総合体育館
郷土の森観光物産館	寿町作業員詰所	地域体育館 7 か所
工業技術情報センター	現業事務所	中央図書館※ <sup>3</sup>
(第 2 庁舎)	第一学校給食センター	地区図書館 12 か所
保健センター	第二学校給食センター	府中市美術館
保健センター分館	学校給食洗浄センター	

#### ※1 ※2

IS014001 の認証取得範囲は、市役所本庁舎、府中駅北第 2 庁舎、ふるさと府中歴史館です。

#### ※3

中央図書館は、平成 19 年 12 月に市民会館との複合施設「ルミエール府中」となり、IS014001 の認証取得範囲から外れております。



# 世界共通の課題 ～地球温暖化対策

近年、気候変動や食糧生産、生態系の破壊などのさまざまな影響をもたらす地球温暖化が深刻化しています。

最新の研究によれば、人為的な活動により、地球全体の平均気温は、過去100年間（1906～2005年）で0.74℃上昇したことが明らかとなりました。21世紀末（2090年から2099年）の平均気温は、1980年から1999年までに比べ、環境の保全と経済の発展が地球規模で両立する社会においては約1.8℃上昇、また、化石エネルギー源を重視しつつ高い経済成長を実現する社会では約4.0℃上昇すると予測されています。（資料：気候変動に関する政府間パネル〔IPCC〕第4次評価報告書）

地球温暖化対策の究極の目的は、「温室効果ガスの大気中濃度を自然の生態系や人類に悪影響を及ぼさない水準で安定化させること」です。

2011年12月に開催した第17回国連気候変動枠組み条約締約国会議(COP17)では、温暖化ガス削減量を定めた京都議定書の延長、そして新たな枠組みを2020年に開始で合意しました。

## 地球温暖化による影響が現れている



# ■ 府中市の環境に対する考え

府中市は、地球温暖化をはじめとする地球環境問題への対応のため、自らが行う事務事業に伴う環境への負荷を低減するために行動しています。そのために、行動の基本として「府中市環境方針」を策定しています。

## ● 府中市環境方針

### ＜基本理念＞

私たち人類は、これまで自らの生活を豊かにするために活動を拡大し続けてきました。その結果、地球の資源を消費し、排気ガスや廃棄物など、環境に対して大きな負荷を与えてきました。

このまま環境への負荷を減らすことなく活動を続ければ、地球の環境は破壊され、生命の生存すら危ぶまれる状態となることは想像に難しくありません。環境を守ることは、私たちに与えられた使命であると言えます。

地球環境問題は多くの複雑な問題を抱えています。いくつかの対策を実施したことで簡単に結果が出て解決されるというものではありません。問題の解決のためには、行政や事業者、市民がそれぞれの立場で、できるところから地道な努力を積み重ね、大量生産、大量消費、大量廃棄に裏付けられた社会経済活動や生活様式を見直し、社会全体を環境への負荷が少ない持続的発展が可能なものに変えて行くことが必要です。

府中市は、これまでも施策の中で環境にやさしいまちの創出を進めてきました。また、職員自らも環境負荷が少ない事務事業の実施を目指して、庁舎や各施設で省資源、省エネルギー、ごみ減量、リサイクル、緑化などに努めてきました。しかし、最近の国際的な地球温暖化への取組や国内の環境に関する法律の制定など、新たな環境保全への対応が進展するなかで、府中市職員は、市が事業者でありかつ消費者であることをここでもう一度認識し直し、自ら環境負荷低減のための行動をこれまで以上に推進することにより、先導的な役割を担うことが環境問題解決のためにきわめて重要であると考えます。

今、私たち府中市職員は、できるところから、自主的、積極的、継続的に環境負荷低減のための活動を進めます。

### ＜基本方針＞

府中市は、自らが行う事務事業が環境に及ぼす影響を継続的に改善していくため、全職員が一体となって、環境保全活動に取り組みます。

- 1 「府中市職員エコ・アクションプラン」を推進するなかで、特に次の項目については優先して取り組み、事務事業に伴う温室効果ガスの排出を始めとする環境負荷の低減に努めます。
  - (1) 電気、燃料、ガス等の使用量削減による省エネルギーの推進
  - (2) 紙、水道等の使用量削減による省資源の推進
  - (3) グリーン購入の推進
- 2 府中市環境基本計画に基づき、府中市環境行動指針に示す環境保全の取組を積極的に推進します。
- 3 公共工事の実施に当たっては、計画の段階から環境への影響に配慮し、環境負荷低減に努めます。
- 4 環境目的及び目標を設定し定期的な見直しを行い、環境負荷低減施策の継続的改善を進めます。
- 5 環境関連法令等を遵守し、環境汚染の予防に努めます。

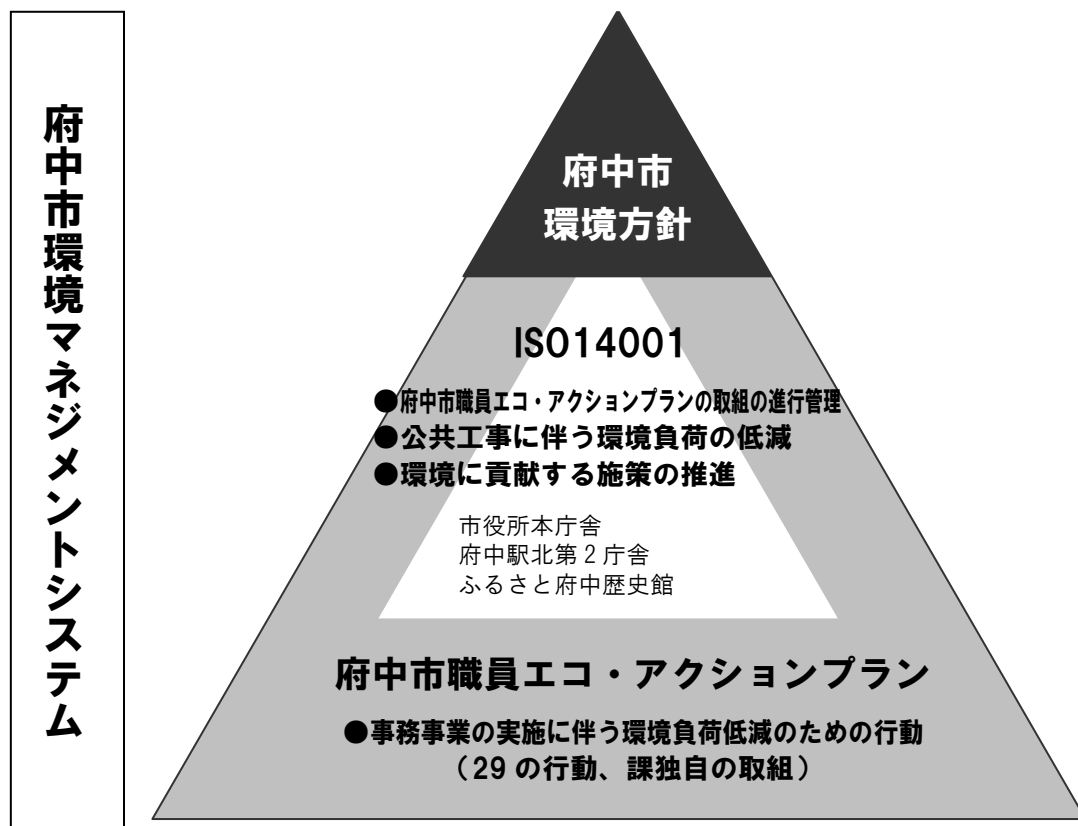
平成24年2月10日

府中市長 高野 律 雄

# ■ 環境方針の実現に向けた行動

府中市では、府中市職員エコ・アクションプランを中心とした環境マネジメントシステムに基づいた環境負荷低減対策を、より積極的に推進するため、国際標準化機構（ISO）※<sup>1</sup>が定めた環境管理に関する国際規格 ISO14001※<sup>2</sup>を平成14年2月に取得し、平成23年2月に3度目の認証を更新しました。

府中市環境マネジメントシステムは、ISO14001の対象範囲のほか、対象範囲以外で府中市職員エコ・アクションプランのみが適用になる取組も含めた、府中市全体での取組を対象範囲としています。



## ※1 国際標準化機構（ISO）

ISOは、「国際標準化機構（International Organization for Standardization）」の呼称です。スイスのジュネーブに本部を置く非政府組織（NGO）で、工業製品やサービスなどの国際的な規格の制定や標準化を目的として設立された国際機関です。

## ※2 国際規格 ISO14001

ISOが定めた環境に配慮するための仕組みを定めたシステムの規格です。PDCAサイクル（計画立案→実施・運用→点検・評価→見直し）を回すことで活動の進行管理を行い、継続的な改善を進めます。ISO14001を認証取得したということは、環境に配慮した仕組みが国際規格に適合し、運用・維持されていることの証明になります。日本では、JIS Q 14001として発効されています。

## ■実践行動のための計画・仕組み

府中市職員エコ・アクションプランと ISO14001 に適合した取組は、計画を立て（Plan）、計画に基づいた取組を実施・運用し（Do）、その結果を点検・評価し（Check）、さらに取組結果をもとに計画を見直す（Act）という、PDCA サイクルによって、継続的な改善を図ります。

### ●（第2次）府中市職員エコ・アクションプラン

目的	府中市の職員が、事務事業の実施に伴う環境への負荷を低減するための行動を自ら率先して実行することにより、地球温暖化対策を始めとする地球環境保全施策の推進を図る。
位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化対策の推進に関する法律第 20 条 3 の「地方公共団体実行計画等」（事務事業）</li> <li>府中市環境基本条例第 12 条「環境管理及び環境監査」の実施</li> </ul>
計画期間	平成 18 年度～平成 22 年度（5 年間） 基準年度：平成 16 年度
対象範囲	対象施設：府中市内の市立学校を除く市の施設 対象者：全職員
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務事業の実施に伴う環境負荷低減のための行動</li> </ul>

### ●（第3次）府中市職員エコ・アクションプラン

目的	府中市の職員が、事務事業の実施に伴う環境への負荷を低減するための行動を自ら率先して実行することにより、地球温暖化対策を始めとする地球環境保全施策の推進を図る。
位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化対策の推進に関する法律第 20 条 3 の「地方公共団体実行計画等」（事務事業）</li> <li>府中市環境基本条例第 12 条「環境管理及び環境監査」の実施</li> </ul>
計画期間	平成 23 年度～平成 27 年度（5 年間） 基準年度：平成 21 年度
対象範囲	対象施設：府中市内の市立学校を除く市の施設 対象者：全職員
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務事業の実施に伴う環境負荷低減のための行動</li> </ul>

### ●ISO14001 に適合した取組

目的	府中市の職員が、事務事業の実施に伴う環境への負荷を、自ら低減するための計画。
対象範囲	対象施設：市役所本庁舎、府中駅北第 2 庁舎、ふるさと府中歴史館 対象者：対象範囲に勤務する職員（正規職員及び臨時職員）並びに常駐する委託業者
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>府中市職員エコ・アクションプランの取組</li> <li>公共工事に伴う環境負荷の低減</li> <li>環境に貢献する施策の推進</li> </ul>

# ■ 環境目的・目標と実績

## ■ 温室効果ガス排出量に関する環境目的・目標

府中市職員エコ・アクションプランでは、地球温暖化防止への貢献を目的とし、平成 22 年度の温室効果ガス排出量を、基準年度（平成 16 年度）比で 5% 以上削減する目標を定めています。

この目標の達成に向けて、省エネルギー・省資源、グリーン購入といった取組を推進しましたが、平成 22 年度の温室効果ガス排出量は、基準年度値 10,350 CO<sub>2</sub> 換算 t から 5.4% 増加し、10,911 CO<sub>2</sub> 換算 t となりました。

この結果は、一部施設における燃料や電気の使用量の増加、毎年度変わる電気の二酸化炭素排出係数の変化などが原因と考えられます。

第 2 次府中市職員エコ・アクションプランの計画年度は平成 18 年度から平成 22 年度までの 5 年間と定め、全職員が取り組んでまいりましたが、温室効果ガス排出量の推移は次のような結果となりました。

結果としては、目標を達成することができませんでしたが、このような結果を踏まえ、平成 23 年度から第 3 次府中市職員エコ・アクションプランに則り、取組を推進しています。

	二酸化炭素 (t-CO <sub>2</sub> )	メタン(CH <sub>4</sub> )	一酸化 二窒素 (N <sub>2</sub> O)	ハイドロフルオロカーボン (HFC)	温室効果ガス (CO <sub>2</sub> 換算 t)	基準年度 からの増 減率
主な発生源	物の燃焼、 電気の使用	車の走行、 ごみの燃焼	車の走行	カーエアコン の使用		
平成 16 年度 (基準年)	10,341	0.39	6.74	2.77	10,350	-
平成 18 年度	9,914	0.23	4.91	2.55	9,921	-4.1
平成 19 年度	11,870	0.22	5	2.54	11,877	14.8
平成 20 年度	10,919	0.18	4.26	1.52	10,926	5.6
平成 21 年度	11,185	0.20	4.57	2.67	11,192	8.1
平成 22 年度	10,903	0.24	5.04	2.81	10,911	5.4
平均	10,958	0.21	4.76	2.42	10,966	5.9

## ■環境負荷低減行動に関する環境目的・目標

府中市職員エコ・アクションプランに基づき、電気使用量や各種燃料の削減低減【省エネルギー】、紙・水道・文房具等の削減【省資源】、庁有車の走行距離の削減、環境にやさしい車の使用【グリーン購入】といった環境負荷低減行動について環境目的・目標を設定し、取り組んでいます。

次の表では、各環境目標について、平成22年度実績値が、目標値に向けて、取組が進んできたかどうかを3段階で評価しました。

### 【評価凡例】

(^o^): 22年度目標レベルを達成

(> <): 22年度目標レベルを未達成

日常的な施設・設備の稼動において、省エネルギーの推進を徹底、工夫をしていく必要があるといえます。

### ●環境負荷低減行動に関する環境目的・目標の達成状況

環境目的	環境目標	(平成16年度比)	基準年度値 (平成16年度)	目標値 (平成22年度)	平成22年度 実績値	評価
省エネルギーの推進	電気使用量の削減	5%以上削減	17,700MWh	16,815MWh	18,301MWh	(> <)
	燃料使用量の削減					
	ガソリン	5%以上削減	49,872L	47,378L	41,613L	(^o^)
	軽油	5%以上削減	31,051L	29,498L	42,065L	(> <)
	灯油	5%以上削減	586,509L	557,183L	547,072L	(^o^)
	都市ガス	5%以上削減	918,290m <sup>3</sup>	872,376m <sup>3</sup>	976,465m <sup>3</sup>	(> <)
	LPGガス	5%以上削減	46,496kg	44,171kg	43,530kg	(^o^)
省資源の推進	紙使用量の削減	5%以上削減	75,658kg	71,875kg	81,478kg	(> <)
	水道使用量の削減	5%以上削減	307,780m <sup>3</sup>	292,391m <sup>3</sup>	262,859m <sup>3</sup>	(^o^)
	文房具等使用量の削減	5%以上削減	18,854千円	17,911千円	19,300千円	(> <)
省エネルギー・省資源・公害防止	車の走行距離の削減	5%以上削減	543.3千km	516.1千km	533.0千km	(> <)
グリーン購入の推進	環境にやさしい車の使用	構成比全体の40%以上	21.8%	40.0%	45.1%	(^o^)



# 「地球環境にやさしい生活」 私たち職員はここに宣言します。

## 府中市職員環境宣言

私たち職員は、地球温暖化防止を始めとする地球環境の保全に寄与できるように、職場から家庭に至るまで、職員一人ひとりが自主的、積極的に取り組みます。

職員一同は、この宣言を心にとめて、事務事業の実施に伴う環境への負荷を低減するための行動（環境負荷低減行動）を、自ら率先して実行していきます。

### 行動に当たっての基本的視点

- ① 事務事業における無駄をなくすことにより環境負荷を低減します。
- ② できるところから自主的、継続的に進めます。
- ③ 環境負荷低減行動が習慣となることを目指します。

## ■ 環境負荷低減行動

府中市職員エコ・アクションプランに基づき、全職員が事務事業の実施に伴う環境負荷低減のための次のような行動を実践しています。

また、職員に対しては、家庭に帰って、日常生活のなかでも自主的、積極的に取り組むように務めるよう、協力を呼びかけています。

- 1 レジ袋は受け取らない。
- 2 昼休み、就業前後及び残業時の不必要な照明は消灯する。
- 3 OA機器の未使用時は電源を切るか、省エネモードにする。
- 4 毎週水曜日はノーカーデーを実施し、水曜日以外にもできる限り車を使用しない。
- 5 車のアイドリングは止める。
- 6 車を使用する際には、エコドライブを実践する。
- 7 片面使用済紙の再利用や両面コピーを徹底し紙の使用量を削減する。
- 8 必要最低限の枚数しかプリントアウトしない。
- 9 使用済み封筒を再利用する。
- 10 ごみ減量やリサイクルのルールを徹底する。
- 11 階数の差が3階までは上りのエレベータには乗らない。
- 12 下りのエレベータには乗らない。
- 13 トイレの便座シートやウォシュレットの温度設定は色目盛りの下端を最大とし、夏はさらに低めにする。
- 14 トイレのウォシュレットの電源は、土日等使用しない時は切る。
- 15 湯水を流しながら使用しない。
- 16 環境にやさしい商品を購入する。
- 17 物品の購入は必要最小限にする。
- 18 必要以上の印刷、コピーはしない。
- 19 コピー機の未使用時は電源ボタンを押し省エネモードに設定する。
- 20 退庁時はコピー機の主電源を切る。
- 21 使い捨ての箸、スプーン等は使わない。
- 22 シュレッダーの未使用時は電源を切る。
- 23 会議室の冷暖房温度は、夏28℃以上、冬20℃以下に設定する。
- 24 クールビズ、ウォームビズなど快適に過ごせる服装を心がける。
- 25 会議室の冷暖房や照明は会議開始の10分前まではつけない。
- 26 ブラインドやカーテン等の利用により照明・空調の効率化に努める。
- 27 ファイリングシステムの徹底により、必要以上の資料を印刷しない。
- 28 イベントを開催する際の電力は、グリーン電力を使用する。
- 29 各自が自主的、継続的な行動を積極的に推進する。



## ■環境負荷低減行動の実施状況

第3次府中市職員エコ・アクションプランの取組を確実に行うため、全職員に対する周知・徹底を図っています。

### ●レジ袋は受け取りません。

#### 買い物は、いつでもどこでも、マイバッグ

レジ袋は1枚当たり約5gで、成分は炭素が約80%を占めています。これが燃やされると、相当な量の二酸化炭素が発生します。

#### ■市民マイバック持参運動推進中

廃棄物の発生抑制や減量を図り、環境にやさしいライフスタイルの推進をするため、市民マイバック持参運動を実施するものです。

マイバック運動は、市民、事業者及び市職員による府中市民マイバック持参運動実行委員会が主体となって運動を推進しています。より多くの市民のソフトパワーを生かすために実行委員会の付属組織として設置された「府中市民マイバッククラブ」と連携し、効率的かつ効果的に運動を推進しています。

#### ■マイバッグデーの制定

毎月5日を「マイバッグデー」とし、商店街やスーパーマーケット等において、マイバック持参の呼びかけや持参率調査等を行う市民マイバック持参キャンペーンを実施しています。

### ●昼休み及び就業前後の消灯。残業時の不必要な照明の消灯。

#### スイッチ一つで二酸化炭素27kg

府中市役所本庁舎の蛍光灯は、事務室全体で約2,400本あります。これに使用されるエネルギーは1時間で約96kwです。

昼休みにこのうち各職場の70%（壁のスイッチ6個所のうち4個所）を消したとすると、昼休みだけで約67kwの電力量が節約できます。これは二酸化炭素約28kgを削減したことになり、電気料金は1,564円/時となります。1年間（20日×12か月＝240日で計算。以下同じ。）では二酸化炭素約6.7t、電気料37.5万円になります。

### ●車を使用する際には、エコドライブを実践する。

#### 5分のアイドリングでもガソリン年間約17ℓ

乗用車の場合、アイドリングは1分間で約14mlのガソリンを消費しています。これに伴う二酸化炭素は約32gです。5分のアイドリングを毎日行った場合は、それだけで年間でガソリンを17ℓ消費し、二酸化炭素を39kg排出します。

● 片面使用済紙・両面コピーの使用・紙の使用量削減。

● ごみ減量やリサイクルのルールを徹底する。

### 資源節約

紙は大切な資源です。また、資源の節約はごみ減量の第一歩。府中市職員は、紙の使用量削減に取り組んでいます。

再生紙の使用、使用済み封筒の再利用、裏紙の利用、適正枚数の印刷などを進めるほか、ごみの減量やリサイクルのルールを徹底しています。

たとえリサイクルしているからと言っても、大量使用することは環境負荷を増大させます。

府中市はすでに、再生紙の使用、使用済み封筒の再利用、裏紙の利用、適正枚数の印刷などを進めています。今後もこれらの取組を続けます。

#### ■ 10年間でごみの50%削減を目指します

府中市では、平成16年度から平成20年度までの5年間で、家庭ごみ及び事業ごみの1万トンのごみ減量を行うため、「1万トンごみ減量大作戦を展開しました。

さらに、平成22年2月2日から、家庭ごみの個別収集及び「燃やすごみ」「燃やさないごみ」「容器包装プラスチック」について、指定収集袋による有料化を実施しています。

#### ■ 各課で独自に取り組んでいます

各職場では、前述の重点取組に加え、自主的に取り組む項目を定め、課独自の取組を実施しています。

##### 【各課独自の取組の例】

- ・ 市役所から2キロ以内の現場調査等は自転車を使用する。
- ・ パソコンで文書等を作成する場合、画面上で校正するとともに出力する場合は両面印刷を基本とする。
- ・ 庁内や課内LANで情報を共有し、無駄な紙を使わない。
- ・ 来客時に使用する食器類を洗う際の洗剤の使用量を減らす。
- ・ エコキャップの分別収集をし、リサイクルをする。
- ・ 私用で出したごみは持ち帰る。
- ・ FAX送付時の送り状の省略
- ・ 庁内連絡時など可能な限り封筒を再利用する。
- ・ 職場で飲み物を飲む場合は、ペットボトル・缶のものはできるだけ購入せず、自宅からお茶等を入れたポットを持参する。
- ・ ホチキスは使用せず、ガチャ玉やクリップを使用する。
- ・ 事務室の整理整頓を心がける。

# 公共工事に伴う環境負荷の低減

ISO14001 に基づく環境マネジメントシステムでは、市が実施する発注金額 500 万円以上の公共工事について、計画の段階から取り組むべき指針として「府中市公共工事に係る環境配慮指針」を定めています。

平成 22 年度は、環境安全部下水道課（現：都市整備部下水道課）、水と緑事業本部公園緑地課（現：都市整備部公園緑地課）、都市整備部管理課・土木課・建築課、文化スポーツ部文化振興課（現：文化スポーツ部ふるさと文化財課）が実施した 118 件の該当工事において、この指針に基づく環境配慮を実施しました。

## ●府中市公共工事に係る環境配慮指針の概要

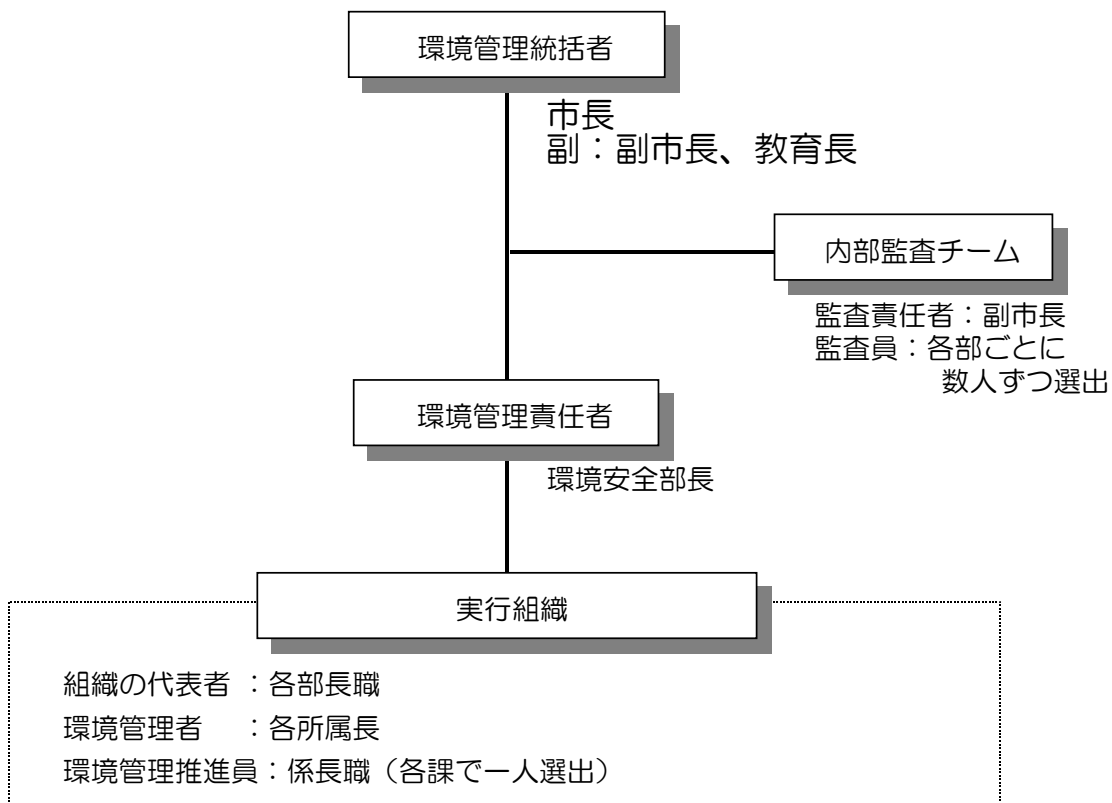
目的	目標		手順	
府中市の発注する公共工事の環境配慮を推進する。	重機等建設機械の低公害型機械の使用率	100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕様書に低公害型機械の使用を記入する。</li> <li>工事中に仕様書の内容が実施されているかを確認する。</li> </ul>	
	リサイクル目標	アスファルト塊	100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕様書にリサイクルの推進を記入する。</li> <li>東京都建設リサイクル推進行動計画等の手法を採用して、工事を実施する。</li> </ul>
		コンクリート塊	100%	
		建設泥土	60%	
		建設混合廃棄物	60%	
		建設発生木材	100%	
建設発生残土の有効利用等	90%	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効利用</li> <li>現場での埋め戻し</li> </ul>		

# 環境マネジメントシステム

## 推進体制と役割、責任

府中市職員エコ・アクションプランの効果的な実施・運用のために、府中市環境マネジメントシステムを準用し、管理及び内部監査のための推進体制と役割・責任を定め、各職員に周知徹底を図っています。

### ●推進体制



## ■環境研修の実施状況

全職員一丸となった取組を推進するため、役職に応じた、研修を実施しています。

### ●環境研修実施状況

管理職研修	部課長職相当以上の職員	環境マネジメントシステムの重要性の理解、幹部職員としての能力・自覚の向上。	外部	2回	74人
環境管理推進員研修	環境管理推進員	環境リーダーとしての能力・自覚の向上。	事務局	2回	36人
新任職員研修	22年度採用職員	同上	事務局	1回	52人
職場内研修	所属職員	日々、職場の業務を通じて理解を深める。	所属長	72回 (延べ)	1127人 (延べ)
特定業務研修	特定業務従事者	環境に負荷を与えるような特定業務に係る専門知識・技術の習得。	外部	0回	0人
環境監査員研修	環境監査員候補者	環境監査に必要な専門知識・技能の習得。	外部	1回	23人

## ■環境コミュニケーションの状況

### 他機関への依頼等の実績

事務事業の実施にあたり、委託業者や指定管理者などに委託発注を行う都度、所属から環境負荷低減に対する協力を依頼しています。

### HP等による情報提供

府中市ホームページでは、「府中で暮らす＞生活環境＞環境」のページに、府中市エコ・レポートを、PDF ファイルによりダウンロードできるようにしています。

<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>

# ■ 環境監査の結果

## ■ 平成22年度内部環境監査

環境監査は、環境マネジメントシステム、府中市職員エコ・アクションプランによる計画が、適切に実施・維持されているかどうかを、職員同士、チェックし合うものです。府中市役所では、毎年度、環境監査員を養成する研修を実施しており、平成22年度は、23人の環境監査員を認定し、監査を実施しました。

今回の監査では、監査員から文書の作成及び管理について、指導・助言を推進事務局及び監査対象課に対し行いました。

また、昭島市の職員にもオブザーバーとして内部監査に参加していただき、新たな視点での助言等をいただくことができました。

## ■ 外部審査（ISO14001 更新審査）

ISO14001 の対象施設では、審査登録機関（財団法人日本品質保証機構）による3度目の更新審査を受審しました。審査による指摘事項は、次のとおりです。

### ● 外部審査結果

評価区分	意味合い	件数
改善指摘事項	指摘されたことは必ず改善しなければならない事項	0件
グッドポイント	運用の成果として評価できるもの	5件
改善の機会	指摘事項ではありませんが、改善されたほうが良いもの	10件

#### 【「グッドポイント」の内訳】

- ① 各職員による自己評価を毎年2回実施し、取組みの弱い事項を課の独自項目に定め、エコオフィス活動の徹底を計画的に行っていた。
- ② 職場内研修で講師となる環境管理推進員が独自の資料を作成し、所属職員に周知を図っていた。
- ③ 職場内研修で研修の講師を輪番制にし、講師となった職員が自己学習した内容を発表し、意識の高揚を図っていた。
- ④ 1年間に自転車を利用した距離を集計し、二酸化炭素の削減量を算出していたこと。
- ⑤ ISO14001 の認証を取得している昭島市の職員の立会いを求め、内部監査のポイントや進め方について評価してもらい、内部監査の質の向上に努めていた。

## ■ 職員の声

さて、職員は、どのようなことを感じながら、取り組んでいたのでしょうか？  
職員の声をまとめました。

### 【取り組んできて良かったこと】

- ・ 昼休みの消灯や退庁時のOA機器等の電源オフは習慣化することができた。
- ・ 削減の目標値が決まっているので、目標を達成しようというモチベーションがあがる。
- ・ 職員の取組が、家庭にも広がるようになった。(節電、省エネ)
- ・ 課内研修の回数が増え、環境に対する意識がより高まった。
- ・ 自転車の利用回数が増えることは、環境に優しいだけでなく健康にも良いと思った。

### 【問題・課題】

- ・ 府中市職員工コ・アクションプランが作られてから数年が過ぎ、職員の中でも活動がマンネリ化しはじめているような気がする。
- ・ ノーカーデーや庁内の温度設定などにより、事務の効率が悪くなる。
- ・ もっと市職員が率先して取組を推進しなければ、市民や事業者に対して協力を呼びかけられないのではないか。
- ・ 環境への取組やISO14001に係る職員の事務量が多いわりに効果が見えにくい。
- ・ 他部署の活動も知りたい。

### 環境管理責任者から

第2次府中市職員工コ・アクションプランの計画期間は終了しましたが、目標を達成できていない結果となりました。平成23年度からは、第3次府中市職員工コ・アクションプランに基づき取組みを実施しておりますが、目標達成に向けて更なる推進が必要だと考えています。

## 府中市エコ・レポート（平成22年度報告）

発行日／平成24年3月

編集・発行／環境安全部環境政策課

〒183-0056 東京都府中市寿町1-5

府中駅北第2庁舎7階

電話（042）364-4111（代表）

（042）335-4196（直通）

FAX（042）361-0078

ホームページ <http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>